

国土地理院地図/航空写真取得ソフト

Mapget Pro

(マブゲット)

(国土地理院背景図等データ利用許諾番号：2012-017 号)

操作マニュアル

Ver 8.01

Mapget Pro マニュアル 目次

1. はじめに	3
2. Mapget Pro の概要	4
2-1. 機能概要	4
2-1-1. 概要	4
2-1-2. Mapget Pro とは?	5
2-2. 必要システム	10
2-3. プログラムの特徴	10
3. Mapget Pro 使用上の注意点	11
3-1. 画像提供サイトの利用規約遵守のお願い	11
3-2. 画像の未提供エリアについて	11
3-3. 航空写真の取得年代について	11
3-4. クリップボードコピーと Excel 出力の機能的な違いについて	11
4. Mapget Pro の外観	12
4-1. 画面構成について	12
4-2. ボタン配置と機能説明	13
4-2-1. メインツールバーの説明	13
4-2-2. メインメニューの説明	14
4-2-3. サイドメニューの説明	15
5. Mapget Pro の使用方法	16
5-1. インストール及びプログラムの起動方法	16
5-1-1. インストールについて	16
5-1-2. 起動方法および初期画面について	16
5-1-3. パスワードの入力(ライセンスの購入)	18
5-1-4. 体験版での機能制限について	18
5-2. 基本操作	19
5-2-1. Web から地図/航空写真を取得する	19
5-2-2. CAD 図(DXF)を読み込む	24
5-2-3. ラスター化した市販地図を読み込む	29
5-2-4. Mapget Pro データの読み込みと保存方法	37
5-2-5. 地図/航空写真に旗揚げ/文字を記入する	38
5-2-6. 距離計測/面積計測をおこなう	41
5-2-7. 地形断面図の作成	44
5-2-8. 切抜き枠の書式設定	47
5-2-9. 切抜き枠を印刷する	48
5-2-10. 切抜き枠を Excel 保存する	49
5-2-11. 切抜き枠を他のアプリケーションに貼付ける(クリップボードコピー)	50
5-3. 応用操作	51
5-3-1. 画像情報の変更	51
5-3-2. 画像の画質調整	51
5-3-3. 画像の回転	52
5-3-4. オートシェイプ(図形)の描画機能	52
5-3-5. 寸法描画機能等	54
5-3-6. Net Link 機能	60
5-3-7. 撮影位置図の自動作成機能	62
5-3-8. GPX データの読み込み/編集機能について	88
6. その他	92
6-1. 動作設定	92
6-1-1. 設定 1	92
6-1-2. 設定 2	93
6-1-3. 設定 3	93
6-2. 自動アップデート機能	94
7. Mapget Pro による図枠作成例	95
8. サポート	101

1. はじめに

この度は、電子地図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

近年、地図や航空写真をコンピュータ上で扱う機会が増え、Web 上で地形図等の閲覧や印刷などが可能なサイトも多くなってきました。しかしそれらの多くは、正確な縮尺での印刷ができなかったり、印刷時の仕様や書式が固定されるなど、個人もしくは法人がそれらのデータを活用するには必ずしも十分とは言えません。

この「Mapget Pro」は、国土地理院の提供する「地理院地図(電子国土 web)」にアクセスし、任意地の地形図や航空写真を取得したうえで、それらを正確な縮尺かつ自由な書式で印刷(A3/A4)することのできるソフトです。

「Mapget Pro」を使えば、手持ちのソースがなくても様々な地図画像を Web から取得でき、A3、A4 サイズ(最大 A2 サイズ)での印刷や一部範囲を切り抜いて他のアプリケーションで利用するなど、様々な業務に活用することができる画期的なソフトです。

また ver6.0 より、GPS デジカメ写真の位置情報に基づいて、背景地図上に撮影位置マーカーを自動配置して撮影位置図を作成する機能を追加しました。

ご使用前に、このマニュアルをよくお読みいただき、存分にご活用いただければ幸いです。また、ご使用に当たってご不満な点等がございましたら、遠慮なくご連絡下さい。可能な限りバージョンアップ等にて対応させていただく所存です。

それでは今後とも弊社ソフトウェアを何卒よろしくお願いいたします。

2024/04/10

シビルワークス(civilworks)

2. Mapget Pro の概要

2-1. 機能概要

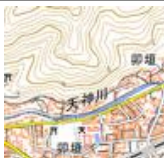

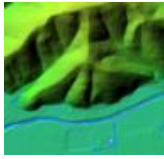

2-1-1. 概要

「Mapget Pro」は、Web(注1)から「電子地図画像」および「航空写真画像(オルソ化空中写真)」を取得するソフトです(注2)。また、Web から取得した電子地図画像やCAD 図面(DXF)あるいはラスター化地図(注3)などを利用して、A4 もしくはA3 サイズの「位置図」や「案内図」等を作成することが可能です。

さらにGPS 写真を読み込み、Web から取得した地図やCAD 図面上に撮影マーカーを配置して、「撮影位置図」を作成することも可能です(注4)。

なお、Web から取得できる地図画像は、下表の画像(地形図3 種類、航空写真5 種類)となります。

Mapget Proで取得可能な画像種別

画像種別		サンプル画像	取得パラメータ	画像拡張子
地形図	標準地図		std	png
	淡色地図		pale	
	色別標高図		relief	
航空写真	電子国土基本図(オルソ画像、2007年～)		ort	jpg
	国土画像情報(第一期:1974～1978年撮影)		gazo1	
	国土画像情報(第二期:1979～1983年撮影)		gazo2	
	国土画像情報(第三期:1984～1986年撮影)		gazo3	
	国土画像情報(第四期:1988～1990年撮影)		gazo4	

注1) Web から画像を取得するには、インターネット接続環境が必要です。取得および印刷できる画像サイズはA4 もしくはA3 サイズとなります。なお取得時の縮尺は変更可能です。

注2) 「電子地図画像」および「航空写真画像(オルソ化空中写真)」は、「[地理院地図\(電子国土web\)](http://maps.gsi.go.jp/help/)」にアクセスし、ハードコピーにより画像を取得します。なお、各画像は提供元が未提供のエリアについては取得できませんので予めご了承下さい。

●地理院地図(電子国土web)・・・<http://maps.gsi.go.jp/help/>

注3) 市販地図をスキャナーで画像化したファイル(ラスターデータ)を読み込むことが出来ます。画像サイズとメモリ容量によっては、メモリ不足等により読み込めない場合がありますので予めご了承下さい。なお、この場合の印刷可能サイズはA2、A3、A4 サイズとなります。

注4) Mapget Pro の国土地理院背景図等データ利用許諾番号は、2012-017 号となります。

2-1-2. Mapget Pro とは?

「Mapget Pro」の概要を、次ページ以降に要約しました。

国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」とは? (その1)

2014.05.04更新

①ネットから地形図をMapgetに取り込んで活用する。

注)地形図は、国土地理院の地理院地図(電子国土web)(<http://portal.cyberjapan.jp/>)にアクセスし、ハードコピーにより地図画像を取得しております(縮尺設定)。取得した画像は、必ず提供サイトの利用規約を順守したうえでご利用下さい。利用規約→<http://portal.cyberjapan.jp/help/termsfuse.html>

■①Mapgetを起動し、「地形図を取得」を選択



「地形図を取得」を選択(ネット接続環境が必須)
「標準地図」「淡色地図」「色別標高図」の3種類から選択可能

■②取得場所と取得条件を設定(取得サイズはA4、A3判)

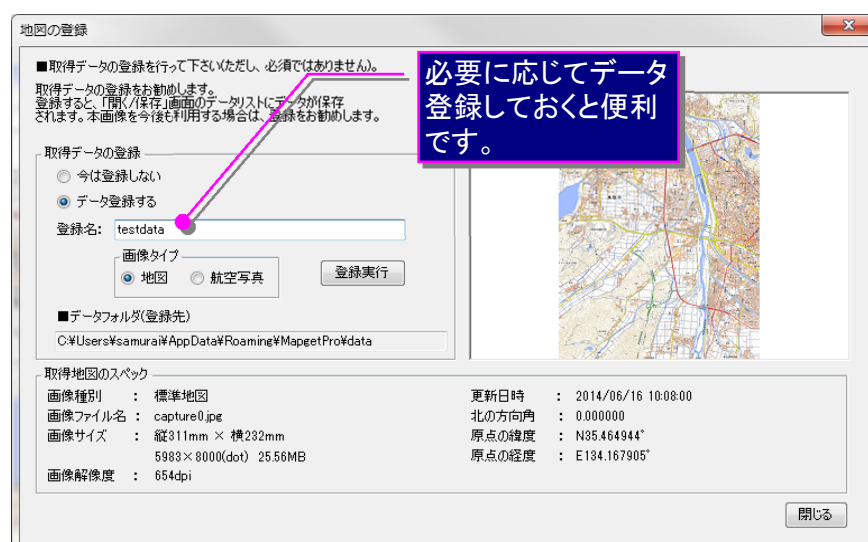


縮尺や取得画質等を
設定します

検索画面内の赤十字交
点が、取得範囲の中心に

準備が出来たら
「取得開始」ボタン
を押します

■③取得地図の登録

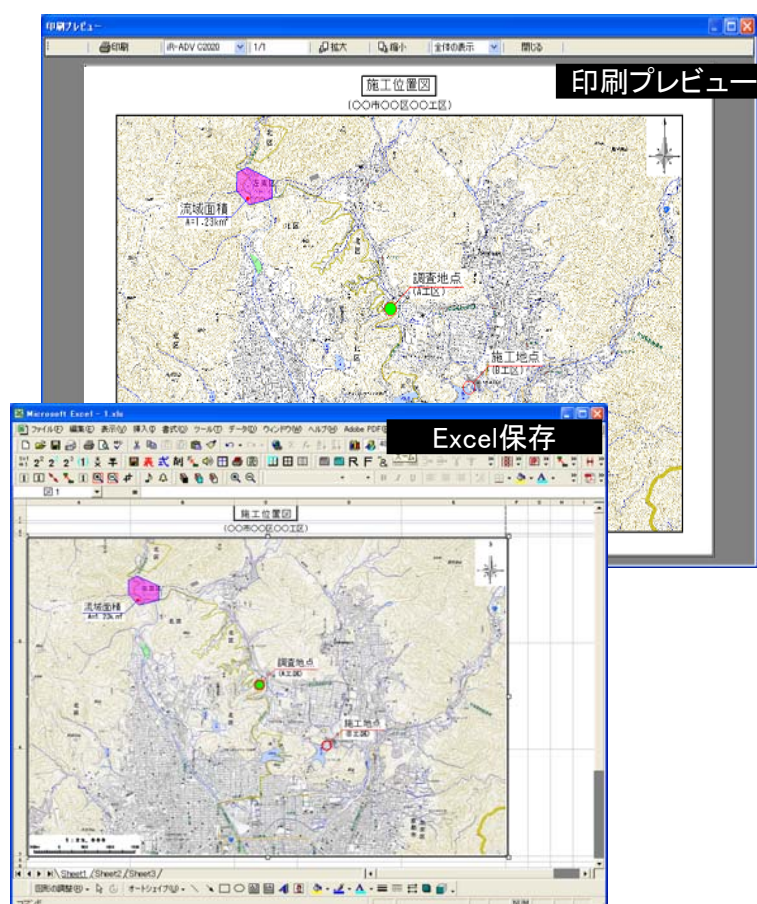


必要に応じてデータ
登録しておくとな
ります。

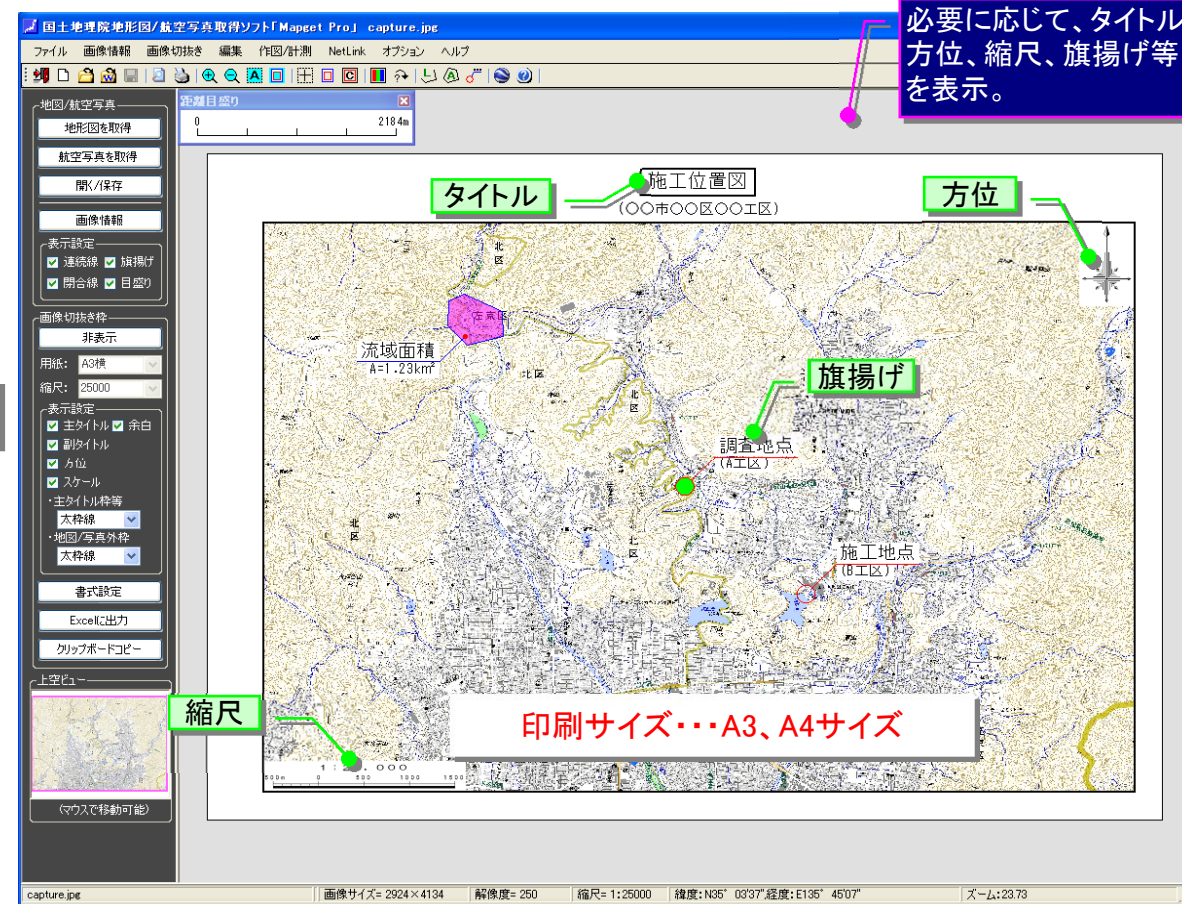
Mapget Proで取得可能な画像種類

取得可能な画像種類		サンプル画像	取得パラメータ	画像拡張子
地形図	標準地図		std	png
	淡色地図		pale	
	色別標高図		relief	
航空写真	電子国土基本図(オルソ画像、2007年～)		ort	jpg
	国土画像情報(第一期:1974～1978年撮影)		gazo1	
	国土画像情報(第二期:1979～1983年撮影)		gazo2	
	国土画像情報(第三期:1984～1986年撮影)		gazo3	
	国土画像情報(第四期:1988～1990年撮影)		gazo4	

■⑤地図を出力



■④取得地図の書式設定



必要に応じて、タイトル
方位、縮尺、旗揚げ等
を表示。

縮尺

印刷サイズ・・・A3、A4サイズ

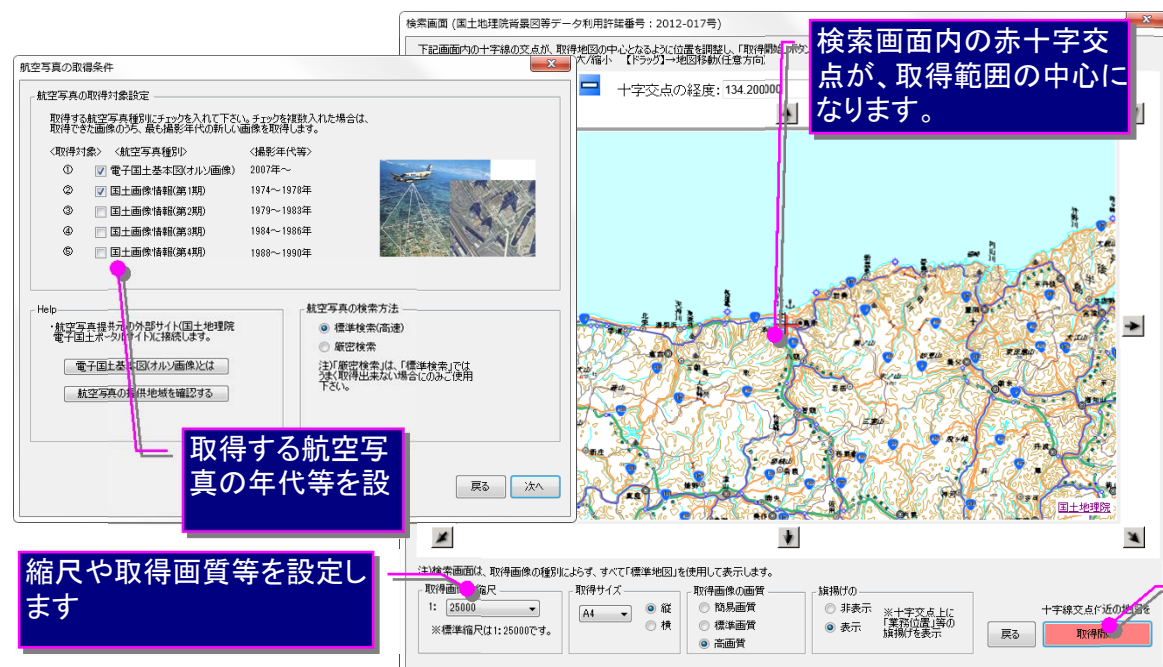
②ネットから航空写真をMapgetに取り込んで活用する。

注)地形図は、国土地理院の地理院地図(電子国土web)(<http://portal.cyberjapan.jp/>)にアクセスし、ハードコピーにより地図画像を取得しております(縮尺設定)。取得した画像は、必ず提供サイトの利用規約を順守したうえでご利用下さい。利用規約→<http://portal.cyberjapan.jp/help/termsfuse.html>

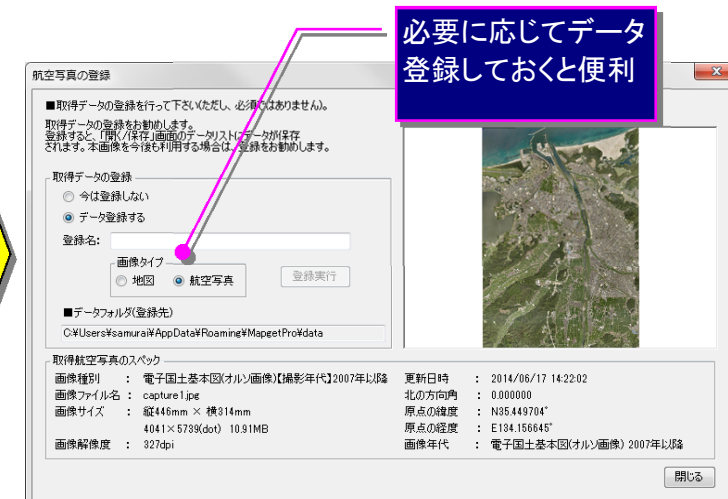
■①Mapgetを起動し、「航空写真を取得」を選択



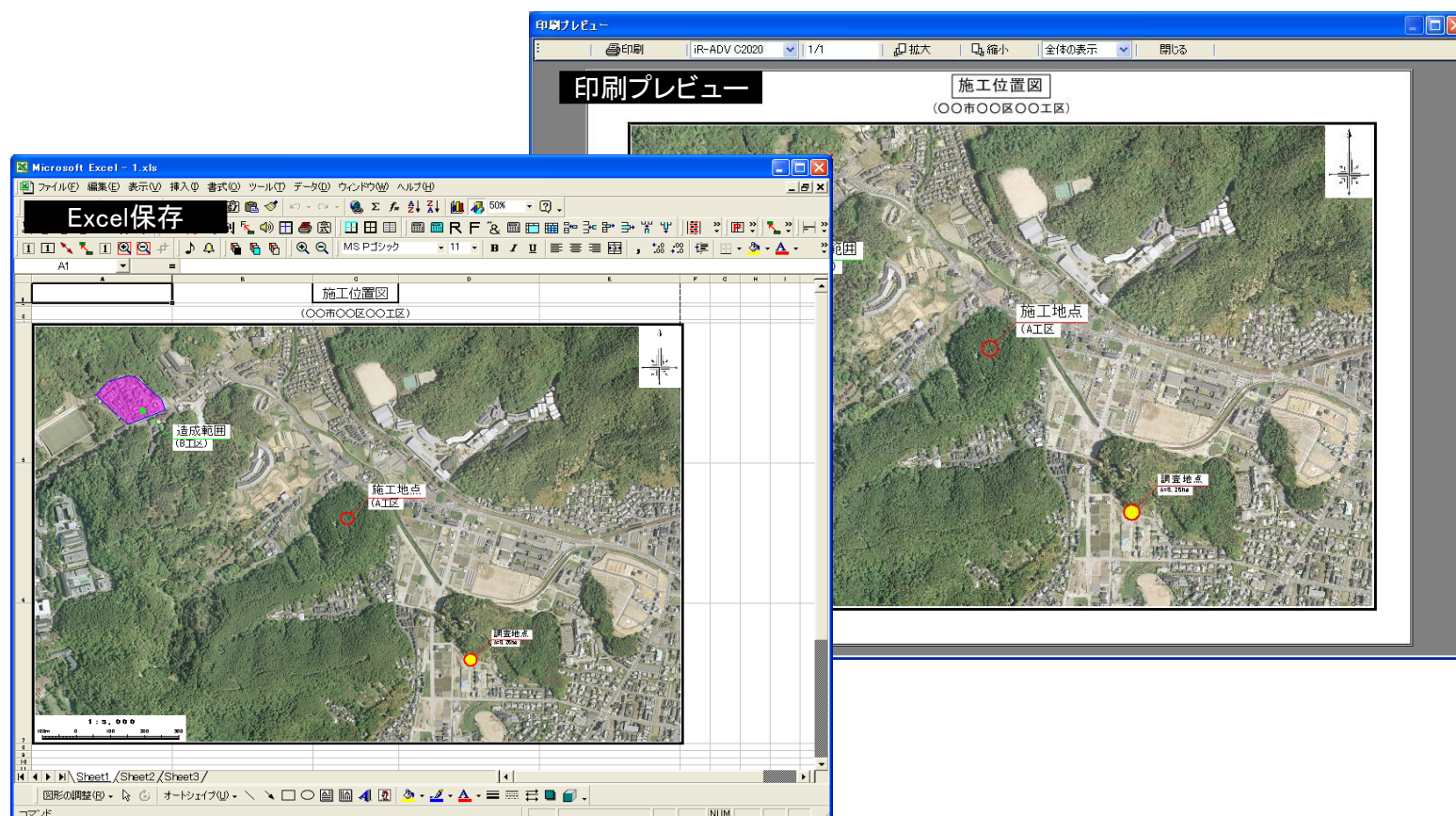
■②取得場所と取得条件を設定(取得サイズはA4、A3判)



■③取得画像の登録



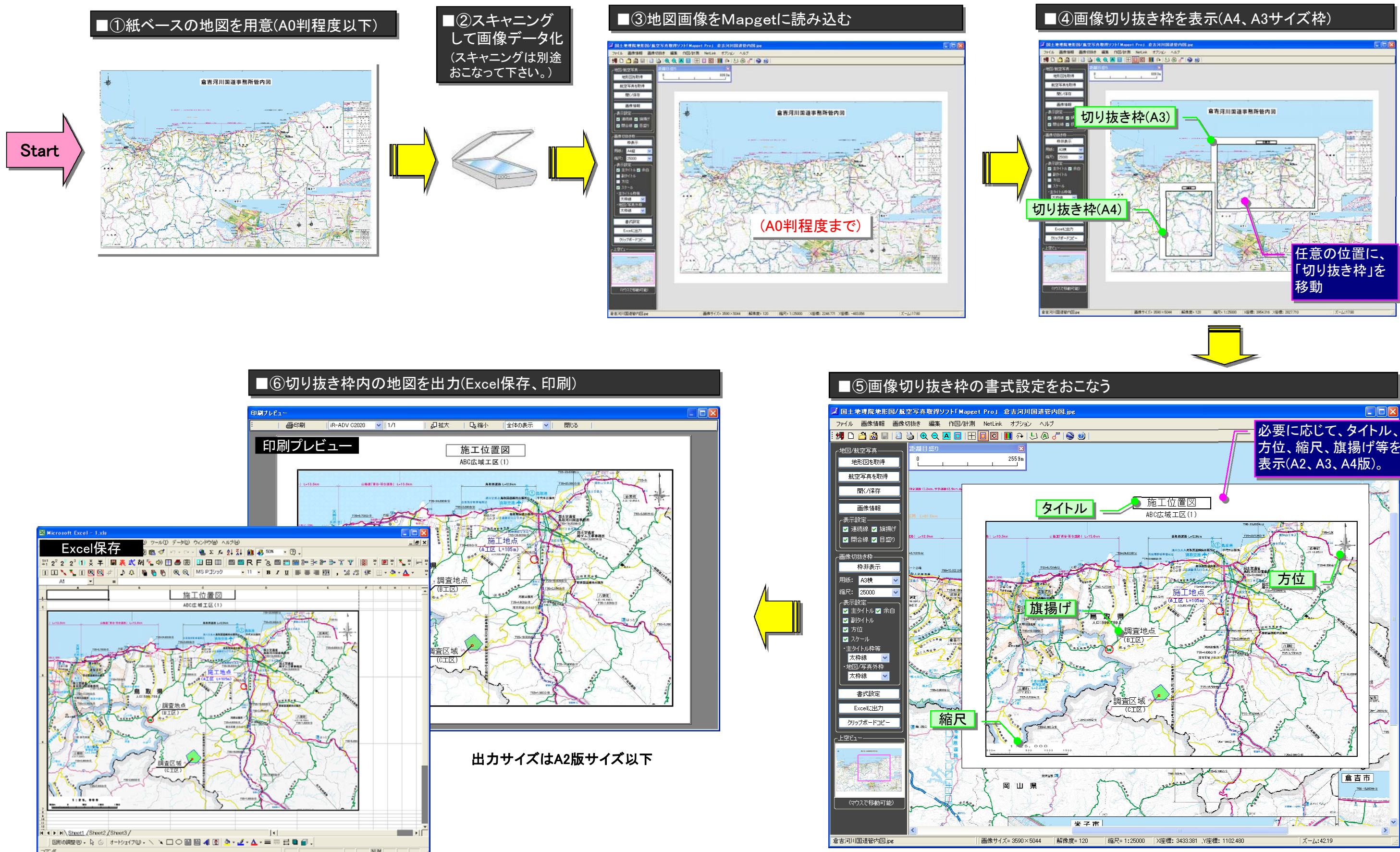
■⑤地図を出力



■④取得地図の書式設定



③ラスタライズした市販地図をMapgetに読み込んで活用する。



国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」とは? (その4)

2017.10.04更新

④GPS写真を読み込み、背景地図上に撮影マーカを配置して「撮影位置図」を作成する。

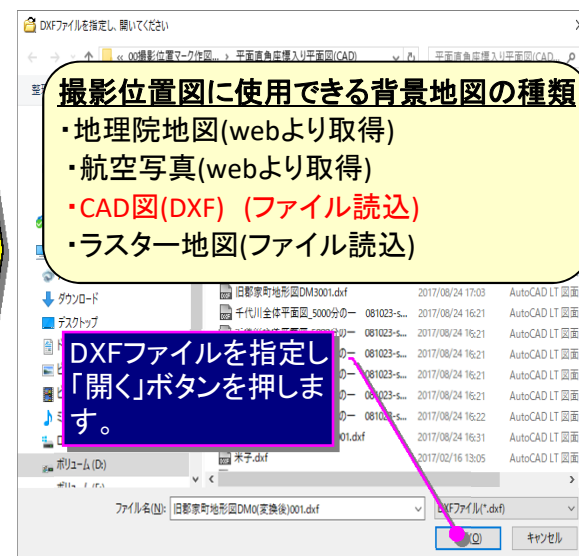
注)背景地図のうちwebより取得する地図の場合は、国土地理院の地理院地図(電子国土web)(<http://portal.cyberjapan.jp/>)にアクセスし、ハードコピーにより地図画像を取得しております(縮尺設定)。取得した画像は、必ず提供サイトの利用規約を順守したうえでご利用下さい。利用規約→<http://portal.cyberjapan.jp/help/termsfuse.html>

■①Mapgetを起動し、背景地図を選択



背景地図を4種類から選択し、「写真のGPS情報を読み込んで地図上に撮影位置を表示する」にチェックします。ここではCAD(dxf)図上に撮影マーカを作図する方法をご紹介します。

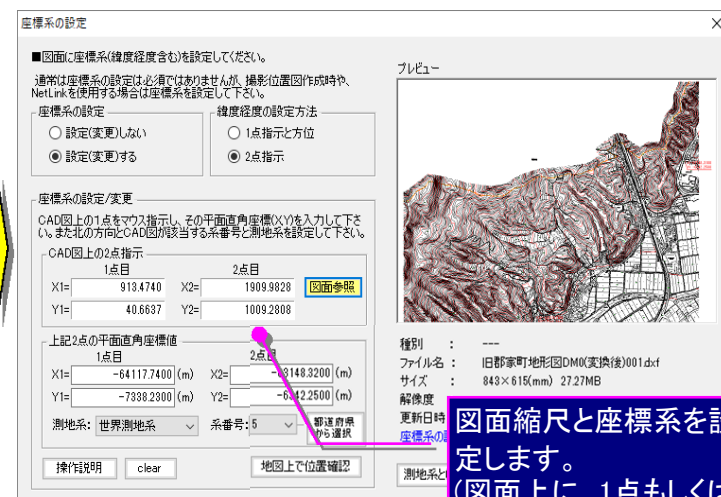
■②背景地図に利用するDXF図面を開く



撮影位置図に使用できる背景地図の種類
・地理院地図(webより取得)
・航空写真(webより取得)
・CAD図(DXF) (ファイル読み込み)
・ラスター地図(ファイル読み込み)

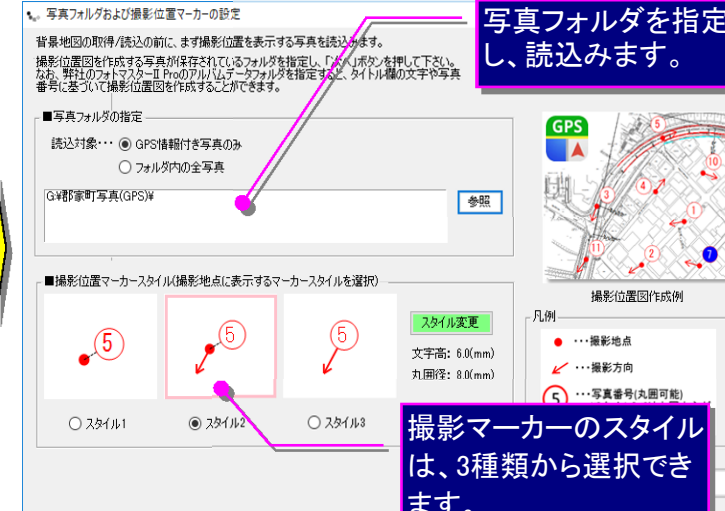
DXFファイルを指定し「開く」ボタンを押します。

■③平面直角座標系の設定→緯度経度への自動変換



図面縮尺と座標系を設定します。(図面上に、1点もしくは2点の平面直角座標の既知点が必要です)

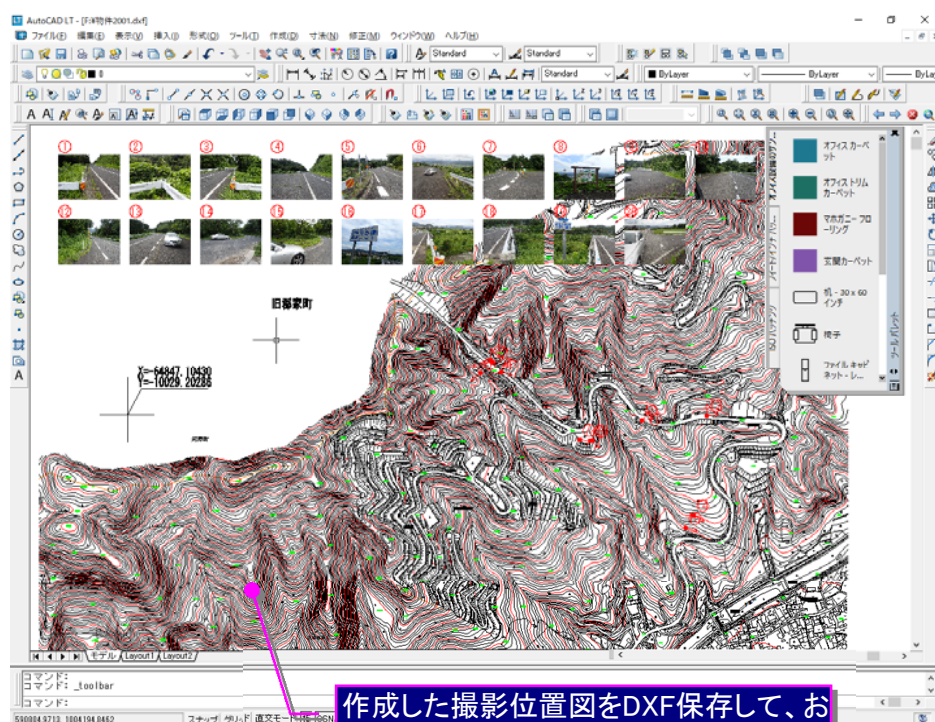
■④撮影写真(GPS情報付)の読み込み



写真フォルダを指定し、読み込みます。

撮影マーカのスタイルは、3種類から選択できます。作成後の変更や書式変更も可能。

■⑦撮影位置図をDXF出力 → CADソフト側で細部編集



作成した撮影位置図をDXF保存して、お手持ちのCADソフトで読み込んで、さらに細部の編集が可能です。(AutoCadの場合は、2010以降のバージョンで読み込んでください)

■⑥撮影位置図の完成



撮影写真の一覧もこのように、写真番号付きで図上に貼り付けることも可能です。

■撮影マーカは、自由に移動、回転等の調整が可能です。



選択マーカの写真プレビュー

■⑤撮影写真の情報一覧



読み込んだ写真の位置情報の一覧表。ここで撮影マーカに表示する内容等を設定します。

撮影マーカに表示する写真番号には、「連番」、「ファイル名(一部)」、「タイトル欄の内容」等から選択可能

ほぼ同一地点から撮影されたマーカのみを作図しないようにする「近接作図回避機能」が使用できます。

2-2. 必要システム











本製品をご利用いただくには、以下のシステムが必要です。

必要システム

オペレーティングシステム (OS)	Windows7/8/10/11
プロセッサ	Pentium 4 2GHz 以上
ディスプレイ	17inch 以上 画面解像度 1,024×768 ドット以上 (モニター解像度=96dpi とし、画面拡大していないこと)
メモリ	8GB 以上
マウス	本体に対応し、日本語 MicrosoftWindows で使用可能なもの
プリンター	本体に対応し、日本語 MicrosoftWindows で使用可能なもの
必要環境	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット接続環境 (ADSL 以上推奨) ・ Microsoft Edge ・ .Net Framework 4.8

2-3. プログラムの特徴

「Mapget Pro」の機能

機能	説明
 Web から地図・航空写真を取得可能 (無料)	インターネット上の Web サイトにアクセスして、 任意位置の電子地図および航空写真を取得し、正確な縮尺で印刷 出来ます。取得時の縮尺は選択可能です。
 ラスター化した市販地図の読込が可能	スキャナー等で ラスター化した地図画像を取り込み 、任意の縮尺で表示/印刷することができます。
 DXF 図の読込が可能	DXF ファイルを読み込んで背景地図として利用することが可能です。DXF 保存も可能です。
 任意位置の画像切抜きが可能	取得したり読み込んだ画像から、A4/A3 サイズで画像の一部を切り抜き、他のアプリケーションで利用することが出来ます。
 豊富な画像編集と作画・マーキング機能	画像の画質を調整したり、画像上への連続線や閉合線、旗揚げの描画が可能です。また距離や面積計測も可能です。
 Excel 保存機能	切抜き範囲を Excel ファイルとして保存できます。
 NetLink 機能	Web から取得した画像や緯度経度設定したラスター化地図において、画像上の任意位置を Google Earth 等で閲覧することが可能です。
 断面図作成機能	Web から取得した地理院地図にて、任意点を結んだラインの地形断面図を作成可能です。断面図は、Excel ワークシート上へのオートシェイプ描画もしくは DXF ファイル (CAD 図) として保存可能です。
 撮影位置図作成機能	GPS デジカメ写真の位置情報に基づいて、背景地図上に撮影マーカー (①) を自動配置し、撮影位置図を作成する機能を追加しました。
 GPX データ読込/編集機能	GPX データを読み込み、移動経路等を背景地図上に表示したり、GPX データを編集することができます。

注 1) 航空写真画像については、接続サイトが未提供のエリアについては取得できません。

3. Mapget Pro 使用上の注意点

3-1. 画像提供サイトの利用規約遵守のお願い

Mapget Pro では、Web サイトにアクセスして電子地図および航空写真画像を取得するため、取得した画像の利用方法については、**画像提供サイトの利用規約を遵守**していただく必要があります。

Mapget Pro で画像提供サイトにアクセスする場合は、その直前に、自動的に画像提供サイトの利用規約を画面に表示します。そして利用規約をお読みいただき、「同意する」にチェックを入れていただかないと取得画面に移行できない仕組みになっています。

これは、画像提供者の権利を保護するための必要な手続きですので、ご了承くださいますようお願いいたします。

下記は、画像提供サイトの利用規約が掲載されている URL です。

- ・ 地理院地図(電子国土 web)利用規約・・・
<http://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/kikakuchousei40182.html>
- ・ Mapget Pro の国土地理院背景図等データ **利用許諾番号：2012-017 号**

3-2. 画像の未提供エリアについて

航空写真については、提供元(国土交通省)が未提供エリアが存在します(2009/06 時点)。未提供エリア内や海上の場所を指定しても、画像を取得することは出来ませんので予めご了承下さい。

- ・ オルソ化空中写真の提供範囲・・・(下記サイトを開き、画面左の「写真」下の「最新(2007～)」にチェックマークを入れて下さい。赤く塗りつぶされたエリアが提供範囲となります。)
<http://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>

3-3. 航空写真の取得年代について

国土交通省が提供する航空写真には、同一地点に複数の年代の画像が提供されているエリアがあります。Mapget Pro では、複数の年代が存在する場合は、提供されている画像のうち最も新しい年代の画像のみを取得します。(環境設定にて年代レイアを変更・追加できます)

ただし、2009/06 時点で複数の年代の画像が提供されているエリアは、東京周辺に限られます。その他のエリアは、唯一提供されている第 1 期(昭和 49 年～昭和 53 年)の画像のみを取得することになります。

提供されている航空写真の年代別エリアについては、下記サイトから確認できます。

- ・ オルソ化空中写真の提供範囲(年代)・・・(下記サイトを開き、画面左の「写真」下の各年代にチェックマークを入れ、縮尺を 1:5000 程度に拡大して下さい。航空写真が提供されていれば写真が表示されます。)
<http://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>

3-4. クリップボードコピーと Excel 出力の機能的な違いについて

Mapget Pro では、切抜き図枠を他のアプリケーションで利用するための機能として、「クリップボードコピー」機能と、「Excel 出力」機能の 2 通りがあります。

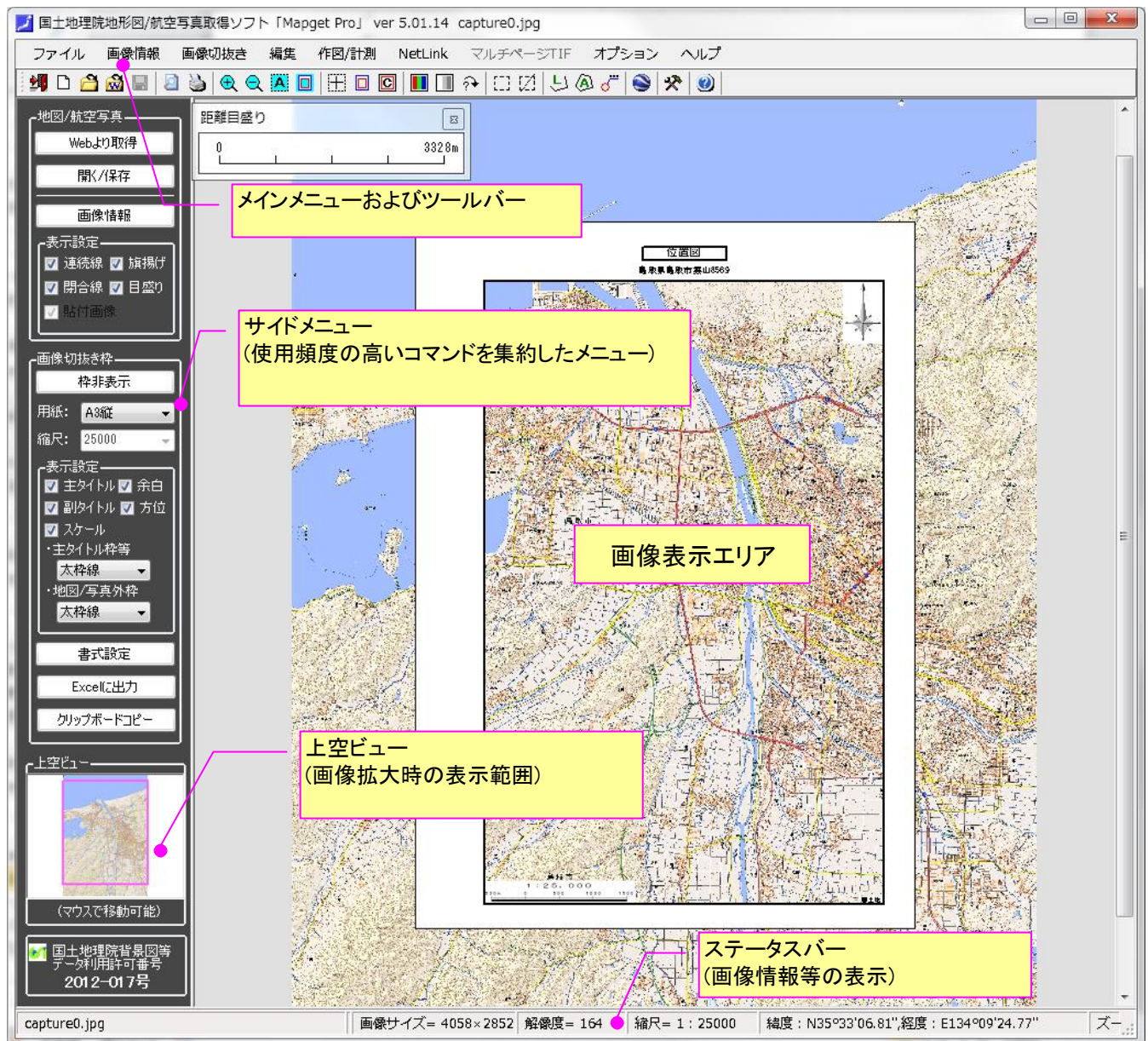
「クリップボードコピー」機能も、クリップボードを介して切り取り枠を Excel に貼り付けることが出来るため、基本的な機能は「Excel 出力」と相違ありません。唯一の相違点は以下となります。

クリップボードを介して Excel に貼り付けると、貼付け画像は縮尺保持のためメタファイル画像となっています。メタファイル画像上に別途オブジェクトを貼付けるなどの編集をおこなうと、印刷時に位置関係がずれてしまう可能性があります(Word への貼付時は問題ありません)。

一方、「Excel 出力」の場合は上記の問題は生じません。従って、Excel 上で様々な編集をおこなう必要がある場合は、「Excel 出力」機能の使用を推奨します。編集等を行わない場合は、どちらの方法でも問題ありません。

4-1. 画面構成について

■画面構成




























4-2. ボタン配置と機能説明

4-2-1. メインツールバーの説明

メインメニュー下方のメインツールバーの機能をご説明します。

メインツールバーの説明

アイコン	機能説明
	「終了」ボタン。プログラムを終了します。
	「新規作成」ボタン。表示中の画像を削除して起動直後の状態にします。
	「開く/保存」ウインドウを開きます。ラスター化した地図画像等を読み込んだり、Mapgetデータを開くことができます。
	「Webから画像を取得」ウインドウを開きます。Webサイトにアクセスして、電子地図や航空写真を取得して、画像表示エリアに表示します。
	上書き保存ボタン。現在開いている画像をデータフォルダに保存します。
	「印刷プレビュー」ボタン。画像切り取り枠と枠内画像の印刷プレビューを表示します。
	「印刷」ボタン。画像切り取り枠と枠内画像を印刷します。
	「拡大」ボタン。押す毎に段階的に画像を拡大表示します。拡大率は、「オプション」-「環境設定」内の「画像拡大縮小時の変化率」の設定値に準じます。
	「縮小」ボタン。押す毎に段階的に画像を縮小表示します。縮小率は、「オプション」-「環境設定」内の「画像拡大縮小時の変化率」の設定値に準じます。
	「画像全体表示」ボタン。押すと、画像全体が画像表示エリア内に収まる大きさで表示されます。
	「図枠全体表示」ボタン。押すと、切り取り枠全体が画像表示エリア内に収まる大きさで表示されます。
	「十字線表示/非表示」ボタン。マウス位置の十字線の表示/非表示の切り替えを行います。
	「図枠表示/非表示」ボタン。切り取り枠の表示/非表示を切り替えます。
	「クリップボードコピー」ボタン。切り取り枠(画像)をクリップボードにコピーするための設定画面を表示します。
	「画質調整」ボタン。画像の画質を調整するための設定画面を表示します。
	画像を、白黒(グレースケール)に変換します。
	「画像回転」ボタン。画像を任意角度で回転させるための設定画面を表示します。
	画像上に矩形範囲を設定します。矩形範囲の部分画像をコピーしたり、トリミングする場合に使用します。
	画像上に設定した矩形範囲を取り消します。
	「連続線描画(距離計測)」ボタン。画像上に単線もしくは連続線を描画します。また描画した連続線の地図上の長さを表示できるため、距離計測としても使用できます。連続線は、1画像当たり最大15組まで表示/設定可能です。
	「閉合線描画(面積計測)」ボタン。画像上に連続線で構成された閉合線を描画します。また閉合面積を表示できるため、面積計測としても使用できます。閉合線は、1画像当たり最大15組まで表示/設定可能です。
	「旗揚げ(マーキング)描画」ボタン。画像上の任意位置に、旗揚げ(マーキング)を表示します。旗揚げ文字の設定や旗揚げ線の設定も可能です。旗揚げは、1画像当たり最大10箇所まで表示/設定可能です。
	Webから取得した地理院地図にて、任意点を結んだラインの地形断面図を作成可能です。断面図は、Excelワークシート上へのオートシェイプ描画もしくはDXFファイル(CAD図)として保存可能です。
	「Net Link機能」ボタン。緯度経度を設定した画像について、地図上の任意位置をGoogle Earth等で閲覧できる。
	「ヘルプ」ボタン。使用説明等のヘルプ画面を表示します。

4-2-2. メインメニューの説明

Mapget Pro のメインメニューの内容と、ツールバーとの対応関係は以下となります。

メインメニュー

種別	コマンド	対応アイコン	概要
ファイル	新規作成		作成済データを破棄し、新規作成します。
	背景地図の選択		背景地図を4種類から選択
	data読込/保存		Mapget Pro専用データの読込/保存
	DXF出力(全体)		背景地図(DXF)をdxf形式で保存(AutoCad LT2010以降に対応)。
	終了		Mapget Proを終了します。
画像情報	画像情報		背景地図の情報表示、設定変更をおこないます。
画像切抜き	図枠表示/非表示		背景地図上に用紙図枠を表示します。
	書式設定		図枠の書式設定をおこないます。
	Excel出力		図枠をExcel保存します。
	印刷		図枠を印刷します。
	印刷プレビュー		図枠の印刷プレビューを表示します。
	クリップボードコピー		図枠をクリップボードにコピーします。
編集	画質調整		背景地図の画質を調整します(DXF図は除く)。
	画像回転		背景地図を配転します(DXF図は除く)。
	グレースケール化(白黒化)		背景地図を白黒表示します(DXF図はサイドメニューにチェックあり)。
	貼付け画像全削除		背景地図上に貼り付けた画像をすべて削除します。
	オートシェイプ図面全削除		背景地図上に描画したオートシェイプをすべて削除します。
ツール	連続線描画(距離計測)		背景地図上に連続線を描画して、その累計距離を計測表示します。
	閉合線描画(面積計測)		背景地図上に閉合線を描画して、その内部面積を計測表示します。
	旗揚げ(マーキング)描画		赤丸と旗揚げを描画します。
	断面図作成		地形断面図を作成します(web地図)。
NetLink	NetLink		背景地図の場所を、web上の様々なサービス(Google map等)を用いて表示します。
写真撮影位置図	撮影位置マーカーの一括作成ウィザード		背景地図上に撮影マーカーを作図するまでを、ウィザード形式でおこないます。
	撮影位置マーカーの情報一覧		作図した撮影マーカーの情報一覧表を表示
	撮影位置マーカーの個別作図		背景地図上に、撮影マーカーを追加作図します。
	撮影位置マーカーの個別編集		作図した撮影マーカーの編集画面を表示
	撮影位置マーカーのスタイル設定		撮影マーカーのスタイル設定画面を表示(スタイルは共通設定)
	撮影位置マーカーと撮影写真の全消去		撮影マーカーと配置写真をすべて削除します。
	図面上に写真配置		背景地図上に写真一覧を貼り付けます。
	配置写真の全消去		背景地図上に貼り付けた写真一覧を全削除します。
オプション	一時作業フォルダ	---	作業用の一時フォルダを設定します。
	環境設定		ソフトの様々な動作設定をおこないます。
ヘルプ	ヘルプ		ヘルプファイルを表示
	バージョン情報		バージョン情報画面を表示
	ホームページにGO!		ホームページを開きます
	最新バージョンをチェックする		使用中のMapget Proが最新バージョンかどうかチェック

4-2-3. サイドメニューの説明

サイドメニューとは、画像表示エリア左に配置された、縦方向に配置されたコマンド群のことです。これらのコマンドは、使用頻度の高いものを抜粋して配置したものです。コマンドの配置とその機能は下記のとおりです。

画像関連コマンド郡

- 地図/航空写真
 - 背景地図の選択: webにアクセスして電子地図/航空写真を取得するなど、背景地図の種別を選択。
 - data読込/保存: Mapgetデータを開いたり、データの保存をおこなう画面を表示。
 - 図面情報: 開いている背景地図の設定変更等をおこなう画面を表示(縮尺や解像度等)。
- 表示設定
 - 距離計測: 地形断面図を作成する経路の表示/非表示の切り替え
 - 面積計測: 背景地図上に作図した要素の表示/非表示を設定。
 - 断面図(経路): 背景地図の座標系を、「緯度経度」「平面直角座標」の2種類から選択します。
 - オートシェイプ: 背景地図がdxf図の場合、図面の背景色を変更できます。
 - 貼付画像
 - 撮影位置
 - 緯度経度線(Grid): 座標系 緯度経度
 - CAD背景色

切り取り枠関連コマンド郡

- 画像切抜き用紙枠
 - 用紙枠表示: 切り取り枠の表示/非表示の切り替え。
 - 用紙: A4横: 切り取り枠の用紙サイズと切抜き時の画像縮尺を設定する。
 - 縮尺: 25000: 切り取り枠内のタイトルや枠線等の簡易設定欄。詳細は、「書式設定」にて設定する。
- 表示設定
 - 主タイトル: 緯度経度線のグリッド表示(web地図)
 - 余白
 - 副タイトル
 - 方位
 - スケール
 - 枠線: 切り取り枠内のタイトルや枠線等の詳細を設定する。
 - 緯度経度線(Grid)
- 書式設定: 切り取り枠をExcelファイルとして保存する。
- Excelに出力
- クリップボードコピー: 切り取り枠をクリップボードコピーするための設定画面を表示する。

上空ビュー
(拡大時の表示位置)

- 上空ビュー: 画像拡大時に、画面の表示範囲を桃色枠で表示。画像全体での相対位置を確認できる。また、桃色枠をマウスで掴み、ドラッグ移動することも可能。

(マウスで移動可能)

図- サイドメニューの配置と機能説明

5. Mapget Pro の使用方法

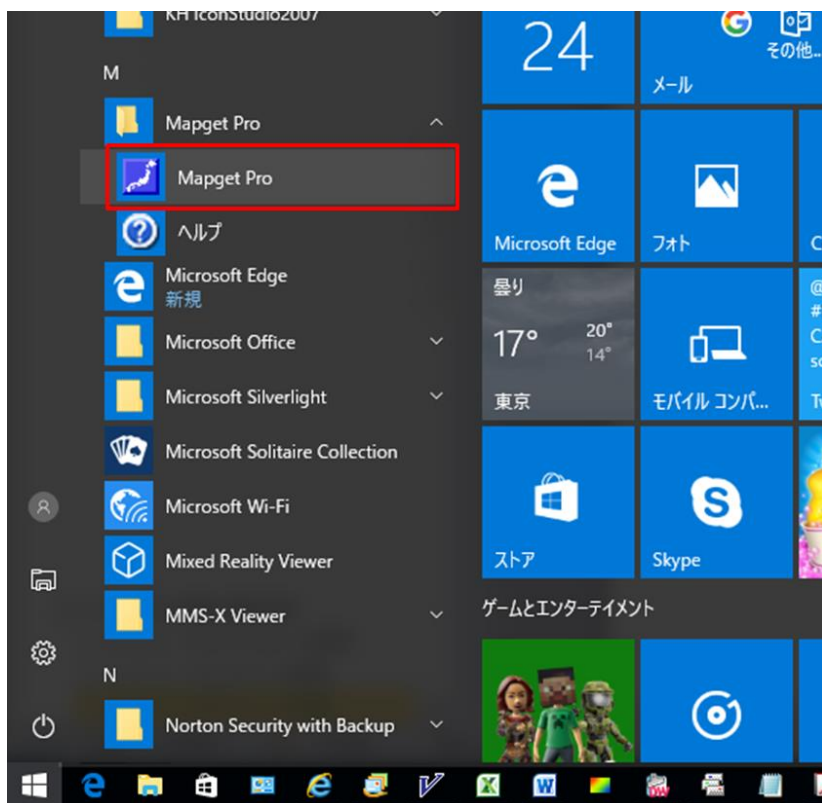
5-1. インストール及びプログラムの起動方法

5-1-1. インストールについて

Mapget Pro のインストール方法につきましては、同梱ファイルの「インストールガイド.pdf」にて詳しく説明しております。インストール前に、必ずお読み下さい。

5-1-2. 起動方法および初期画面について

インストール完了後、プログラムを起動するには、[スタート]－[よく使うアプリ] から「Mapget Pro」を選択し、プログラムを起動します。



Mapget Pro を起動すると、下記の初期画面が表示されます。

画面の案内に従い、利用したい背景地図を選択した後、「次へ」のボタンを押して下さい。

なお、ライセンスを購入された方は、下図の「password 入力」ボタンを開き、次ページに示す方法でパスワードを入力して下さい。

また Mapget Pro は、ライセンスを購入しなくても体験版としての利用が可能です。体験版では、いくつかの機能制限がありますのでご了承下さい(詳しくは、後述の 5-1-4. をご覧下さい)。

国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」

この度は、国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」をご利用頂き、ありがとうございます。

MapgetProは、国土地理院がweb提供する「地理院地図」等を指定縮尺にて取得し、地図上に情報付加して印刷/Excel保存するソフトです(国土地理院背景図等データ利用許諾番号:2012-017号)
背景地図には、上記の外にCAD(DXF)図やラスター地図も利用可能です。さらにver6.0より、GPS付写真を読み込み、背景地図上に撮影マーカ等を配置する「撮影位置図作成機能」が追加されました。
それでは下欄より、ベースとなる背景地図を選択後、「次へ」ボタンを押して作成を開始して下さい。

背景地図の選択

☒ webより地形図を取得(注1)..... 淡色地図

☐ webより航空写真を取得(注2)

☐ CAD図面(DXF)を読み込む

☐ ラスター地図(.jpg.tif bmp)を読み込む

☐ Mapget Proデータ(.mgd)を読み込む

☐ 写真のGPS情報を読み込んで、地図上に撮影位置①を表示する

② 撮影位置図作成機能について

注1)国土地理院の電子国土画像情報(1974~19)取得できるのは「標準地図」

注2)国土地理院の電子国土画像情報(1974~19)

ライセンス管理

本ソフトは体験版としての使用が可能です。体験版では、印刷時等に「体験版」の文字が上書きされるなどの機能制限があります。
機能制限を解除するには、パスワードを別途購入の上、Password入力ボタンを押して下さい。

Password入力

機能制限事項

ソフト購入 → <http://www.civilworks.jp/>

閉じる

次へ

起動後に表示されるこの画面において、取得(利用)したい背景地図を選択してください。

国土地理院のwebサイトにアクセスして、電子地図や航空写真画像を取得する場合は「Webから取得する」を、CADデータ(DXF)の地図を読み込む場合は「CAD図面」を、市販地図等をスキャナーで読み取って画像化したデータを読み込む場合は「ラスター地図」を、保存済みのMapgetデータを読み込む場合は「Mapget Proデータ」を選択します。

取得した背景地図上に撮影マーカを表示して、写真の「撮影位置図」を作成したい場合は、ここをチェックして下さい。なお本機能は「デラックス版」のみとなります。

本ソフトは有料ソフトです。弊社HPにてソフトを購入するとパスワードが発行されますので、「Password入力」ボタンを押し、パスワードをご登録下さい。なお本ソフトはソフト購入前でも殆どの機能を体験試用できます。是非お試し下さい。

5-1-3. パスワードの入力(ライセンスの購入)

前ページの初期画面内の、「password 入力」ボタンを押すと、パスワード入力画面(下図)が表示されます。

機能制限を解除するには、ライセンス購入に伴い発行されるパスワードが必要になります。ユーザー名(任意文字)とパスワード(メールにて送付されます)を入力欄に入力後(コピーを推奨)、「登録」ボタンを押して下さい。機能制限が解除されます。

なお、ライセンスの購入方法については、ホームページ(<http://www.civilworks.jp/>)もしくは Readme.txt をご覧下さい。

Ver7.00 より、ライセンス制となりました。ライセンス数は、インストールできる PC の台数です。同時に使用できる数ではなく、あくまでインストールできる PC 台数の上限となりますので、ご注意ください。

旧バージョンから乗り換えたい場合は、弊社ホームページにて verup 手続き(有償)をしていただくことで乗り換え可能です。

またライセンス数の追加(買い増し)も可能です。ご希望の場合はその旨メールにてお問い合わせ下さい。ライセンス数の更新は、メインメニューの「オプション」-「動作設定」-「設定 3」の「ライセンスの更新」にて、新パスワードをご登録頂くことで可能です。

Password等の入力画面

ユーザー名と制限解除のためのパスワードを入力し、登録ボタンを押して下さい。パスワードはご購入時に送付されてきた文字および数値を入力し、ユーザー名については基本的に使用者のお名前をご入力下さい。(コピーが可能です)

UserName 購入者名(任意)を入力

Password パスワード(ライセンスキー)入力画面

登録

閉じる

Civilworksホームページ
(ライセンス購入・更新情報)

パスワードの登録

正しいパスワードです

ライセンスのタイプは下記となります。下記のライセンスをPCに登録しました。

License Type: 5ライセンス版

注)ライセンスには、「デラックス版」と「スタンダード版」の2タイプがあります。「デラックス版」は全機能が使用できますが、「スタンダード版」は、撮影位置図作成機能のみ使用できません。それ以外は同じです。

OK

パスワードに応じたライセンス数が表示されます。

5-1-4. 体験版での機能制限について

本ソフトは、パスワードなしでも体験版としての試用が可能です。ただし、体験版では以下の機能制限があります。パスワードを別途購入し、入力欄に入力することで、機能制限は解除されます。

- ① 印刷時、Excel 保存時、クリップボードコピー時に、ページ中央付近に「体験版」の文字が上書きされます。
- ② データ保存が出来ません。
- ③ 背景地図が DXF 図の場合、DXF 図の保存ができません。

5-2. 基本操作

ここでは、Mapget Pro の最も基本的な使用方法についてご説明いたします。

5-2-1. Web から地図/航空写真を取得する

Mapget Pro 起動後にまずおこなうことは、背景地図を取得(読込)するか、保存データを開くことです。ここではまず、Web にアクセスして電子地図や航空写真画像を取得するまでの操作方法をご説明します。

○手順1・・・選択リストから「Web より地形図を取得」を選択し、さらに取得したい画像種別(標準地図、淡色地図、色別標高図)を選択します。



Mapget Proで取得可能な画像種別

	画像種別	サンプル画像	取得パラメータ	画像拡張子
地形図	標準地図		std	png
	淡色地図		pale	
	色別標高図		relief	
航空写真	電子国土基本図(オルソ画像、2007年～)		ort	jpg
	国土画像情報(第一期:1974～1978年撮影)		gazo1	
	国土画像情報(第二期:1979～1983年撮影)		gazo2	
	国土画像情報(第三期:1984～1986年撮影)		gazo3	
	国土画像情報(第四期:1988～1990年撮影)		gazo4	

○手順 2・・・次に国土地理院の web サイトにアクセスしますので、下記の利用規約に同意していただき、「次へ」ボタンを押して下さい。

Webから地形図を取得

「Mapget Pro」は、地理院地図(ウェブ地図)にアクセスして地図/オルソ画像を取得します。取得した画像は、下記の利用規約を遵守してご利用下さい。下記利用規約をすべてお読み頂き、規約を遵守して利用する場合のみ、チェックをしてから、「次へ」ボタンを押して下さい。
利用規約のオリジナルは [こちら](#)

利用規約

地理院タイル利用規約

第1条
地理院タイルとは、国土地理院が公開する「地理院タイル一覧」を通じて利用に供するデータをいいます。

第2条
地理院タイルの利用とは、ウェブサイト、アプリケーションソフト又は資料を通じて地理院タイルを利用することをいいます。

第3条
本規約で、出所の明示とは、「国土地理院」又は「地理院」の文字列を資料、ウェブサイト又はアプリケーションソフトに含めることで地理院タイルの出所を明示することをいいます。

第4条
地理院タイルの利用又は地理院タイルを利用できるウェブサイトの公開若しくはアプリケーションソフトの提供をもって地理院タイル利用規約に同意したものとみなします。

第5条
地理院タイルを利用する場合には、次に従ってください。

- 1 測量法第29条及び第30条により承認申請が必要とされている機能での利用はしないでください。
- 2 著作権法第30条における私的(使用に相当する範囲を越える利用に際しては出所の明示を行う)
- 3 公の秩序若しくは善良な風俗を害する目的又は犯罪行為その他の違法な行為に用いる目的で
- 4 地理院タイルを提供するサーバに過度の負荷を与えないでください。

利用規約に
☐ 同意しない
☒ 同意する

取得地点の検索設定

☐ 前回取得地点... 緯度= (°)、経度= (°)

☐ 緯度経度を指示... 緯度= [] (°)、経度= [] (°) 参照

☐ 住所、地名、建物を指示...

☒ 検索地域の絞り込み (初期検索画面→ 島取)

戻る 次へ

②利用規約を読み、「同意する」を選択。

③検索地図は、最初は「日本全国」が選択されています。都道府県名を選択すると、各都道府県が検索画面に表示されます。

④「同意する」を選択すると「次へ」ボタンが表示されますので、「次へ」ボタンを押して画面を進めます。

○手順 3・・・次に下記の検索画面が表示されますので、まず①中央の赤い十字線を取得したい地点に合わせた後、②→⑥の順に取得条件を設定し、最後に「取得開始」ボタンを押すと、取得を開始します。

なお、概略の取得範囲や用紙範囲などが、地図上に黒枠線にて表示されますので、取得位置の調整時にご利用ください。

<解説>

電子地図の場合、オリジナルの縮尺が2万5千分の一ですので、縮尺を同じ値に設定すると文字の大きさ等が最も適した大ききさで表示されますが、異縮尺でも問題なく取得できます(ただし、縮尺が小さいほど地図上の文字も小さくなります)。

取得画像の画質につきましては、標準画質でも十分業務に差し支えない品質ですが、実際にお使いいただき、目的等に応じて変更していただければと思います。

取得中心点の旗揚げにつきましては、「表示」を既定としています。必要なければ取得後に削除することも可能です。

検索画面 (国土地理院背景図等データ利用許諾番号: 2012-017号)

下記画面の十字交点が、取得範囲の中心となるように位置を調整し、「取得開始」ボタンを押して下さい。
マウス機能・・・【ホイール回転】→拡大/縮小 【ドラッグ】→地図移動(任意方向)

取得範囲 用紙範囲 検索地図種別 淡色地図

十字交点の経度: 134.200000 度 緯度: 35.500000 度

本画面は、検索地域に「鳥取」を指定した場合の検索画面です。このように、京都府の府庁所在地を中心とした範囲に絞り込んで検索画面が表示されます。

矢印の方向に移動します。

「+」→拡大表示
「-」→縮小表示

検索画面の背景地図を変更したい場合は、このプルダウンメニューで変更可能

黒の太枠線が取得範囲となります。

黒の細枠線が用紙範囲(A3、A4)となります。

①この赤い十字線を、取得したい地点にあわせます。

・画面上でマウスホイールを回転させると拡大/縮小します。
・マウスのドラッグでも地図を移動できます。

⑤取得後に、画像上に旗揚げを表示するかどうかを設定します。「表示」を選択すると、画像中心付近に「業務位置」が旗揚げが表示されます。

注)検索画面は、取得画像の種別によらず、すべて「標準地図」を使用して表示します。

取得画像の縮尺 1: 25000 ※標準縮尺は1:25000です。

取得サイズ A4 縦 横

取得画像の画質 簡易画質 標準画質 高画質

旗揚げの 非表示 表示 ※十字交点上に「業務位置」等の旗揚げを表示

十字線交点付近の地図を 戻る 取得開始

②取得する画像の縮尺を設定します。(電子地図の標準縮尺は2万5千分の一ですが、それ以外も設定可能)

③取得する画像の大きさを設定します。A4縦、A4横、A3縦、A3横から選択してください。

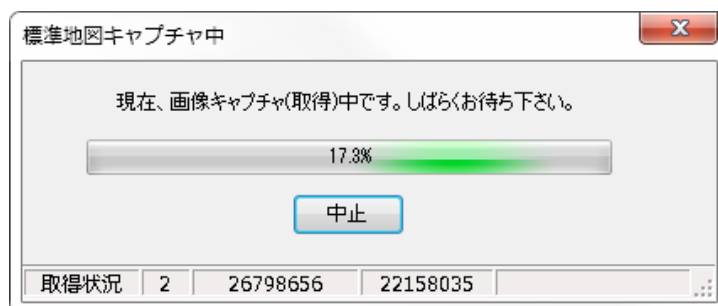
④取得する画像の画質を設定します。ただし、縮尺等によっては選択できない場合があります。

⑥取得設定完了後、この「取得開始」ボタンを押すと取得を開始します。取得中の中断も可能です。

○手順 4・・・取得中は、下記のようなプログレスバーが表示され、進捗状況をお知らせします。取得サイズが大きいほど、また取得画質を「高画質」にするほど、取得時間は増します。

なお、数分待ってもプログレスバーが進捗しない場合等は、「中止ボタン」を押すか、右上の「×」を押して下さい。取得を中断します。インターネット接続環境等に問題ないか再度確認のうえ、また他のアプリケーションを閉じるなどして再度接続を試みてください。

それでも取得できない場合は、画像提供元が一時的にアクセスを禁止しているなどの場合もありますので、しばらく時間を空けてから再接続を試みてください。



○手順 5・・・取得に成功すると、下記の「地図の登録」画面が表示されます。データ登録する場合はデータ名を入力して「登録実行」ボタンを押します。登録は後からでも可能です。

①取得した地図を保存する場合は、「データ登録する」を選択します。(必須ではありません。登録は後でも可能)

取得した地図の全体像を表示します。

■取得データの登録を行って下さい(ただし、必須ではありません)。
取得データの登録をお勧めします。
登録すると、「開く/保存」画面のデータリストにデータが保存されます。本画像を今後も利用する場合は、登録をお勧めします。

取得データの登録

☐ 今は登録しない

☒ データ登録する

登録名: testdata

画像タイプ
☒ 地図 ☐ 航空写真

登録実行

■データフォルダ(登録先)

C:\Users\samurai\AppData\Roaming\MapgetPro\data

取得地図のスペック

画像種別 : 標準地図

画像ファイル名 : capture0.jpg

画像サイズ : 縦311mm × 横232mm
5983×8000(dot) 25.56MB

画像解像度 : 654dpi

更新日時 : 2014/06/16 10:08:00

北の方向角 : 0.000000

原点の緯度 : N35.464944°

原点の経度 : E134.167905°

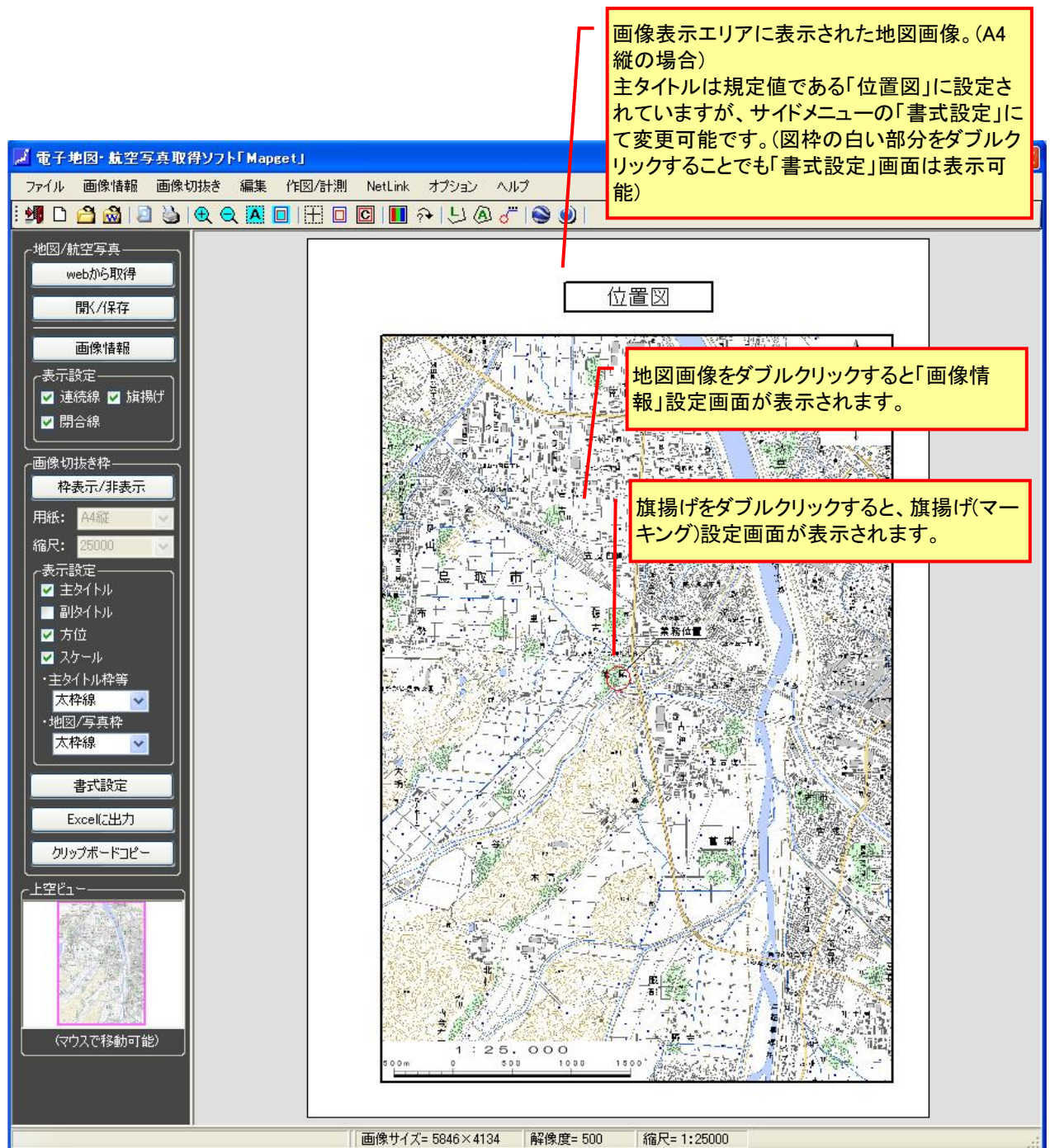
閉じる

②登録データ名を入力後、「登録実行」ボタンを押すと、取得した地図がMapgetのデータとして保存されます。保存データは「開く/保存」画面で開くことができます。

③画面を閉じ、取得地図をメイン画面の画像表示エリアに表示します。

○手順6・・・取得した地図(画像)と図枠が下図のように、メイン画面の画像表示エリアに表示されます。

図枠を非表示にするには、サイドメニューの「枠表示/非表示」ボタンを押します。もう一度押すと、再表示します。



上記は、電子地図取得の場合ですが、航空写真を取得する場合も基本的な操作の流れは同じです。

5-2-2. CAD 図 (DXF) を読み込む

1) Mapget Pro で読込可能な CAD 形式

Mapget Pro で読み込める CAD 形式は、DXF のみとなります。

- dxf

2) 読込の手順

○手順 1・・・背景地図の選択にて、「CAD 図面 (DXF) を読み込む」を選択し、「次へ」ボタンを押します。

国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」

この度は、国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」をご利用頂き、ありがとうございます。

MapgetProは、国土地理院がweb提供する「地理院地図」等を指定縮尺にて取得し、地図上に情報付加して印刷/Excel保存するソフトです(国土地理院背景図等データ利用許諾番号:2012-017号)

背景地図には、上記の外にCAD(DXF)図やラスター地図も利用可能です。さらにver6.0より、GPS付写真を読み込み、背景地図上に撮影マーカー等を配置する「撮影位置図作成機能」が追加されました。

それでは下欄より、ベースとなる背景地図を選択後、「次へ」ボタンを押して作成を開始して下さい。

背景地図の選択

☐ webより地形図を取得(注1)..... 標準地図

☐ webより航空写真を取得(注2)

☒ CAD図面(DXF)を読み込む

☐ ラスター地図(.jpg.tif.bmp)を読み込む

☐ Mapget Proデータ(.med)を読み込む

☐ 写真のGPS情報を読み込んで、地図上に撮影位置①を表示する

撮影位置図作成機能について

注1)国土地理院の電子国土基本図(地図情報)を取得します。
取得できるのは「標準地図」「淡色地図」「色別標高図」の3種類です。

注2)国土地理院の電子国土基本図(オルソ画像)もしくは国土画像情報(1974～1990)を取得します。

ライセンス管理

UserName: sasa

Password: 認証済

License Type: 5ライセンス版

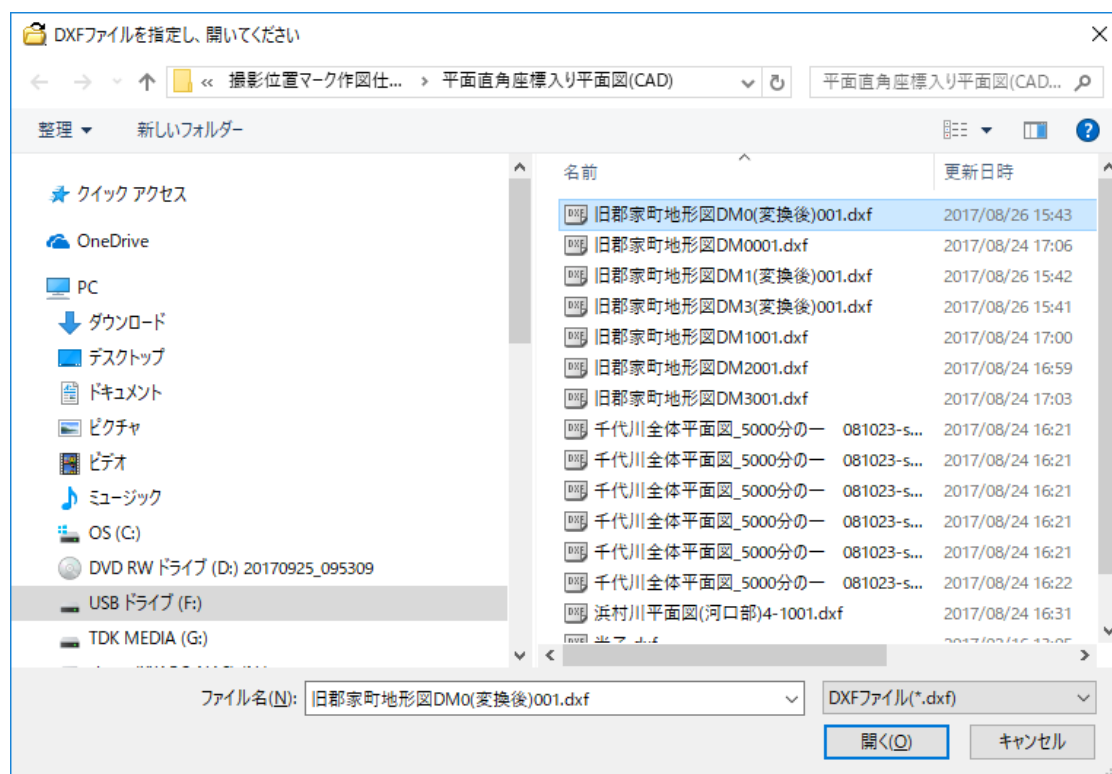
問合せ先 → <http://www.civilworks.jp/>

閉じる 次へ

①まず取得する背景地図を選択

②「次へ」ボタンを押して画面を進めます

○手順 2・・・下記画面が表示されますので、dxf ファイルを指定し「開く」ボタンを押します。



○手順 3・・・ファイルを開くと、下記画面が表示されますので、dxf 図面の縮尺を設定し「次へ」ボタンを押してください。なおリストに該当する縮尺がない場合は、「指定縮尺」を選択し、設定欄に縮尺を直接入力して下さい。

①dxf図の縮尺をリストから選択し、「次へ」ボタンを押します。

図面情報設定

図面について、以下の情報を設定して下さい。

縮尺

S=1: 2500

注)図面の縮尺をリストから選択して下さい。リストにない場合は「指定縮尺」を選択し直接設定して下さい。

解像度

☒ 直接指定 (解像度を直接入力)
☐ 間接指定 (画像上の2点と点間距離から、解像度を間接的に求める)

解像度: 96.0 (dpi)

プレビュー

種別 : CAD図面(DXF)
ファイル名 : 旧郡家町地形図DM0(変換後)001.dxf
サイズ : 2107948×1537835(mm) 27.27MB
解像度 : ---
更新日時 : 2017/08/26 15:43:32

開じる 次へ

■縮尺を直接指定する場合

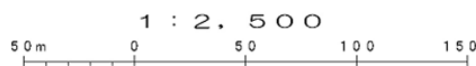
縮尺

S=1: 指定縮尺

指定縮尺: 3000

注)図面の縮尺をリストから選択して下さい。リストにない場合は「指定縮尺」を選択し直接設定して下さい。

リスト以外の縮尺を設定したい場合は「指定縮尺」を選択し、縮尺を直接入力します。
但し、直接指定した場合は、切り抜き図に「スケール」(下図)は表示されません。



手順 4・・・次に、「緯度経度の設定」画面が表示されます。緯度経度を設定したり、方位を変更する場合は「設定する」を選択してください(必須ではありません)。下記画面の①→③の順に設定後、「次へ」のボタンを押して下さい。

座標系の設定

■図面に座標系(緯度経度含む)を設定してください。
通常は座標系の設定は必須ではありませんが、撮影位置図作成時や、NetLinkを使用する場合は座標系を設定して下さい。

座標系の設定
☐ 設定(変更)しない
☒ 設定(変更)する

緯度経度の設定方法
☒ ① 1点指示と方位
☐ ② 2点指示

座標系の設定/変更
CAD図上の1点をマウス指示し、その平面直角座標(X,Y)を入力して下さい。また北の方向とCAD図が該当する系番号と測地系を設定し

北の向き: 図面上方 (図面参照) (北方向角) 0.000000

図面上の任意点(1点)の座標
 【任意点の図面上の座標】
 X1= Y1= [図面参照]

【任意点の平面直角座標】...☒ 平面直角座標 ☐ 緯度経度
 X1= (m) Y1= (m)

測地系: 世界測地系 系番号: 5 都道府県から選択

操作説明 clear 地図上で位置確認

プレビュー

種別 : ---
 ファイル名 : 旧郡家町地形図DM0(変換後)001.dxf
 サイズ : 843×615(mm) 27.27MB
 解像度 : ---
 更新日時 : 2017/08/26 15:43:32

測地系とは 戻る 次へ

○手順 5・・・次に、下記の「地図の登録」画面が表示されます。データ登録する場合はデータ名を入力して「登録実行」ボタンを押します。

地図の登録

■画像のデータ登録を行って下さい(ただし、必須ではありません)。
取得した画像の登録をお勧めします。
登録すると、「開く/保存」画面のデータリストにデータが保存されます。本画像を今後にも利用する場合は、登録をお勧めします。

取得地図の登録
☐ 今は登録しない
☒ データ登録する

登録名: 京都府右京区1-1周辺

画像タイプ
☒ 地図 ☐ 航空写真

登録実行

取得地図のスペック
 画像ファイル名 : capture.jpg
 画像サイズ : 縦297mm × 横210mm
 4134×5846(dot) 6.22MB
 画像解像度 : 500dpi

取得地図のプレビュー

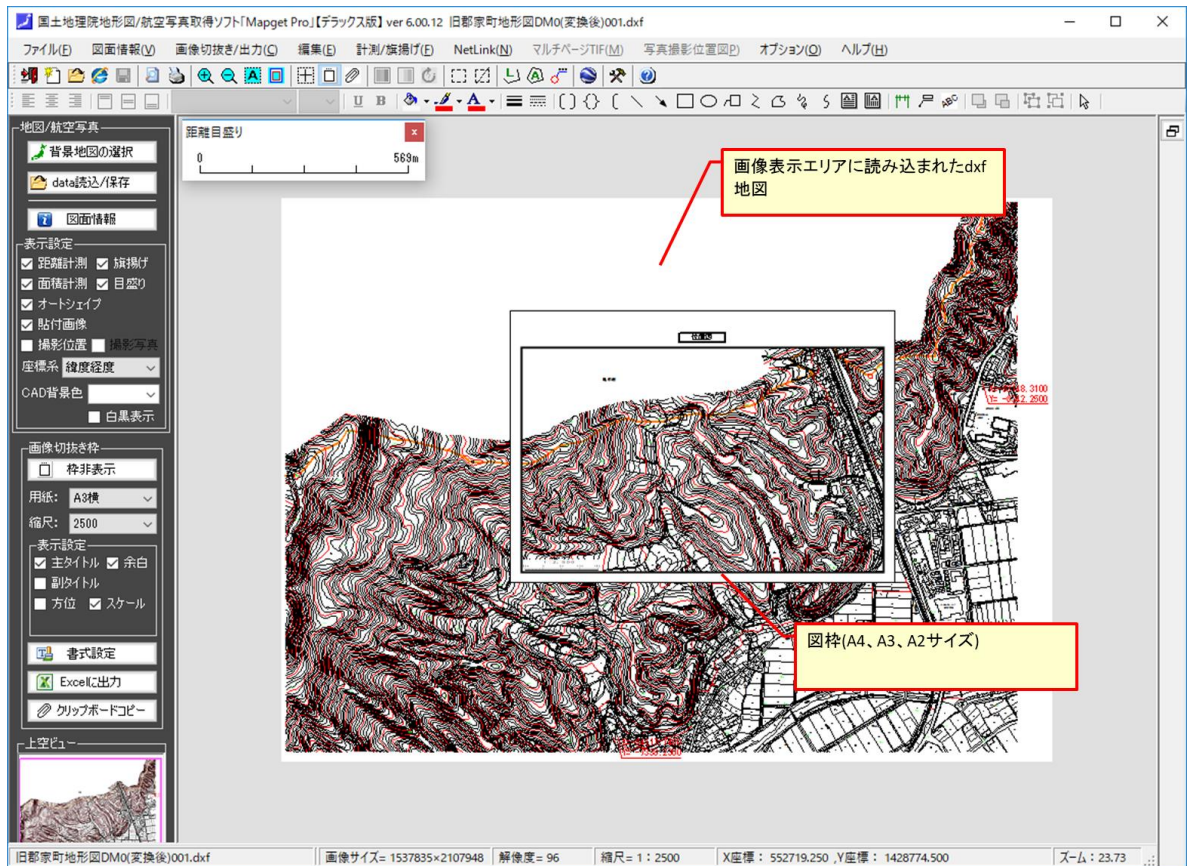
更新日時 : 2009/06/18 14:59:31
 北の方向角 : 0.000000
 原点の緯度 : N35.466539°
 原点の経度 : E134.170976°

閉じる

②登録データ名を入力後、「登録実行」ボタンを押すと、取得した地図がMapgetのデータとして保存されます。保存データは「開く/保存」画面で開くことができます。

③画面を閉じ、取得地図をメイン画面の画像表示エリアに表示します。

○手順6・・・読込んだ dxf ファイルが、下図のようにメイン画面の画像表示エリアに表示されます。
図枠を表示するには、サイドメニューの「枠表示/非表示」ボタンを押します。もう一度押すと、非表示となります。



5-2-3. ラスター化した市販地図を読み込む

1) Mapget Pro で読込可能な画像形式

次に、スキャナー等にてラaster化した市販地図画像を読み込んでみましょう。
Mapget Pro では、下記形式の画像ファイルに対応しています。

- BMP
- JPG
- TIFF , TIF
- PNG

2) 読込の手順

○手順1・・・背景地図の選択にて、「ラaster地図を読み込む」を選択し、「次へ」ボタンを押します。

The screenshot shows the 'Mapget Pro' window. The title bar reads '国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」'. The main text area contains instructions: 'この度は、国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」をご利用頂き、ありがとうございます。' followed by a description of the software's capabilities. Below this is the '背景地図の選択' (Select Background Map) section with five radio button options: 'webより地形図を取得(注1)..... 標準地図', 'webより航空写真を取得(注2)', 'CAD図面(DXF)を読み込む', 'ラaster地図(.jpg.tif.bmp)を読み込む' (which is selected), and 'Mapget Proデータ(.med)を読み込む'. There is also a checkbox for '写真のGPS情報を読み込んで、地図上に撮影位置①を表示する'. To the right is a 'ライセンス管理' (License Management) section with fields for 'UserName: sasa', 'Password: 認証済', and 'License Type: 5ライセンス版', along with a contact link. At the bottom right are '開じる' and '次へ' buttons. Two red boxes with arrows provide instructions: Box 1 points to the 'ラaster地図' option with the text '①まず取得する背景地図を選択'; Box 2 points to the '次へ' button with the text '②「次へ」ボタンを押して画面を進めます'.

国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」

この度は、国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」をご利用頂き、ありがとうございます。

MapgetProは、国土地理院がweb提供する「地理院地図」等を指定縮尺にて取得し、地図上に情報付加して印刷/Excel保存するソフトです(国土地理院背景図等データ利用許諾番号: 2012-017号)

背景地図には、上記の外にCAD(DXF)図やラaster地図も利用可能です。さらにver6.0より、GPS付写真を読み込み、背景地図上に撮影マーカ等を配置する「撮影位置図作成機能」が追加されました。

それでは下欄より、ベースとなる背景地図を選択後、「次へ」ボタンを押して作成を開始して下さい。

背景地図の選択

☐ webより地形図を取得(注1)..... 標準地図

☐ webより航空写真を取得(注2)

☐ CAD図面(DXF)を読み込む

☒ ラaster地図(.jpg.tif.bmp)を読み込む

☐ Mapget Proデータ(.med)を読み込む

☐ 写真のGPS情報を読み込んで、地図上に撮影位置①を表示する

② 撮影位置図作成機能について

注1)国土地理院の電子国土基本図(地図情報)を取得します。
取得できるのは「標準地図」「淡色地図」「色別標高図」の3種類です。

注2)国土地理院の電子国土基本図(オルソ画像)もしくは国土画像情報(1974～1990)を取得します。

ライセンス管理

UserName: sasa

Password: 認証済

License Type: 5ライセンス版

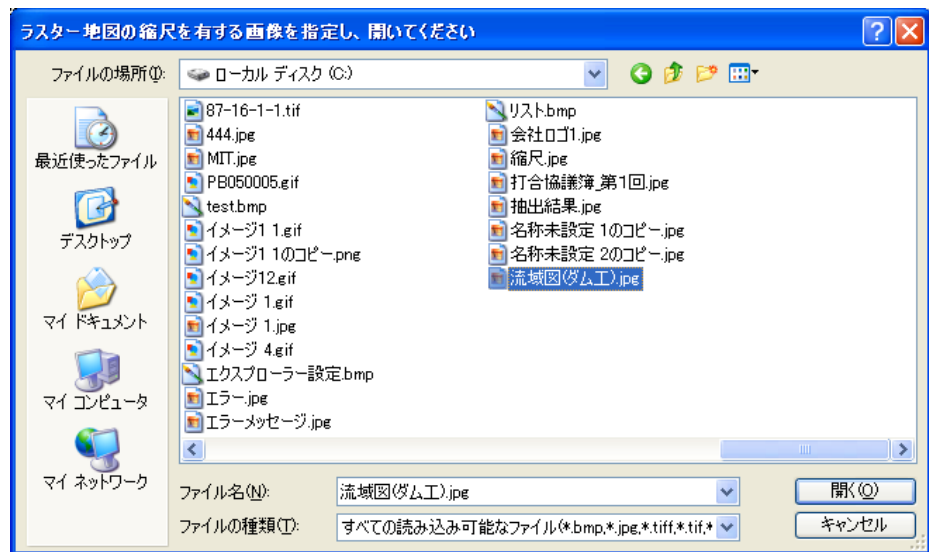
問合せ先 → <http://www.civilworks.jp/>

開じる 次へ

①まず取得する背景地図を選択

②「次へ」ボタンを押して画面を進めます

○手順 2・・・次に、下記画面が表示されますので、画像ファイルを指定し「開く」ボタンを押します。



○手順 3・・・ファイルを開くと、下記画面が表示されますので、①→③の順に設定し「次へ」ボタンを押してください。

■解像度を「直接設定」する場合

①開いた画像の縮尺を指定します。
(縮尺が不明な場合は、希望する縮尺を設定して下さい)

開いた画像の全体像を表示します。

画像情報設定

画像について、以下の情報を設定して下さい。

縮尺
S=1:
注)縮尺が不明な場合等は、表示したい縮尺を設定して下さい。なお、解像度については「間接指定」にて設定して下さい。

解像度
☒ 直接指定 (解像度を直接入力)
☐ 間接指定 (画像上の2点と点間距離から、解像度を間接的に求める)

解像度: (dpi)

画像プレビュー


Exif情報の表示欄

画像ファイル名 : test.jpg
画像サイズ : 2270×1751(dot) 1.5MB
画像解像度 : 96dpi(実際とは異なる場合があります)
更新日時 : 2009/06/12 11:54:46

閉じる 次へ

③「直接指定」を選択した場合は、解像度入力欄に、解像度を直接入力して下さい。ただし、この欄に入力する値は、上記の画面右下方に表示されている画像解像度(ここでは96dpi)とは限りませんのでご注意下さい。その理由は以下です。
・・・画面右下方に表示されている解像度は、画像ファイル生成時に作成されたExif情報の値を表示しているだけです。その後、もし画像編集ソフト等で解像度を変更されていてもExif情報は更新されませんので、編集後の実際の解像度とは異なる場合がある訳です。

②以下の方法で、画像解像度の指定方法を選択して下さい。
画像の縮尺と解像度が既知の場合は、「直接指定」を、縮尺と解像度のどちらか一方でも不明の場合は、「間接指定」を選択して下さい。

■解像度を「間接設定」する場合

解像度を、地図上の2点の位置とその点間距離から間接的に割り出します。

①開いた画像の縮尺を指定します。
(縮尺が不明な場合は、希望する縮尺を設定して下さい)

開いた画像の全体像を表示します。

Exif情報の表示欄

画像情報設定

画像について、以下の情報を設定して下さい。

縮尺

S=1: 25000

注)縮尺が不明な場合は、表示したい縮尺を設定して下さい。なお、解像度については「間接指定」にて設定して下さい。

解像度

☐ 直接指定 (解像度を直接入力)

☒ 間接指定 (画像上の2点と点間距離から、解像度を間接的に求める)

X座標 Y座標

・第1点目

・第2点目

点間距離 (m)

解像度 (dpi)

2点指示

画像プレビュー

画像ファイル名 : test.jpg

画像サイズ : 2270×1751(dot) 1.5MB

画像解像度 : 96dpi(実際とは異なる場合があります)

更新日時 : 2009/06/12 11:54:46

開じる 次へ

③「2点指示」ボタンを押して下さい。次に開く画面で、地図上の実際の距離が判明している2点を指示し、その点間距離を入力することで、画像の解像度を間接的に割り出します。

②以下の方法で、画像解像度の指定方法を選択して下さい。
画像の縮尺と解像度が既知の場合は、「直接指定」を、縮尺と解像度のどちらか一方でも不明の場合は、「間接指定」を選択して下さい。

「2点指示」ボタンを押すと、下記画面が開きます。操作指示に従って距離が判っている2点をマウスで指示してください。完了したら OK ボタンを押してください。元画面に戻ります。

解像度の設定

1点目指示

2点目指示

上空ビュー

(マウスで移動可能)

2点指示設定

・1点目

X1= 129.371

Y1= 752.660

・2点目

X2= 434.794

Y2= 1060.751

Cancel

OK

操作指示 → 設定が完了しました。

※「ESC」キーで再設定

X= 434.794 Y= 1060.751

元画面に戻ったら、「点間距離」を入力してください。解像度が自動計算されます。なお表示された解像度は、編集可能です。必要に応じてラウンド処理して下さい。

④マウスで指示した2点の、点間距離を入力します。

	X座標	Y座標
・第1点目	129.000	754.183
・第2点目	433.000	1061.183

点間距離 (m)

解像度 (dpi)

2点指示

解像度は、点間距離を入力した段階で自動計算されます。
(値は編集可能です)

手順4・・・次に、「緯度経度の設定」画面が表示されます。緯度経度を設定したり、方位を変更する場合は「設定する」を選択してください(必須ではありません)。下記画面の①→③の順に設定後、「次へ」のボタンを押して下さい。

①緯度経度を設定したり、方位を変更する場合は「設定する」を選択してください。
緯度経度を設定すると「NetLink」機能が有効になります。ただし、設定しなくても通常の使用には支障ありません。

開いた画像の全体像を表示します。

Exif情報の表示欄

緯度経度の設定

■緯度経度の設定をおこなってください(ただし必須ではありません)

緯度経度の設定は必須ではありませんが、未設定の場合、NetLink機能など、一部の機能が無効となります。

緯度経度

☐ 設定(変更)しない

☒ 設定(変更)する

緯度経度の設定(変更)

北の方向と緯度経度の判明している画像上の任意の一点を指示し、その緯度経度の値を入力して下さい。

北の向き: (北方向角) 0.000000

図面参照

画像上の任意点(1点)の座標と、その緯度経度

【任意点の画面上の座標】

X=

Y=

【任意点の緯度経度】

緯度=N (°) 例 35° 40' 25"

経度=E (°) 35.673611(°)

画像プレビュー

画像ファイル名 : 左上st.jpg

画像サイズ : 2184×1567(dot) 1.27MB

画像解像度 : 96dpi(実際とは異なる場合があります)

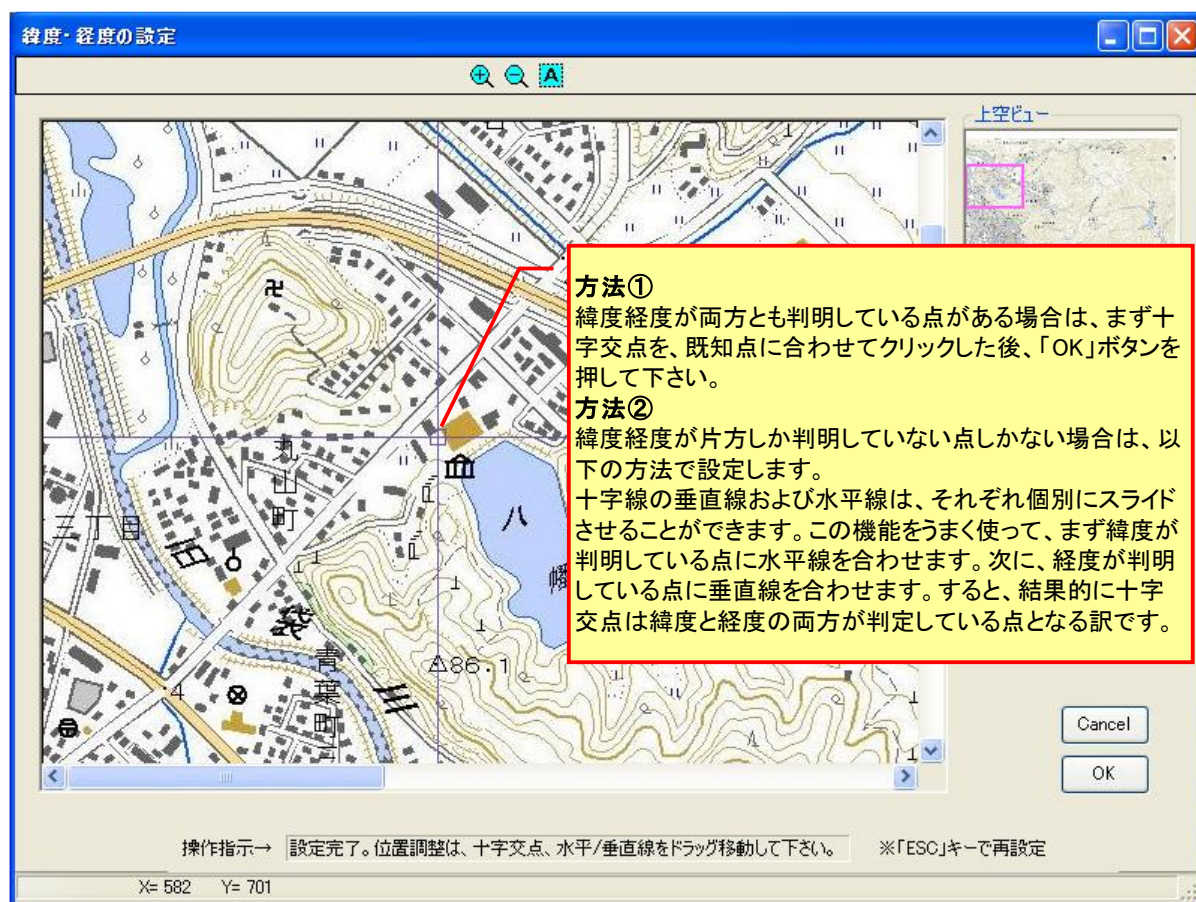
更新日時 : 2009/06/12 11:26:39

戻る 次へ

③次に緯度経度を設定して下さい。
「図面参照」ボタンを押し、緯度経度の判明している点をマウスで指示してください。

②方位を設定(変更)して下さい。北方向は、「図面上方」が規定設定されています。
磁北が図面に対して斜め方向になる場合は、「2点指示」を選択し、「図面参照」ボタンを押して、北の方向をマウスで指示してください。

緯度経度の設定において、「図面参照」ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。緯度経度の設定は下図の説明に従って行ってください。



○手順 5・・・次に、下記の「地図の登録」画面が表示されます。データ登録する場合はデータ名を入力して「登録実行」ボタンを押します。

①取得した地図を保存する場合は、「データ登録する」を選択します。(必須ではありません。登録は後でも可能)

取得した地図の全体像を表示します。

■画像のデータ登録を行って下さい(ただし、必須ではありません)。
取得した画像の登録をお勧めします。
登録すると、「開く/保存」画面のデータリストにデータが保存されます。本画像を今後も利用する場合は、登録をお勧めします。

取得地図の登録

☐ 今は登録しない
☒ データ登録する

登録名:

画像タイプ
☒ 地図 ☐ 航空写真

登録実行

取得地図のプレビュー



取得地図のスペック

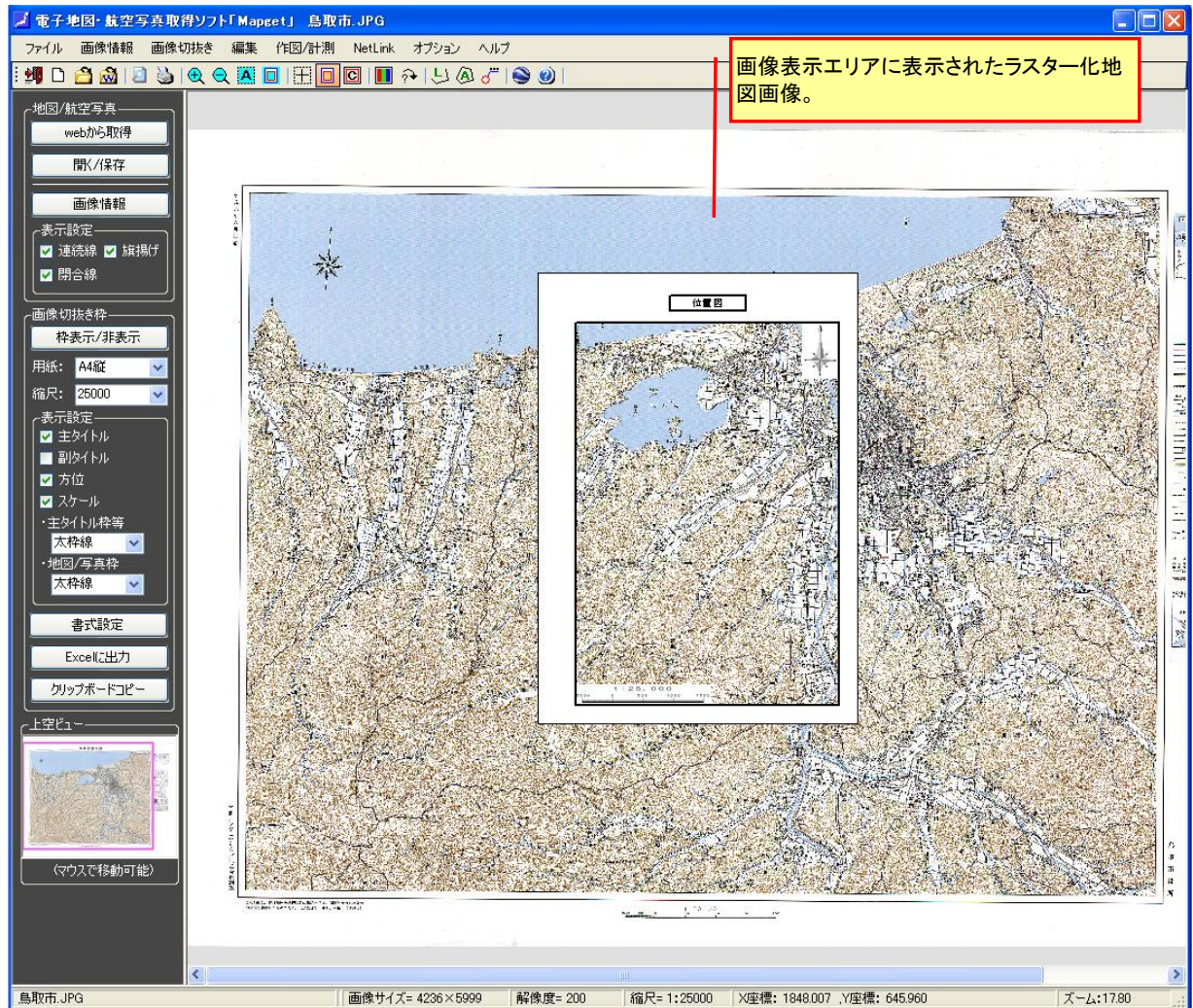
画像ファイル名	: capture.jpg	更新日時	: 2009/06/18 14:59:31
画像サイズ	: 縦297mm × 横210mm	北の方向角	: 0.000000
	4134 × 5846(dot) 6.22MB	原点の緯度	: N35.466539°
画像解像度	: 500dpi	原点の経度	: E134.170976°

開じる

②登録データ名を入力後、「登録実行」ボタンを押すと、取得した地図がMapgetのデータとして保存されます。保存データは「開く/保存」画面で開くことができます。

③画面を閉じ、取得地図をメイン画面の画像表示エリアに表示します。

○手順6・・・開いた画像ファイルが下図のように、メイン画面の画像表示エリアに表示されます。
図枠を表示するには、サイドメニューの「枠表示/非表示」ボタンを押します。もう一度押すと、非表示となります。



5-2-4. Mapget Pro データの読み込みと保存方法

5-1. および 5-2. の方法で取り込んだ画像(地図/航空写真)は、Mapget Pro 用データとして保存することができます(縮尺情報、解像度情報、緯度経度情報等も同時に保存されます)。

データを開く場合は、下図の①→②の順に操作します。またデータを保存する場合は、「名前をつけて保存」ボタンを押し、データ名称を入力して保存します。

下記画面では、データの並び替えや名称変更等が可能です。またデータフォルダを変更することにより、他の人が作成したデータを参照先に指定してデータを読み込んだり、共有化することも可能です。

Mapgetデータのデータフォルダ(参照先)を変更します。
(ネットワークを構築している場合は、共有フォルダをデータフォルダに設定しておく、作成したデータを共有することができます。)

・本ソフトの登録データを開くには、下記登録データリストから選択し、「登録データを開く」ボタン(赤色)を押してください。

既定フォルダに戻す(D)

データフォルダ: C:\Users\sasada\AppData\Roaming\MapgetPro\data 変更

【地図】 【航空写真】 CAD(DXF)図面

<データ名>	容量(MB)	<縮尺>	<解像度>	<画像サイズ>(mm)	<更新年月日>
米子	27.67	1:500	---	816×1508	2017/02/03 9:20:27
米子1	27.67	1:500	---	816×1508	2017/02/03 9:39:25
米子2	27.67	1:500	---	816×1508	2017/09/12 13:09:25
西道路	34.63	1:1000	---	855×1403	2017/02/28 14:23:38
郡家1	99.53	1:2500	---	628×808	2017/10/25 9:56:27

①読み込むデータを選択(ハイライト)。

データの並び替え用のボタン

編集

データ削除 データ名変更

保存

上書き保存 名前をつけて保存

登録データを開く 開ける

選択データの名称を変更します。

選択データを削除します。

現在開いている画像を、新規に名前をつけて保存します。最下行に登録されます。

現在開いている画像を、選択データに上書きします。

②「登録データを開く」ボタンを押して開く。

5-2-5. 地図/航空写真に旗揚げ/文字を記入する

Mapget Pro では、画像上に旗揚げ(マーキング)や文字列等を記入することが出来ます。

1) 旗揚げ(マーキング)を記入する

記入方法には、①ツールバーの「旗揚げ(マーキング)」ボタンを押し、表示位置を指定する方法と、②画像上の記入したい位置でのショートカットメニューにより記入する方法があります。

記入した旗揚げは、マウスで掴んで移動させることが可能ですので、位置の微調整を簡単に行うことが出来ます。



①ツールバーによる記入



②ショートカットメニューによる記入

注) 旗揚げ(マーキング)の表示数は、**最大 50 個**までとなります。

2) 旗揚げ(マーキング)の設定

旗揚げ(マーキング)を追加すると、まず下記の「設定画面」が表示されます。ここで旗揚げの詳細設定を行います。最後に「OK」ボタンを押すと、旗揚げが表示されます。

①上段部の文字を設定します。選択肢以外の文字入力も可能です。

②下段部の文字を設定します。これには選択肢はありません。直接入力してください。

⑤必要に応じて、各要素の表示/非表示の設定をおこないます。

③マーク(円)を設定します。

④旗揚げ線を設定します。



旗揚げ(マーキング)の記入例

3) 文字を記入する

前出の旗揚げ設定画面内の「表示項目の設定」を変えることで、画像上に文字列を記入することも可能です。

文字列のみを記入するには、「表示項目の設定」内の「マーク」および「旗揚げ線」を非表示にします。以下は、画像上に「集合場所」という文字列を記入した例です。



文字列の記入列

5-2-6. 距離計測／面積計測をおこなう

Mapget Pro では、画像上に連続線、閉合線を描画することが出来ます。

1) 連続線を作図する

作図方法には、①ツールバーの「連続線」ボタンを押す方法と、②メインメニューの「作図/計測」-「連続線(距離計測)」の2つの方法があります。

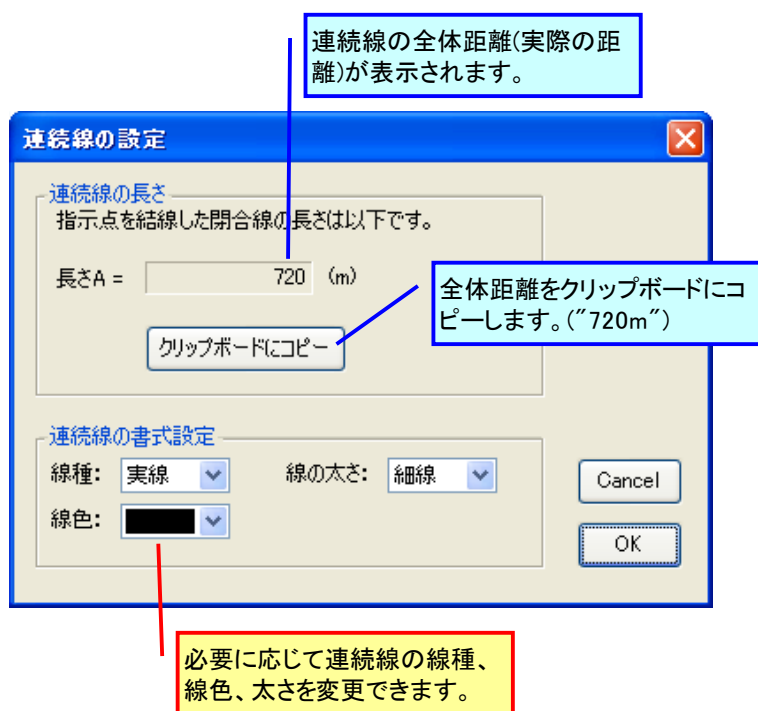


①ツールバーによる記入



②連続線の作図例(点指示)

連続線は、変化点をマウスで指示して作図します。「ESC」キーを押す毎に前回指示点に戻りますので、指示のやり直しが簡単におこなえます。マウスの右クリックで終了し、連続線の設定画面が表示されます。なお、計測距離は画像の縮尺や解像度の精度等にも左右されるため、精度を補償するものではありませんので予めご了承下さい。また、連続線の表示数は、**最大 50 組**までとなります。

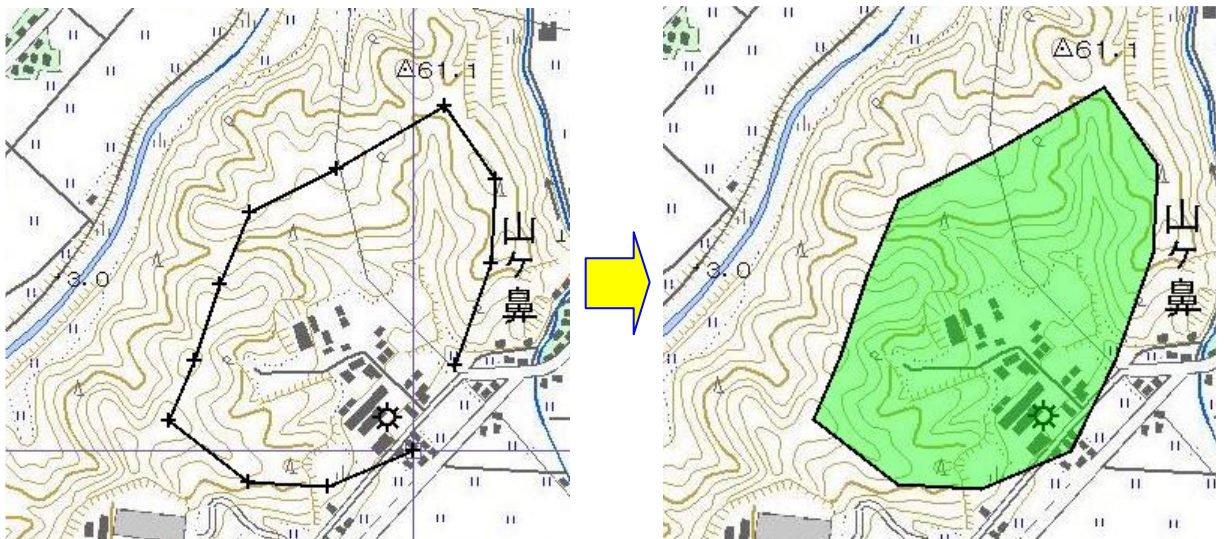


2) 閉合線を記入する

記入方法には、①ツールバーの「閉合線」ボタンを押す方法と、②メインメニューの「作図/計測」-「閉合線(面積計測)」により作図する方法があります。



① ツールバーによる記入



② 閉合線の作図例

閉合線は、変化点をマウスで指示して作図します。「ESC」キーを押す毎に前回指示点に戻りますので、指示のやり直しが簡単におこなえます。マウスの右クリックで終了し、指示点を閉合します(最終指示点と最初の点を結んで閉合します)。

なお、閉合線の表示数は、**最大 50 組**までとなります。

図形を閉合すると、閉合線の設定画面(下図)が表示されます。なお、計測面積は画像の縮尺や解像度の精度等にも左右されるため、精度を補償するものではありませんので予めご了承下さい。

閉合線の面積が表示されます。

面積をクリップボードにコピーします。("22.3854ha")

閉合線の設定

閉合面積
指示点を結線した閉合線の面積は以下です。

面積A = 22.3854 ha

クリップボードにコピー

単位
☐ m²
☒ ha
☐ km²

閉合線
線種: 実線 線の太さ: 細線
線色: 黒

塗り潰し
色: 緑 ☒ 半透明にする
透明度: 50 %

Cancel
OK

必要に応じて閉合線の線種、線色、太さ、塗り潰し設定を変更できます。

5-2-7. 地形断面図の作成

1) 概要

Mapget Pro では、背景地図が「地理院地図」もしくは「航空写真」の場合に、地図上の任意点を結んだ経路の標高を取得して、地形断面図を作成することが出来ます。

断面図の仕様は下表のとおりです。

地形断面図の仕様

作図可能な最大経路長(L)	20 km
標高モデル	基盤地図情報数値標高モデル DEM5A・・・都市域等(5m メッシュ:標高) DEM5B・・・都市域等(5m メッシュ:数値地形) DEM5C・・・島しょ部等(5m メッシュ:数値地形) DEM10A・・・火山部(10m メッシュ:火山標高) DEM10B・・・全国(10m メッシュ:標高)
標高精度	DEM5A・・・0.3m 以内 DEM5B・・・0.7m 以内 DEM5C・・・1.4m 以内 DEM10A・・・2.5m 以内 DEM10B・・・5m 以内
標高の取得間隔 (選択可能な経路長)	3m ($L \leq 2\text{km}$) 5m ($L \leq 4\text{km}$) 10m ($L \leq 8\text{km}$) 25m ($L \leq 20\text{km}$)
取得標高データの出力形式	Excel ファイル
断面図出力形式	オートシェイプ描画(Excel) DXF ファイル

標高モデル/精度の出典

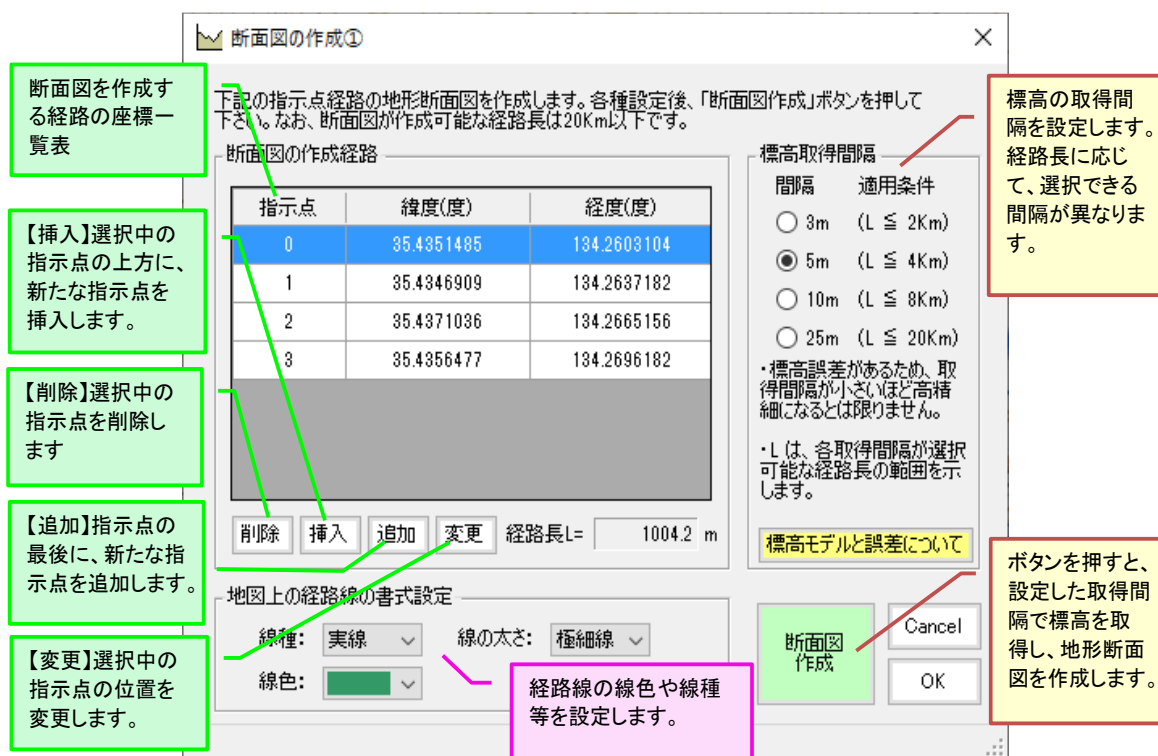
https://fgd.gsi.go.jp/download/ref_dem.html

2) 経路の設定

断面図を作成するには、まずツールバーの「断面図の作成」を実行します。そして、下記右図のように、作成したい経路を2点以上マウス指示し、最後に右クリックにより指示を完了します。



経路の指示が完了すると、下記の「断面図の作成」画面が表示され、マウス指示した経路の指示点とその座標が一覧表示されます。



3) 地形断面図の作成

「断面図作成」ボタンを押すと、設定した経路に沿って地盤の標高を取得間隔で取得し、下記のように断面図を作成します。

なお取得した標高データは、距離と共に Excel ファイルに保存することができます。



4) 出力時の設定

断面図の出力は、Excel 保存(ワークシート上にオートシェイプ描画)と、DXF ファイル保存の双方に対応しています。

出力は、縮尺を設定してからおこなってください。縦横が異なる縮尺も可能です。なお断面図の線色は黒(白)のみ、線種は実線です。変更したい場合は、出力後に編集してください。

断面図を保存する際の縮尺を設定します。
縦横異縮尺での設定も可能です。

断面図出力設定

縮尺(横): H=1/	1000	<input checked="" type="checkbox"/> 縦横同縮尺	レイヤ名	mapgetLine
縮尺(縦): H=1/	1000	断面図の幅: 100.4cm(図上)		

現在の縮尺で出力した場合の断面図の概略幅です。Excel保存時にはこの幅がおまり大きくならないように縮尺を調整して下さい。

DXF保存時の地盤線のレイヤ名を設定します。

5-2-8. 切抜き枠の書式設定

切抜き枠はA4およびA3サイズとなります(ユーザーサイドで用意したラスター画像等の場合はA2サイズまで可)。切抜き枠には、方位マーク、スケール、タイトル(主、副)の表示が可能であり、それらの設定はすべて書式設定画面(下図)にて変更可能です。

ページ余白の設定は、用紙毎に変更可能です。

以下は、切り取り図枠の書式設定です。用紙毎に異なる設定が可能です。

A4縦 | A4横 | A3縦 | A3横

ページ余白

上: HU= 15 (mm) 左: WL= 25 (mm)
下: HD= 12 (mm) 右: WR= 12 (mm)

タイトルの書式

<フォント> <文字サイズ>
・主タイトル: MSゴシック 20P
・副タイトル: MSゴシック 12P

配置

B1= 50 (mm) H1= 10 (mm)
B2= 62 (mm) H2= 8 (mm)
H3= 6 (mm)
H4= 8 (mm)

タイトル文字

主タイトル: 位置図 枠/下線 太枠線
副タイトル:

表示設定

☒ 主タイトル ☒ 方位... ☐ 副タイトル ☒ スケール...
<表示位置> 右上 左下
<地図/写真外枠> 太枠線

画像幅= 173mm 画像高= 238mm タイトル全高= 32mm
コメント:

設定に誤りがある場合は、コメント欄に表示されます。コメントに従って修正して下さい。

設定を規定値に戻す
現在の設定を規定登録

Cancel OK

副タイトルは、直接入力します。

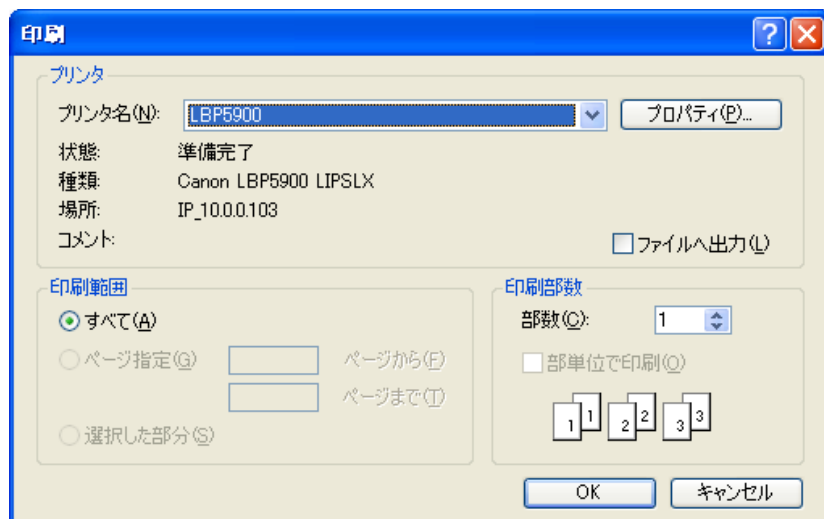
主タイトルは、選択肢もしくは直接入力により設定出来ます。

設定を変更しても、「規定値に戻す」ボタンを押せば、元に戻すことが出来ます。また設定を、次回以降も使用したい場合は、「規定登録」ボタンを押し、規定値登録して下さい。

5-2-9. 切抜き枠を印刷する

切抜き枠(画像)の印刷方法についてご説明いたします。

下図は、印刷プレビューボタンを押した後に表示されるプレビュー画面です。左上の「印刷」ボタンを押して印刷を開始します。

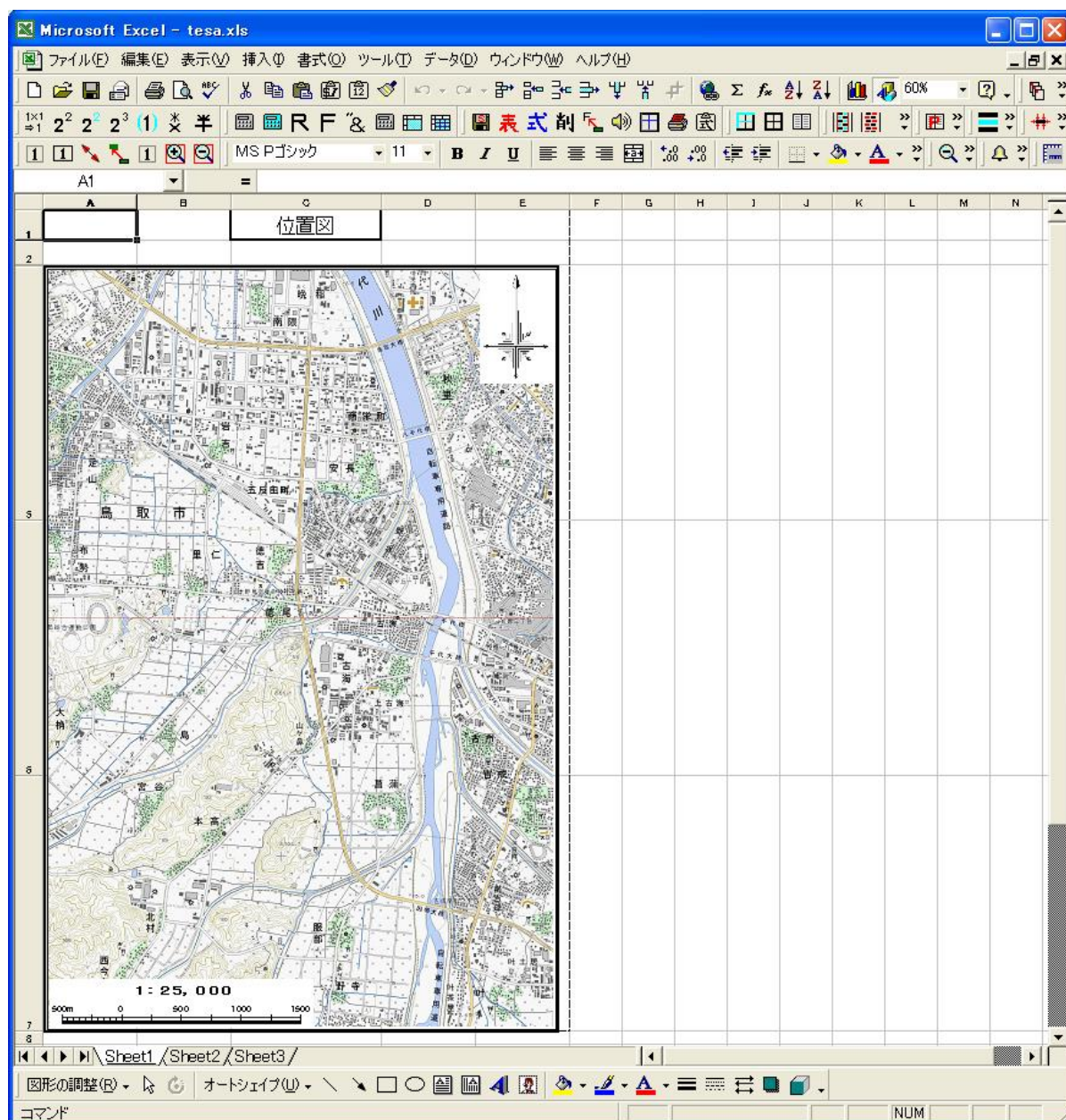


5-2-10. 切抜き枠を Excel 保存する

作成した切抜き枠を Excel に保存する場合は、サイドメニュー内の「Excel に出力」ボタンを押して保存します。ファイル名を付けて保存して下さい。

保存が完了すると自動的に Excel が起動し、保存したファイルが開きます。

注) Excel 上でオブジェクトを追加するなど、様々な編集をおこなう必要がある場合は、クリップボードコピーではなく、この「Excel 出力」機能を使用することを推奨します。



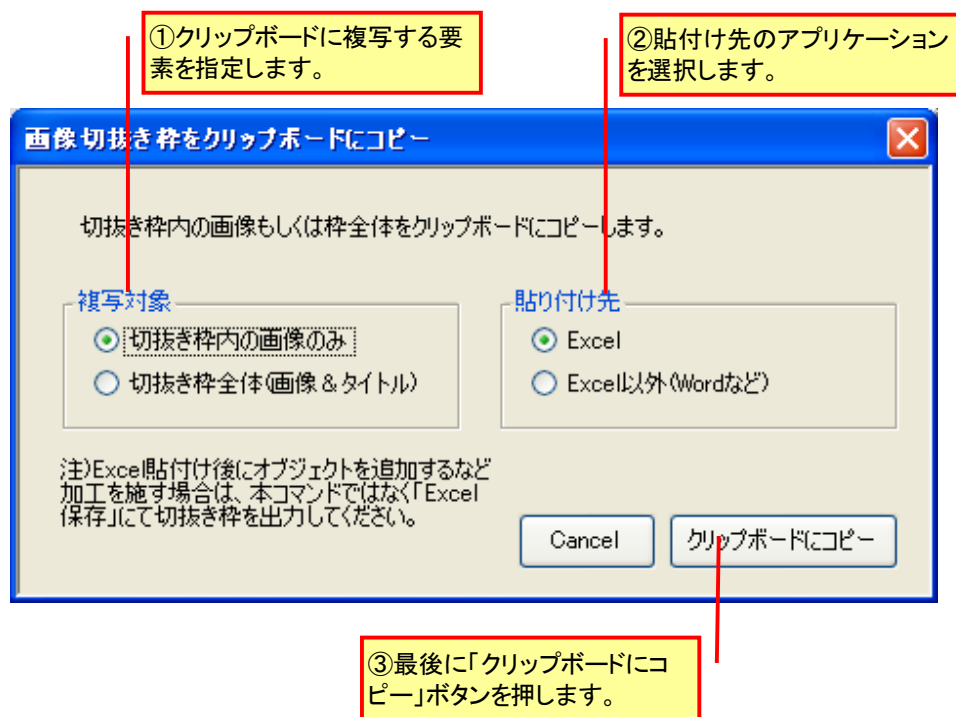
切取り枠の Excel 出力の例

5-2-1 1. 切抜き枠を他のアプリケーションに貼付ける(クリップボードコピー)

作成した切抜き枠を、他のアプリケーションに貼り付けたい場合は、サイドメニュー内の「クリップボードコピー」ボタンを押します。下図の設定画面が表示されますので、複写対象と貼付け先のアプリケーションを選択して下さい。

設定完了後、「クリップボードコピー」ボタンを押すと、切取り枠がクリップボードにコピーされます。

注) Excel 上でオブジェクトを追加するなど、様々な編集をおこなう必要がある場合は、クリップボードコピーではなく、「Excel 出力」機能を使用することを推奨します。(詳細は 3-4. 参照のこと)



5-3. 応用操作

ここでは、Mapget Pro のより高度な機能についてご説明いたします。

5-3-1. 画像情報の変更

画像の縮尺、解像度、緯度経度情報などの「画像情報」は、基本的に取得時に設定しますが、後で変更する場合は、サイドメニュー内の「画像情報」ボタンを押して設定を変更することが出来ます。

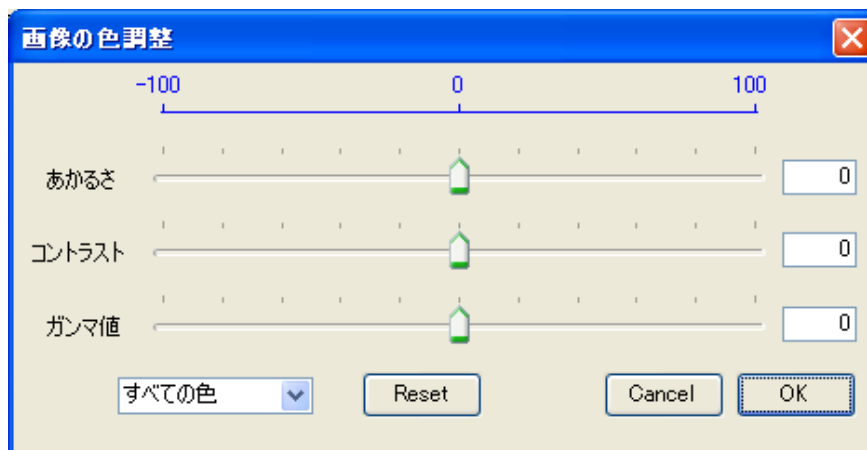
変更画面は設定時と同じですので説明は割愛します。

なお、Web から取得した電子地図/航空写真については、縮尺の変更はできません。変更の必要性がある場合は、再度、Web にアクセスして縮尺を替えて取得してください。

5-3-2. 画像の画質調整

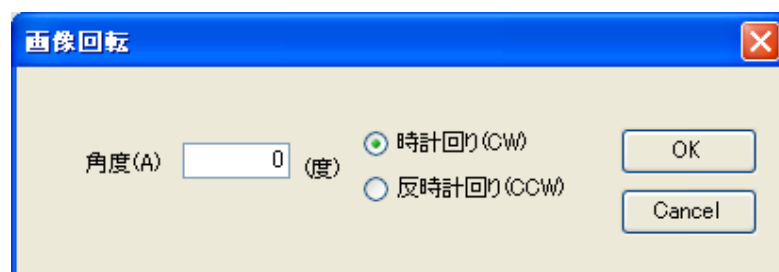
画像の画質を調整します。

なお、Web から取得した電子地図/航空写真については、提供元が画像の加工・編集を禁止している場合がありますので、画像提供元の利用規約をよくお読みいただいたうえでご使用下さい。



5-3-3. 画像の回転

画像を任意の角度で回転します。回転角度と回転方向を指定し、OK ボタンを押して下さい。
















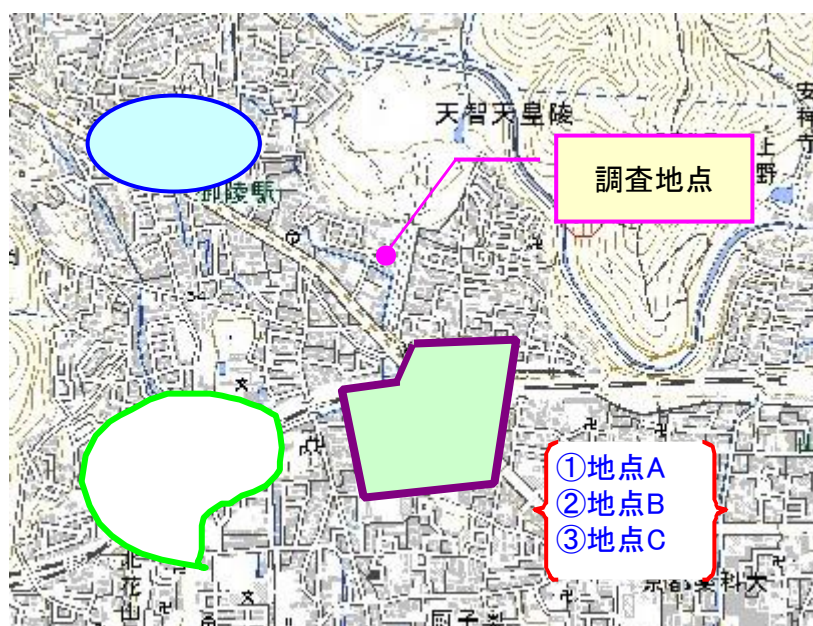
ただし、サイズの大きな画像など、場合によっては回転できない(エラーが出る)画像もありますので、予めご了承ください。

5-3-4. オートシェイプ(図形)の描画機能

1) オートシェイプの描画

Mapget Pro では、取得した地図画像等の上に、テキストやオートシェイプを描画することが可能です。描画可能な図形は、基本的に Excel のオートシェイプと共通ですが、一部描画出来ないものもあります。Mapget Pro で対応しているテキストやオートシェイプは、下記の 13 種類です。さらに ver5.02 以降は、寸法描画機能等を追加いたしました。

-  大括弧(両括弧)
-  中括弧(両括弧)
-  大括弧(片括弧)
-  直線
-  矢印(片矢、両矢)
-  四角形
-  円、楕円
-  吹き出し
-  連続線
-  フリーフォーム(閉合線)
-  フリーハンド
-  テキストボックス(横書き)
-  テキストボックス(縦書き)
































オートシェイプ(図形)の地図上への描画例

2) オートシェイプ関連のコマンド

テキスト・オートシェイプ関連のコマンドアイコンの機能は、下表の通りとなります。




画像上へのオートシェイプ描画機能一覧表

アイコン		機能説明
オートシェイプの書式設定		「左寄せ」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を左寄せにします。
		「中央揃え」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を中央に揃えます。
		「右寄せ」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を右寄せにします。
		「上詰め」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を、欄の上方に詰めます。
		「中央揃え」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を、欄の上下方向の中央に揃えます。
		「下詰め」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を、欄の下方に詰めます。
		「フォント設定」欄。オートシェイプやテキストボックス内の文字フォントを設定します。
		「文字サイズ設定」欄。オートシェイプやテキストボックス内の文字サイズを設定します。
		「アンダーライン(下線)設定」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字にアンダーライン(下線)を設定します。
		「太字(強調文字)設定」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を太字(強調文字)に設定します。
		オートシェイプの背景色を設定します。
		オートシェイプの枠線色を設定します。
		オートシェイプ内のテキスト文字の色設定をおこないます。
		オートシェイプの枠線の太さを設定します。
		オートシェイプの枠線の線種を設定します。
		オートシェイプが重なった場合の表示順序を変更します。選択したオートシェイプを最前面(一番前)に移動します。
		オートシェイプが重なった場合の表示順序を変更します。選択したオートシェイプを最背面(一番後ろ)に移動します。
オートシェイプ描画		大括弧を描画します(両括弧)。テキスト追加可能。
		中括弧を描画します(両括弧)。テキスト追加可能。
		大括弧を描画します(片括弧)。テキスト追加可能。
		単線を描画します。端部の形状変更可能。
		矢印を描画します。端部の形状変更可能。
		四角形を描画します。テキスト追加可能。
		円、楕円を描画します。テキスト追加可能。
		吹き出しを描画します。テキスト追加可能。
		連続線を描画します(折れ線)。
		フリーフォームにて多角形を描画します。閉合線となります。
		マウスの軌跡どおりに自由な連続線を描画します。
		テキストボックスを描画します。テキストは横書き。
		テキストボックスを描画します。テキストは縦書き。

5-3-5. 寸法描画機能等

1) コマンド一覧

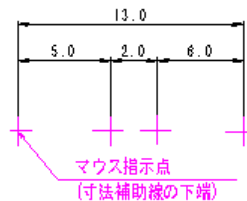
寸法描画機能等のコマンド(ver2.06以降)

	寸法描画コマンド。水平、垂直、斜め寸法を描画。寸法のほかに文字列も描画可能。
	引き出し線描画コマンド。文字列を引き出し線と共に描画。
	文字列描画コマンド(傾斜文字対応)。テキストボックスは水平/垂直のみですが、本コマンドはテキストの斜め表示が可能です。

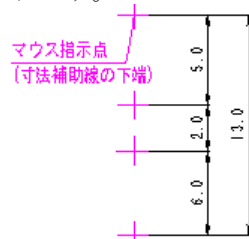
2) 寸法描画機能

「災害写真作成支援機能」には、下記の3種類の寸法描画機能があります。なお通常は距離寸法を描画しますが、描画設定を変更することで寸法部に任意の「文字列」を表示することも可能です。

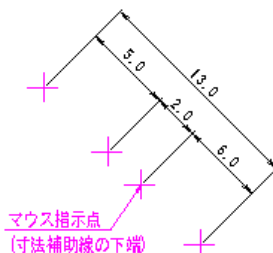
- ①水平寸法・・・寸法補助線が水平となるような寸法。水平方向の寸法描画に用いられます。



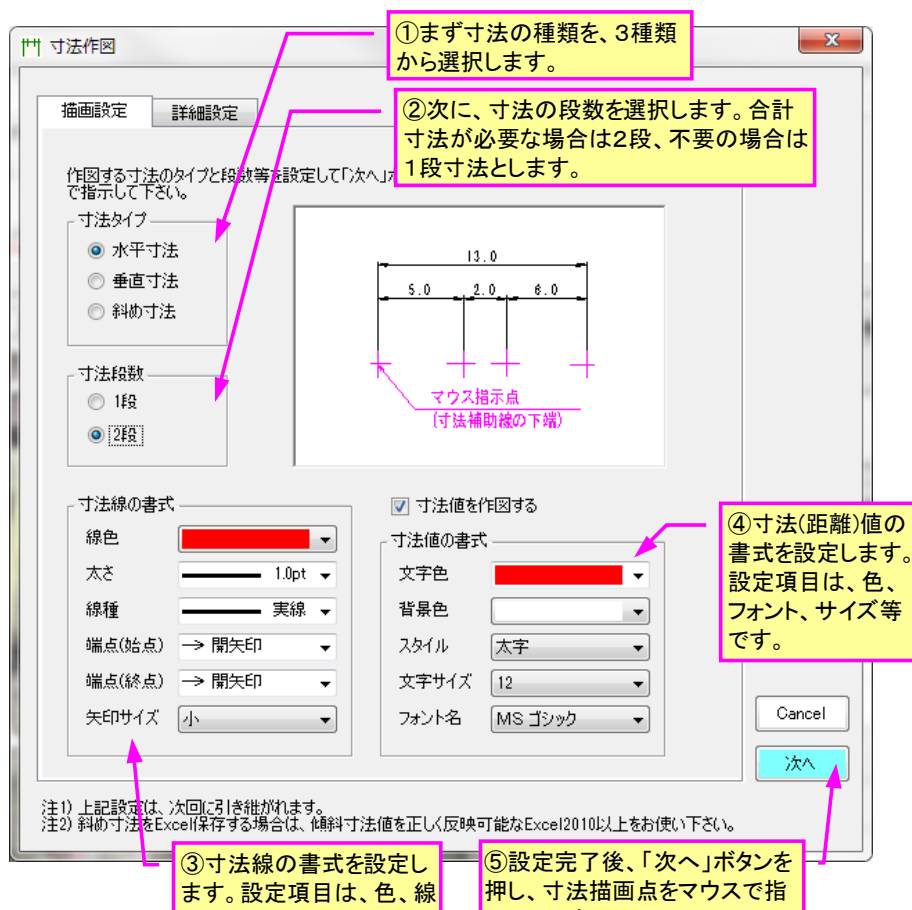
- ②垂直寸法・・・寸法補助線が垂直となるような寸法。縦方向の寸法描画に用いられます。



- ③距離寸法・・・寸法補助線が斜めとなるような寸法。描画角度は、マウスの最初の2点指示の角度で描画されます。



■ 寸法描画方法



■寸法欄に「距離」を表示する場合(規定設定)

・作図設定方法

■寸法に距離を表示する場合

寸法値の入作図

寸法値(区間距離)を入力し、最後に「作図開始」をクリックします。

■寸法値(区間距離)

測点(i)	点間距離(m)	千鳥配置
0	--	---
1	8.00	<input type="checkbox"/>
2	3.00	<input type="checkbox"/>
3	5.00	<input type="checkbox"/>

⑨「距離」の場合は寸法(数値)を入力します。寸法を互い違いに表示したい場合は「千鳥配置」にチェックします。

⑩寸法欄に入力する情報を、「距離」と「文字列」から選択します。(この場合は「距離」を選択)

⑪距離の小数以下に表示する桁数を設定します。

⑫寸法距離の前後に付加する文字列を設定します。付加しない場合はチェックを外して下さい。

寸法に入力する情報

☒ 距離 ☐ 任意文字

寸法の表示桁数

小数第 2 位まで

■付加文字(第1段寸法用)

☐ 寸法の頭に文字を付ける
文字... 復員WL=

☒ 寸法の末尾に文字を付ける
文字... m

■付加文字(第2段寸法用)

☒ 寸法の頭に文字を付ける
文字... 復旧延長 L=

☒ 寸法の末尾に文字を付ける
文字... m

2段目: 合計 = 16.00m

(注)寸法は原則寸法線の上方に表示します。下方に表示したい場合は、上表の「千鳥配置」欄をチェックして下さい。

Cancel 戻る 作図開始

⑫作図開始で寸法を描画します。

■ 寸法欄に「文字列」を表示する場合

- ・ 作図設定方法

■ 寸法に文字を表示する場合

寸法値の作図

寸法値(区間距離)を入力し、最後に「Shift」キー+Enter

■ 寸法値(区間距離)

測点(i)	点間距離(m)	千鳥配置
0	---	---
1	5.00m	<input type="checkbox"/>
2	(控除区間①)	<input type="checkbox"/>
3	6.00m	<input type="checkbox"/>
4	(控除区間②)	<input type="checkbox"/>

⑧ 寸法欄に入力する情報を、「距離」と「文字列」から選択します。(この場合は「文字列」を選択)

⑨ 「寸法」に表示する文字列を入力します。文字の途中で改行し、折り返し表示する場合は「Shift」キー+Enterして下さい。また互い違いに表示する場合は「千鳥配置」にチェック。

寸法に入力する情報

☐ 距離 ☒ 任意文字

千鳥配置 ☐

寸法の表示桁数

小数第 2 位まで

■ 付加文字(第1段寸法用)

☐ 寸法の頭に文字を付ける
文字... L=

☒ 寸法の末尾に文字を付ける
文字... m

■ 付加文字(第2段寸法用)

☐ 寸法の頭に文字を付ける
文字... 復旧延長 L=

☐ 寸法の末尾に文字を付ける

⑩ 2段寸法を作図する場合は、2段目に表示する文字列も入力します。

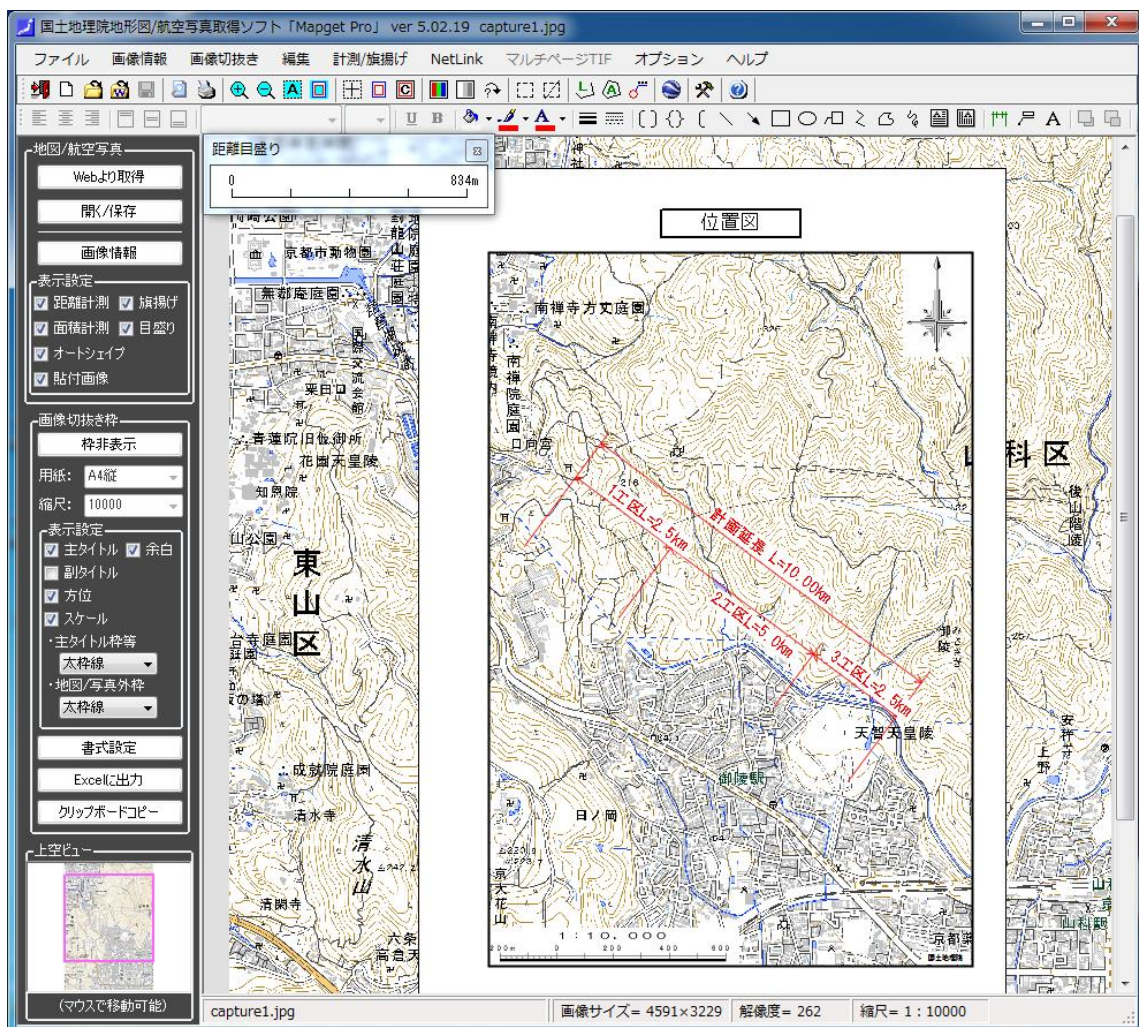
■ 2段目: 計画延長 W=5.00m, L=11.00m

注) 寸法は原則寸法線の上方に表示します。
下方に表示したい場合は、上表の「千鳥配置」欄をチェックして下さい。

Cancel 作図開始

⑪ 作図開始で寸法を描画します。

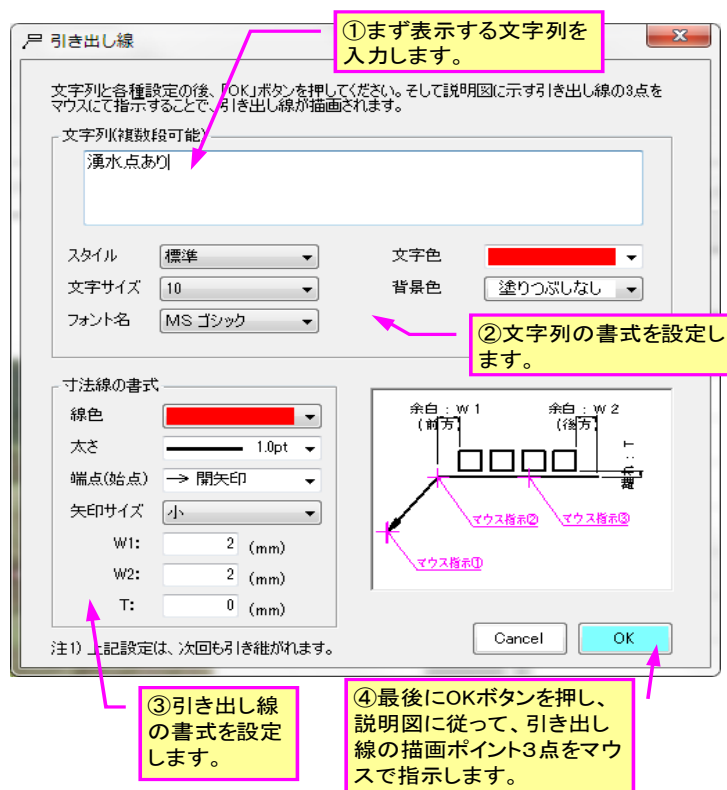
- ・ 寸法描画例



3) 引き出し線描画機能について

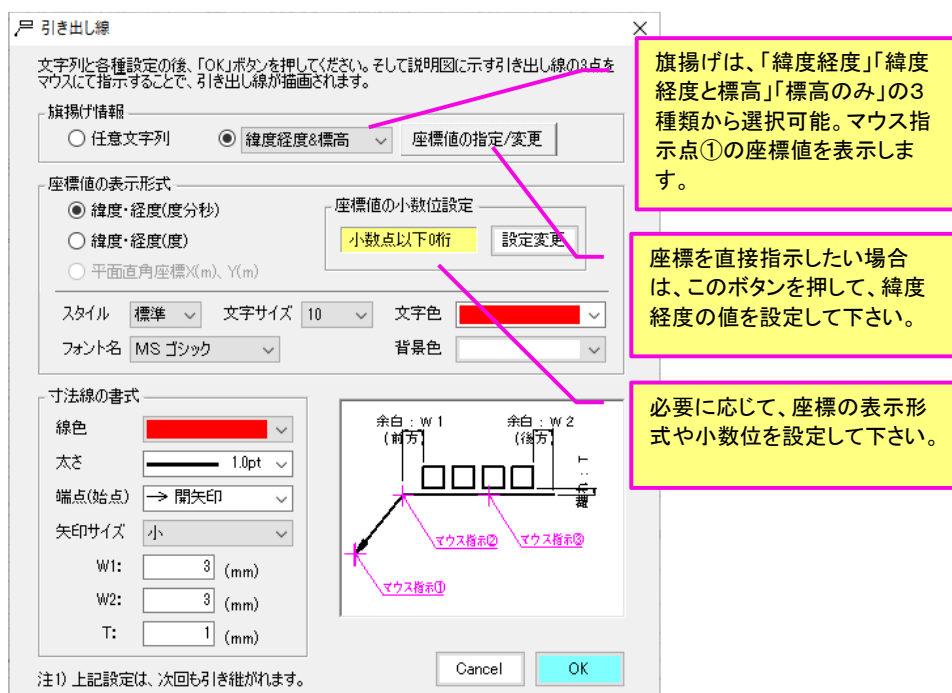
a) 任意文字列の場合

任意文字列の引き出し線を、地図上に描画します。表示文字列を入力後、文字と引き出し線の書式を設定し、Ok ボタンを押します。続いて引き出し線の先端と途中位置の計3カ所をマウスで指示すると、その位置に引き出し線が描画されます。



b) 緯度・経度等の場合

地図上の任意点の緯度経度や標高等を、引き出し表示することも可能です。方法は、「旗揚げ情報」の選択を「緯度経度」に変更し、「OK」ボタンを押してマウス指示だけです。マウス指示点①(矢印先端)の緯度経度座標が、下図のように旗揚げされます。



なお、緯度経度等の座標を直接指示したい場合は、「座標値の指定/変更」ボタンを押し、座標を直接指示して下さい。

座標を直接指示したい場合は、ここに座標値を入力して下さい。
「図面参照」でマウス指示も可能。



緯度経度の引き出し線描画例。
引き出し線を移動すると、それに連れて、マウス指示点①(矢印先端)の座標値が変わります。

4) 文字入力(傾斜文字対応)について

写真上に文字列を描画します。文字列表示はオートシェイプのテキストボックス等でも描画可能ですが、本コマンドは**傾斜文字に対応**している点が異なります。

なおアルバムをExcel保存する場合、**傾斜文字が正しく変換されるのはExcel2010以降のバージョン**となります。古いバージョンでは文字の傾斜が正しく変換されませんのでご注意ください。

5-3-6. Net Link 機能

Mapget Pro には、緯度経度情報が設定された画像については、インターネット上の地図/衛星写真閲覧サイトと連携して特定エリアを表示できる「NetLink」機能があります。

Mapget Pro で連携表示可能なサイトは、以下の4サイトです。

- Google Earth (衛星写真) →ここ (<http://earth.google.co.jp/>) から無料ソフト(Google Earth 5.0)がダウンロードできます。
- Google Map (地図)
- Yahoo 航空写真 (航空写真)
- Yahoo 地図 (地図)

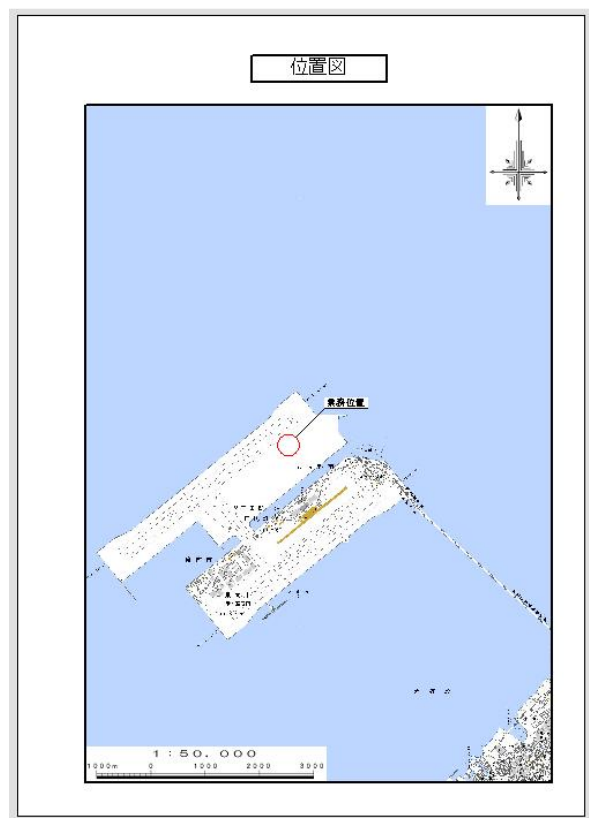
使用方法是、下図の①→③の手順で操作します。

The screenshot shows the 'NetLink' dialog box with the following elements:

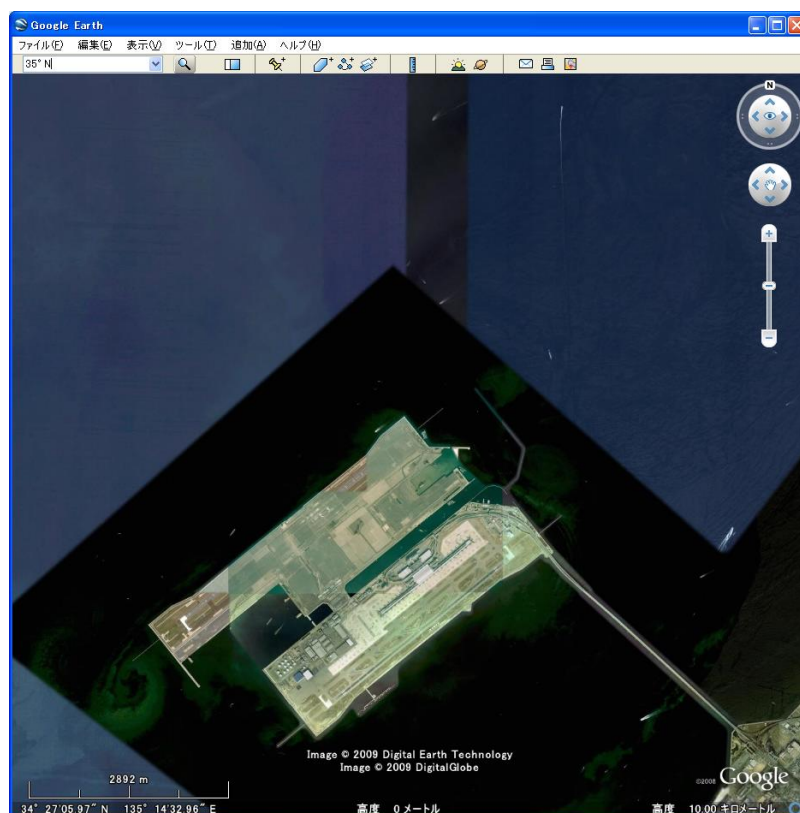
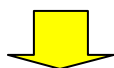
- 検索サイトと表示地点を指定してください** (Please specify the search site and display location)
- 検索サイト** (Search Site): A group box containing four radio buttons:
 - ☒ Google Earth (別ソフトが必要です→ <http://earth.google.co.jp/index.html>)
 - ☐ Google Map
 - ☐ Yahoo 航空写真
 - ☐ Yahoo 地図
- 表示位置** (Display Location): A group box containing two radio buttons:
 - ☒ 画像の中心位置を表示 (Display center position of image)
 - ☐ 表示位置を指定... (Specify display location...): This option has input fields for latitude (緯度=) and longitude (経度=), followed by degree symbols (°).
- 参照** (Reference) button: Located below the '表示位置' group box.
- 閉じる** (Close) button: Located at the bottom right.
- 表示開始** (Start Display) button: Located at the bottom right, highlighted in red.

Three numbered instructions are overlaid on the dialog box with red lines pointing to specific controls:

- ①表示したい連携サイトを選択して下さい。
ただし、GoogleEarthは事前に表示ソフトのインストールが必要です。(フリーソフト)
- ②参照ボタンを押して、画像上の表示したい地点を指定するか、表示したい緯度経度を直接入力してください。
- ③「表示開始」ボタンを押すと、自動的にInternet Explorerを起動して連携サイトを開きます。



Mapget



Google Earth

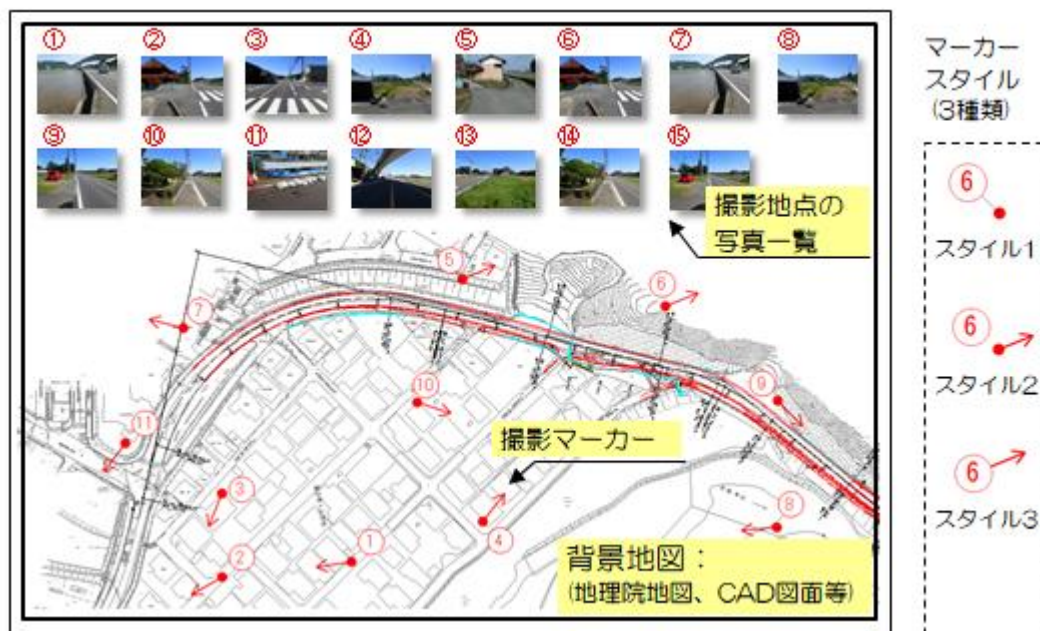
NetLink 機能を使用して、関西国際空港周辺を Google Earth で閲覧した例

5-3-7. 撮影位置図の自動作成機能

1) 概要

Ver. 6 より、写真の撮影位置情報(GPS 情報)を読み込んで、CAD (DXF) 図や地理院地図上に撮影位置マーカー(①)を自動作成し、「撮影位置図」を作成することができるようになりました。

■ 撮影位置図の作成例(背景地図・・・CAD 図)



■ 撮影位置図の作成例(背景地図・・・国土地理院地図)



2) 使用方法①(背景地図が「web より地形図(航空写真)を取得」の場合)

- ① 下記画面において、背景地図に「web より地形図を取得」もしくは「web より航空写真を取得」を選択し、かつ「地図上に撮影位置を表示する」にチェックを入れ、「次へ」ボタンを押します。

この度は、国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」をご利用頂き、ありがとうございます。

MapgetProは、国土地理院がweb提供する「地理院地図」等を指定縮尺にて取得し、地図上に情報付加して印刷/Excel保存するソフトです(国土地理院背景図等データ利用許諾番号:2012-017号)

背景地図には、上記の外にCAD(DXF)図やラスター地図も利用可能です。さらにver6.0より、GPS付写真を読み込み、背景地図上に撮影マーカース等を配置する「撮影位置図作成機能」が追加されました。

それでは下欄より、ベースとなる背景地図を選択後、「次へ」ボタンを押して作成を開始して下さい。

背景地図の選択

☒ webより地形図を取得(注1)..... 淡色地図

☐ webより航空写真を取得(注2)

☐ CAD図面(DXF)を読み込む

☐ ラスター地図(jpe.tif bmp)を読み込む

☐ Mapget Proデータ(.mgd)を読み込む

☒ 写真のGPS情報を読み込んで、地図上に撮影位置①を表示する

撮影位置図作成機能について

ライセンス管理

UserName: sasa

Password: 認証済

License Type: 5ライセンス版

問合せ先 → <http://www.civilworks.jp/>

開じる 次へ

注1)国土地理院の「電子国土基本図」取得できるのは「標準地図」

注2)国土地理院の「電子国土基本図」画像情報(1974～1990)

背景地図上に、写真の撮影位置マーカースを作成して「撮影位置図」を作成したい場合は、このチェックをオンにします。(本機能は「デラックス版」のみで使用可能です)

- ② 次に下記画面が表示されますので、撮影位置図を作成したい写真が保存されているフォルダを指定し、また撮影位置マーカースのスタイルを設定します。写真はGPS位置情報が記録されている必要があります。また撮影マーカースのスタイル等は、撮影位置図の作成後でも変更可能です。

写真フォルダおよび撮影位置マーカースの設定

背景地図の取得/読込の前に、まず撮影位置を表示する写真を読み込みます。

撮影位置図を作成する写真が保存されているフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押して下さい。なお、弊社のフォトマスターII Proのアルバムデータフォルダを指定すると、タイトル欄の文字や写真番号に基づいて撮影位置図を作成することができます。

■写真フォルダの指定

読込対象... ☒ GPS情報付き写真のみ

☐ フォルダ内の全写真

G:\郡家町写真(GPS)

参照

■撮影位置マーカーススタイル(撮影地点に表示するマーカーススタイルを選択)

スタイル1 ☐ スタイル2 ☒ スタイル3 ☐

スタイル変更

文字高: 6.0(mm)

丸囲径: 8.0(mm)

撮影位置図作成例

凡例

● ...撮影地点

→ ...撮影方向

⑤ ...写真番号(丸囲可能)
(スタイル3では丸囲中心が撮影地点となります)

戻る 次へ

「参照」ボタンを押し、撮影位置図を作成したい写真が保存されているフォルダを指定します。

背景地図上に表示する撮影マーカースのスタイルを3種類から選択します。(色や線種等を変更したい場合は、「スタイル変更」ボタンを押して設定して下さい)

- ③ 次は、web から背景地図を取得します。国土地理院の背景地図利用に関する利用規約に「同意」していただき「次へ」ボタンを押して下さい。

Webから地形図を取得

「Mapet Pro」は、地理院地図(ウェブ地図)にアクセスして地図/オルソ画像を取得します。取得した画像は、下記の利用規約を遵守してご利用下さい。下記利用規約をすべてお読み頂き、規約を遵守して利用する場合のみ、「同意する」にチェックをしてから、「次へ」ボタンを押して下さい。

国土地理院コンテンツ利用時の申請の必要性について

地理院地図を、報告書等のページ総数の10～30%程度の割合以下で使用する場合は、コンテンツを自由に利用でき、利用申請等は一切不要です。詳細は「[測量成果の複製・使用申請フロー](#)」をご覧ください。

利用規約

国土地理院コンテンツ利用規約

当ウェブサイトのコンテンツの利用について

当ウェブサイトで公開している情報(以下「コンテンツ」といいます。)(は、どなたでも以下の1)～7)に従って、複製、公衆送信、翻訳・変形等の翻案等、自由に利用できます。商用利用も可能です。また、数値データ、簡単な表・グラフ等は著作権の対象ではありませんので、これらについては本利用規則の適用はなく、自由に利用できます。

コンテンツ利用に当たっては、本利用規則に同意したものとみなします。

1) 出典の記載について

ア コンテンツを利用する際は出典を記載してください。出典の記載方法は以下のとおりです。

イ コンテンツを編集・加工等して利用する場合は、上記出典とは別に、編集・加工等を行ったことを記載してください。なお、編集・加工した情報を、あたかも国(又は府省等)が作成したかのような状態で公表・利用してはいけません。

2) 第三者の権利を侵害しないようにしてください

ア コンテンツの中には、第三者(国以外の者をいいます。以下同じ。)(が著作権その他の権利を有している場合があります。第三者が著作権を有しているコンテンツや、第三者が著作権以外の権利(例:写真における肖像権、パブリシティ権等)を有しているコンテンツについては、特に権利処理済であることが明示されているものを除き、利用者の責任で、当該第三者から利用の許諾を得てください。

イ コンテンツのうち第三者が権利を有しているものについては、出典の表記等によって第三者が権利を有していることを直接的又は間接的に表示・示唆し

利用規約に

☐ 同意しない

☒ 同意する

利用規約のオリジナルは [こちら](#)

取得地点の検索設定

GPS情報付き写真枚数・・・8枚

背景地図の取得位置・・・自動設定(複数の撮影地の中心)

※利用規約を読み、「同意する」を選択して下さい。

戻る 次へ

- ④ 次は、地図の取得条件を指定します。地図上のオレンジ色の丸印が撮影地点を表していますので、それを目印に地図をドラッグ移動し取得範囲を調整して下さい。最後に「取得開始」ボタンを押すと、web にアクセスして背景地図の取得が開始されます。条件によって異なりますが、数十秒から数分(2、3分程度)の時間を要しますのでしばらくお待ちください。

検索画面 (国土地理院省営図等データ利用許諾番号：2012-017号)

下記画面内の十字線の交点が、取得地図の中心となるように位置を調整し、「取得開始」ボタンを押してください。
マウス機能・・・【ホイール回転】→拡大/縮小 【ドラッグ】→地図移動(任意方向)

取得範囲 用紙範囲 撮影位置

十字交点の経度: 134.247373 度 緯度: 35.418419 度

画面をドラッグ移動して、取得範囲を調整します。

黒枠(細線)・・・用紙サイズを示します。

黒枠(太線)・・・取得範囲を示します。

設定確認後、「取得開始」ボタンを押す

取得画像の縮尺: 1: 10000 ※標準縮尺は1:25000です。

取得サイズ: A4 ☐ 縦 ☒ 横

取得画像の画質: ☐ 簡易画質 ☒ 標準画質 ☐ 高画質

旗揚げの: ☒ 非表示 ※十字交点上に「業務位置」等の旗揚げを表示 ☐ 表示

十字線交点付近の地図を

戻る 取得開始

地図の縮尺を選択して下さい。

- ⑤ 背景地図が取得されると、次に写真位置マーカーの情報一覧(下記)が表示されますので、必要に応じて表示内容等を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。なお撮影マーカーの写真番号には、フォトマスター側のタイトル欄の連番が既定値として設定されます。但し、「ファイル名」「ファイル名の一部」「連番」「タイトル欄の情報」のいずれかを写真番号として表示することも可能ですので、必要に応じて変更して下さい。

撮影位置マーカー情報一覧

下表は、写真フォルダ内の写真とその撮影位置情報です。表示チェック有の写真のみ撮影マーカーを作図します。それでは設定内容を確認/変更のうえ、「次へ」ボタンを押して下さい。

全選択 全解除 単位: 度分秒 度

表示域外の写真は選択しない 表示域外の写真にも写真番号を付ける(連番) 全情報リセット

表示	ファイル名	撮影位置:緯度(N)	撮影位置:経度(E)	撮影方向(度)	撮影日時	表示域内	写真番号(文字)
<input type="checkbox"/>	P8260044.JPG	35° 25' 04.998"	134° 15' 23.298"	55.00	2017/08/26 14:23:41	×	32
<input type="checkbox"/>	P8260045.JPG	35° 25' 04.770"	134° 15' 23.496"	55.00	2017/08/26 14:23:51	×	33
<input type="checkbox"/>	P8260046.JPG	35° 25' 05.424"	134° 15' 23.328"	330.00	2017/08/26 14:24:03	×	34
<input type="checkbox"/>	P8260047.JPG	35° 25' 05.000"	134° 15' 23.000"	326.00	2017/08/26 14:28:49	×	35
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260048.JPG	35° 25' 22.728"	134° 15' 44.082"	324.00	2017/08/26 14:29:17	○	36
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260049.JPG	35° 25' 21.000"	134° 15' 44.000"	74.00	2017/08/26 14:33:38	○	37
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260050.JPG	35° 25' 17.988"	134° 15' 30.648"	91.00	2017/08/26 14:36:56	○	38
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260051.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"	359.00	2017/08/26 14:40:18	○	39
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260052.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"			○	40
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260053.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.622"			○	41
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260054.JPG	35° 25' 22.584"	134° 15' 39.768"			○	42
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260055.JPG	35° 25' 22.476"	134° 15' 39.318"	69.00	2017/08/26 14:42:31	○	43
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260056.JPG	35° 25' 22.554"	134° 15' 39.300"	76.00	2017/08/26 14:42:34	○	44
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260057.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.222"	359.00	2017/08/26 14:43:50	○	45
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260058.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	53.00	2017/08/26 14:43:53	○	46
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260059.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	35.00	2017/08/26 14:43:56	○	47
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260060.JPG	35° 25' 22.368"	134° 15' 39.318"	326.00	2017/08/26 14:46:09	○	48
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260061.JPG	35° 25' 22.000"	134° 15' 39.000"	303.00	2017/08/26 14:48:24	○	49
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260062.JPG	35° 25' 22.000"	134° 15' 39.000"			○	50
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260063.JPG	35° 25' 22.000"	134° 15' 39.000"			○	51
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260064.JPG	35° 25' 22.000"	134° 15' 39.000"			○	52
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260065.JPG	35° 25' 40.000"	134° 15' 37.000"	57.00	2017/08/26 14:52:48	○	53

撮影マーカーに表示する写真番号(文字も可能)

撮影マーカーに表示する写真番号はここで設定変更可能です。

同じ場所の写真の撮影マーカーを除外することができます。

写真情報編集

ファイル名: P8260013.JPG

緯度: 35.4166967 (度) 図面参照

経度: 134.2927783 (度)

撮影方向: 2.00 (度)

写真番号(文字): 1

写真番号として表示する内容

☒ 自動設定する

☒ 連番……初期番号: 1

☐ ファイル名

☐ ファイル名のうち

末尾 から 3 文字のみ

☐ タイトル欄(フォトマスター)……数値のみ

撮影マーカー近接作図回避

☐ 他のマーカーとの距離が、下記の距離以下となる撮影マーカーは表示しない

同一地点判定: 50 m以内 更新

注)番号更新は「自動設定する」をチェックして下さい。

※赤字のデータは、Exif情報とは異なる値です

戻る 次へ

- ⑥ 最後に、設定データ等を登録する画面が表示されます。必要に応じて登録(保存)して下さい。なおデータ保存は、後からでも可能です。「OK」ボタンを押すと、設定はすべて完了です。

地図の登録

■取得データの登録を行って下さい(ただし、必須ではありません)。

取得データの登録をお勧めします。
登録すると、「開く/保存」画面のデータリストにデータが保存されます。本画像を今後も利用する場合は、登録をお勧めします。

取得データの登録

☒ 今は登録しない

☐ データ登録する

登録名:

データタイプ

☒ 地図 ☐ 航空写真 ☐ CAD

登録実行

■データフォルダ(登録先)

C:\Users\Tasawin8\AppData\Roaming\MapgetPro\data

取得地図のプレビュー

取得地図のスペック

画像種別: 標準地図

画像ファイル名: capture0.jpg

画像サイズ: 縦315mm × 横445mm

2296 × 1623(dot) 4.29MB

画像解像度: 131dpi

更新日時: 2017/10/22 10:56:05

北の方向角: 0.000000

原点の緯度: N35.404181°

原点の経度: E134.222740°

OK

国土地理院地形図/航空写真取得ソフト Maptek Pro【ビジネス版】ver 6.00.11 capture0.jpg

ファイル(F) 図面情報(I) 画像切抜き/出力(O) 編集(E) 計測/振動(E) NetLink(N) マルチページ印刷(M) 写真撮影位置図(P) オプション(O) ヘルプ(H)

撮影位置 撮影写真
座標系 緯度経度
CAD背景色
白黒表示

画像切抜きを
枠非表示
用紙: A4横
縮尺: 10000
表示設定
主タイトル 余白
副タイトル
方位 スケール
書式設定
Excelに出力
クリップボードコピー

上空ビュー

撮影位置: N35° 25' 00.108" E134° 13' 58.002"

画像サイズ: 1623×2296 解像度: 131 縮尺: 1 : 10000 緯度: N35°24'15.345" 経度: E134°15'33.830" スム: 42.19

撮影写真のサムネール一覧リスト

画像	写真番号等	ファイル名	撮影日時	緯度
1	00001P8260013.JPG	00001P8260013.JPG	2017/08/26 19:52:02	N35° 00.00
3	00003P8260015.JPG	00003P8260015.JPG	2017/08/26 19:52:39	N35° 59.00
5	00005P8260017.JPG	00005P8260017.JPG	2017/08/26 19:53:35	N35° 59.00
7	00007P8260019.JPG	00007P8260019.JPG	2017/08/26 19:55:41	N35° 59.00
8	00008P8260020.JPG	00008P8260020.JPG	2017/08/26 19:56:15	N35° 59.00
10	00010P8260022.JPG	00010P8260022.JPG	2017/08/26 19:58:05	N35° 55.00
12	00012P8260024.JPG	00012P8260024.JPG	2017/08/26 19:59:25	N35° 55.00

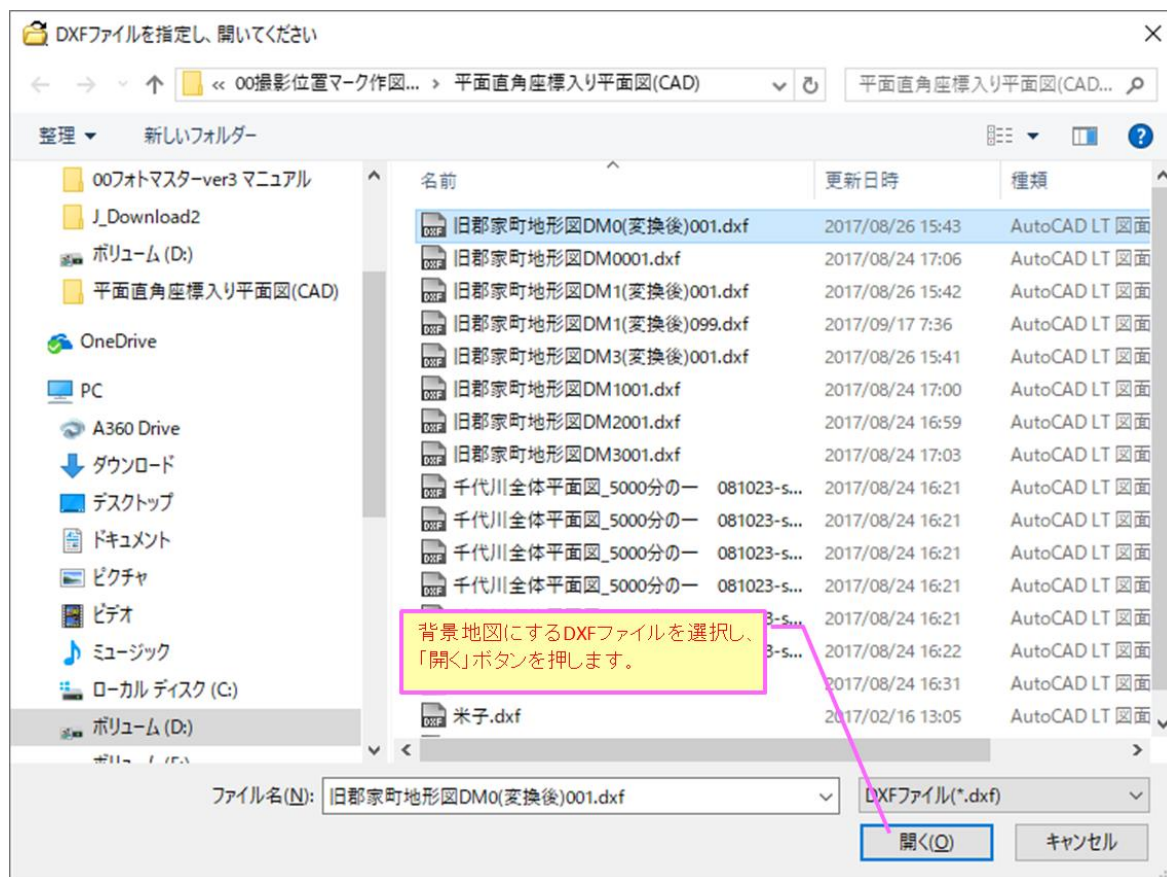
設定した用紙が切り抜き枠として表示されます。用紙の表示位置は自由に移動できます。

選択した写真のプレビュー画面

① 下記画面にて、「CAD 図面を読み込む」を選択し、かつ「地図上に撮影位置を表示する」にチェックを入れ、「次へ」ボタンを押します。



- ② 続いて、下記画面が表示されますので、背景地図として使用する DXF ファイルを選択し、「開く」ボタンを押します。なお、読み込む DXF ファイルは、図面内に平面直角座標系の座標値が判明している点が1点以上必要です(図面の座標系を、緯度経度に変換する必要があるため)。



- ③ DXF ファイルを読み込むと、下記の「図面情報設定」画面が開きます。DXF 地図の縮尺をリストから選択し、「次へ」ボタンを押します。なお、もしリストに該当する縮尺がない場合は「指定縮尺」を選択し、縮尺の母数を入力欄に直接入力して下さい。



- ④ 次に「座標系の設定」画面が開きますので、座標系を設定します。DXF 図は web 地図とは異なり、単に読込んだだけでは緯度経度と関連付けができません。そこで DXF 図面内の 1 点(&方位指定)もしくは 2 点の平面直角座標の値を読み取り、緯度経度の座標系に変換します。(予め DXF 図内に 1 点もしくは 2 点の平面直角座標の既知点(座標値がわかっている点)を用意しておいてください。)

座標系の設定

■図面に座標系(緯度経度含む)を設定してください。
通常は座標系の設定は必須ではありませんが、撮影位置図作成時や、NetLinkを使用する場合は座標系を設定して下さい。

座標系の設定
☐ 設定(変更)しない
☒ 設定(変更)する

緯度経度の設定方法
☐ 1点指示と方位
☒ 2点指示

座標系の設定/変更
CAD図上の1点をマウス指示し、その平面直角座標(X,Y)を入力して下さい。また北の方向とCAD図が該当する系番号と測地系を設定して下さい。

CAD図上の2点指示
1点目
X1= Y1=
2点目
X2= Y2= **図面参照**

上記2点の平面直角座標値
1点目
X1= (m) Y1= (m)
2点目
X2= (m) Y2= (m)

測地系: 系番号: 都道府県から選択

座標の設定が必須です。設定方法を、1点指示もしくは2点指示のどちらかから選択して下さい。

プレビュー
「緯度経度の設定方法」を設定したら、この「図面参照」座ボタンを押して下さい。すると「平面直角座標系の設定」画面が開きますので、座標の既知点を画面上で設定して下さい。

種別 : ---
ファイル名 : 旧郡家町地形図DM0(変換後)001.dxf
サイズ : 843×615(mm) 27.27MB
解像度 : ---
更新日時 : 2017/08/26 15:43:31
座標系の設定誤差:

■平面直角座標系について

写真に記録されている GPS 位置情報は、緯度経度座標で記録されています。それに対して dxf 地形図の多くは、平面直角座標で作図されている場合が殆どです。従って、dxf 地図上で撮影位置を明らかにするためには、平面直角座標→緯度経度への座標変換をおこなう必要があります。

なお平面直角座標系とは、日本国内を測量するために策定された平面直角座標系のことで、全国を 19 の座標系に区分し、それぞれの座標原点からの相対距離で座標値を表したものです。ですので、同じ座標値でも、全国 19 の座標系のどこの系番号のもので、場所が大きく異なります。つまり、平面直角座標系の座標は「系番号」とペアとなって、初めて正しい位置を求めることができるようになります。

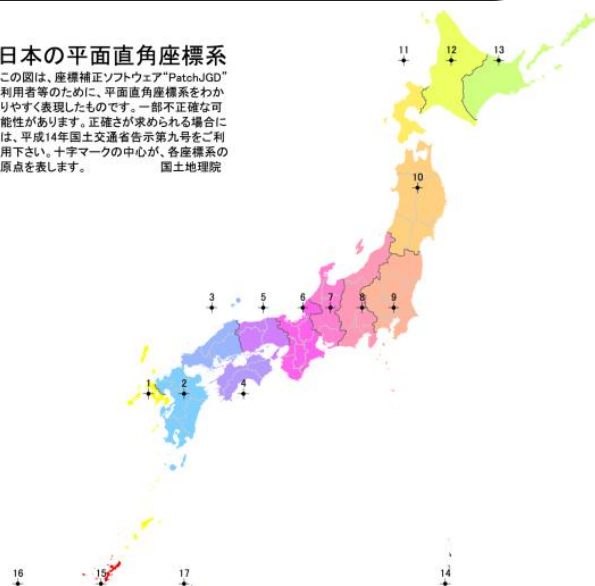
参考 URL・・・ http://www.gsi.go.jp/sokuchiki_jun/jpc.html

それでは、「座標系の設定」画面において、「2 点指示」によって座標系を設定する方法をご説明します。まず、「座標系の設定」画面内の「図面参照」ボタンを押します。

すると、次ページの「平面直角座標系の設定」画面が開きます。

日本の平面直角座標系

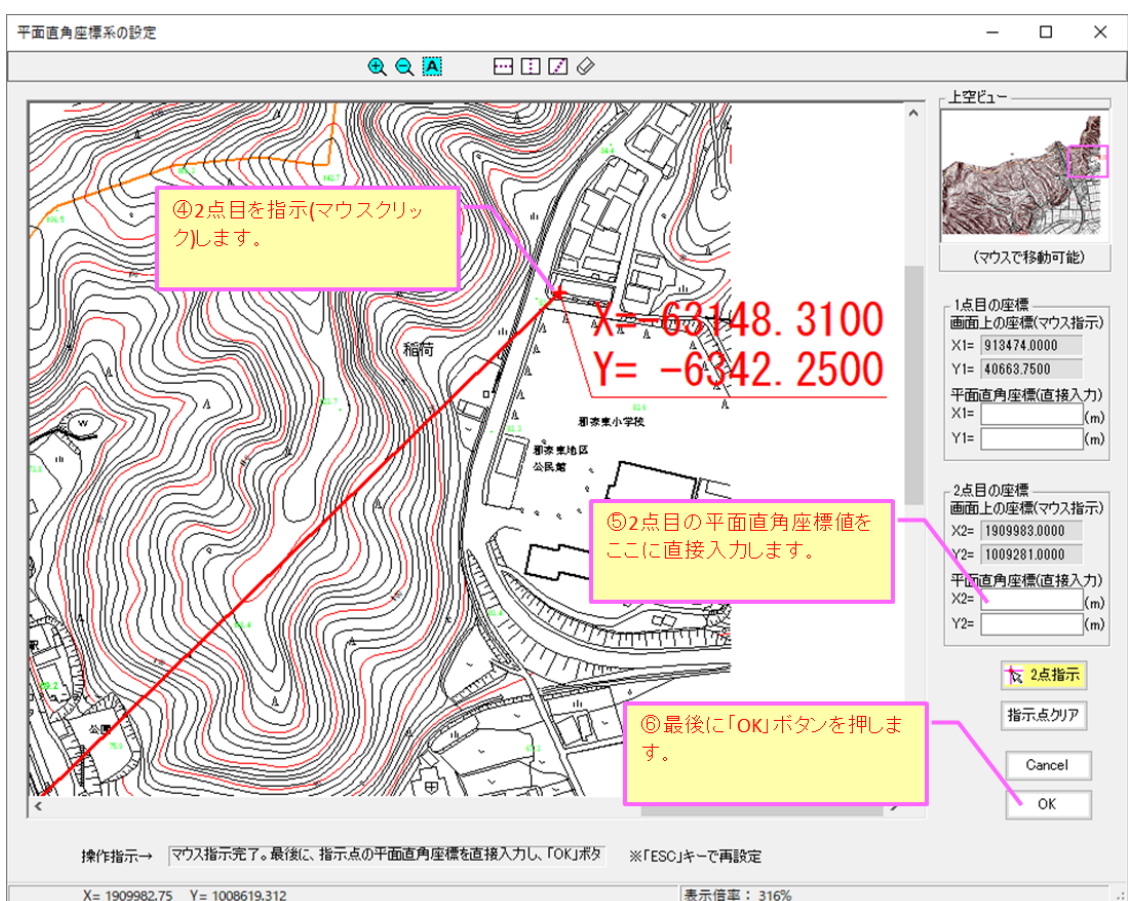
この図は、座標補正ソフトウェア“PatchJGD”利用者等のために、平面直角座標系をわかりやすく表現したものです。一部不正確な可能性があります。正確さが求められる場合には、平成14年国土交通省告示第九号をご利用下さい。十字マークの中心が、各座標系の原点を表します。 国土地理院



■ 1 点目の指示



■ 2 点目の指示



座標系を設定すると、下図のように座標値がすべて埋まります。座標系の設定誤差が十分小さいことを確認し、「次へ」ボタンを押して下さい(「1点指示」の場合、誤差は表示されません)。

次に、「測地系」と「系番号」を設定して下さい。「測地系」は、通常「世界測地系」で良いと思います。「系番号」は必ず設定確認して下さい。系番号がわからない場合は、「都道府県から選択」ボタン押し、地図が位置する都道府県を選択することで、間接的に設定可能です。

座標系の設定

■図面に座標系(緯度経度含む)を設定してください。

通常は座標系の設定は必須ではありませんが、撮影位置図作成時や、NetLinkを使用する場合は座標系を設定して下さい。

座標系の設定

緯度経度の設定方法

☐ 設定(変更)しない
 ☒ 設定(変更)する

☐ 1点指示と方位
 ☒ 2点指示

座標系の設定/変更

CAD図上の1点をマウス指示し、その平面直角座標(X,Y)を入力して下さい。また北の方向とCAD図が該当する系番号と測地系を設定して下さい。

CAD図上の2点指示

1点目		2点目	
X1=	913.4740	X2=	1909.9828
Y1=	40.6637	Y2=	1009.2808

図面参照

上記2点の平面直角座標値

1点目		2点目	
X1=	-64117.7400 (m)	X2=	-63148.2200 (m)
Y1=	-7338.2300 (m)	Y2=	-6312.2500 (m)

測地系: 世界測地系

系番号: 5

都道府県から選択

操作説明

clear

地図上で位置確認

プレビュー

系番号を必ず設定して下さい。判らない場合は「都道府県から選択」ボタンを押して間接設定して下さい。

誤差が大きい場合は再設定して下さい。

種別 : ---

ファイル名 : 旧郡家町地形図DM0(変換後)001.dxf

サイズ : 845×615(mm) 27.27MB

解像度 : ---

更新日時 : 2017/08/26 15:43:31

座標系の設定誤差: 0.01301% (1kmで0.13007mの誤差)

測地系とは

戻る

次へ

図面の系番号については、下記の方法で間接的に設定できます。

系番号の設定

■CAD図面の場所(都道府県)を下記より選択し、表示された系番号を設定して下さい。

図面の場所(都道府県): 北海道

系番号: 11, 12, 13 (複数)

系番号の選択:(複数の場合のみ選択可能)

11

上記の系番号を設定

系番号資料

☒ 系番号位置図
 ☐ 系番号一覧表

【1次選択】DXF地図の場所の都道府県をリストから選択して下さい。

【2次選択】都道府県を設定後、もし系番号のリストが複数ある場合は、「系番号資料」の設定を「系番号一覧」に変え、リストからDXF地図がどの系番号に該当するかを選定して下さい。

1次、2次選択に基づいて、最終的にDXF地図が該当する系番号をこのリストから選択し、「上記の系番号を設定」ボタンを押して下さい。その系番号が設定されます。

系

3 5

11 12 10

閉じる

- ⑤ 「座標系の設定」で設定した場所が地図に表示されます。場所が正しいことを確認し、「次へ」ボタンを押して下さい。もし場所が異なる場合は「戻る」ボタンを押し、再設定して下さい。

地図上で位置確認

下図は、設定した座標系の場所を表しています。場所が異なる場合は設定に誤りがありますので、「戻る」を押して再設定して下さい。問題ない場合は「次へ」を押して下さい。

地図上で確認する地点... 1点目

平面直角座標
X=-64117.7400 系番号: 5
Y=-7338.2300 世界測地系

変換 → 緯度経度
緯度: 35.422037
経度: 134.252523

十字交点の経度: 134.252523 度 緯度: 35.422037 度

「座標系の設定」画面で設定した「1点目」「2点目」の位置が、地理院地図上に表示されます。

DXF地図と同じ場所である場合は、設定が正しいことを示しますので「次へ」ボタンを押して下さい。一方、場所が違ったり、ブルースクリーン(地図なし)の場合は設定に誤りがありますので、「戻る」ボタンを押して再設定して下さい。

戻る 次へ

- ⑥ 次に下記画面が表示されますので、撮影位置図を作成したい写真が保存されているフォルダを指定し、また撮影位置マーカのスタイルを設定します。写真はGPS位置情報が記録されている必要があります。また撮影マーカのスタイル等は、撮影位置図の作成後でも変更可能です。

写真フォルダおよび撮影位置マーカの設定

背景地図の取得/読込の前に、まず撮影位置を表示する写真を読込みます。
撮影位置図を作成する写真が保存されているフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押して下さい。
なお、弊社のフォトマスターII Proのアルバムデータフォルダを指定すると、タイトル欄の文字や写真番号に基づいて撮影位置図を作成することができます。

■写真フォルダの指定
読込対象... ☒ GPS情報付き写真のみ
☐ フォルダ内の全写真

G:\郡家町写真(GPS)\

参照

■撮影位置マーカスタイル(撮影地点に表示するマーカスタイルを選択)

スタイル1 ☐ スタイル2 ☒ スタイル3 ☐

文字高: 6.0(mm)
丸半径: 8.0(mm)

スタイル変更

「参照」ボタンを押して、撮影位置図を作成したい写真が保存されているフォルダを指定します。

撮影位置図作成例

凡例
● ...撮影地点
→ ...撮影方向
5 ...写真番号(丸囲可能)
(スタイル3では丸囲中心が撮影地点となります)

戻る 次へ

背景地図上に表示する撮影マーカのスタイルを3種類から選択します。(色や線種等を変更したい場合は、「スタイル変更」ボタンを押して設定して下さい)

- ⑦ 次に下図の写真位置マーカーの情報一覧が表示されますので、必要に応じて表示内容等を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。なお撮影マーカーの写真番号には、フォトマスター側のタイトル欄に連番が設定されている場合は、連番が既定設定されます。但し、「ファイル名」「ファイル名の一部」「連番」「タイトル欄の情報」のいずれかを写真番号として表示することも可能ですので、必要に応じて変更して下さい。

撮影位置マーカー情報一覧

下表は、写真フォルダ内の写真とその撮影位置情報です。表示チェック有の写真のみ撮影マーカーを作図します。それでは設定内容を確認/変更のうえ、「次へ」ボタンを押して下さい。

☒ 全選択 ☒ 全解除 ☒ 表示域外の写真は選択しない ☒ 表示域外の写真にも写真番号を付ける(連番) 全情報リセット 単位: ☒ 度分秒 ☐ 度

表示	ファイル名	撮影位置:緯度(N)	撮影位置:経度(E)	撮影方向(度)	撮影日時	表示域内	写真番号(文字)
<input type="checkbox"/>	P8260044.JPG	35° 25' 04.998"	134° 15' 23.298"	55.00	2017/08/26 14:23:41	×	32
<input type="checkbox"/>	P8260045.JPG	35° 25' 04.770"	134° 15' 23.496"	55.00	2017/08/26 14:23:51	×	33
<input type="checkbox"/>	P8260046.JPG	35° 25' 05.424"	134° 15' 23.328"	330.00	2017/08/26 14:24:03	×	34
<input type="checkbox"/>	P8260047.JPG	35° 25' 05.000"	134° 15' 23.000"	326.00	2017/08/26 14:28:49	×	35
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260048.JPG	35° 25' 22.728"	134° 15' 44.082"	324.00	2017/08/26 14:29:17	○	36
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260049.JPG	35° 25' 21.000"	134° 15' 44.000"	74.00	2017/08/26 14:33:38	○	37
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260050.JPG	35° 25' 17.988"	134° 15' 30.648"	91.00	2017/08/26 14:36:56	○	38
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260051.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"	359.00	2017/08/26 14:40:18	○	39
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260052.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"			○	40
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260053.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.622"			○	41
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260054.JPG	35° 25' 22.584"	134° 15' 39.768"			○	42
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260055.JPG	35° 25' 22.476"	134° 15' 39.318"	69.00	2017/08/26 14:42:31	○	43
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260056.JPG	35° 25' 22.554"	134° 15' 39.300"	76.00	2017/08/26 14:42:34	○	44
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260057.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.222"	359.00	2017/08/26 14:43:50	○	45
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260058.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	53.00	2017/08/26 14:43:53	○	46
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260059.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	35.00	2017/08/26 14:43:56	○	47
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260060.JPG	35° 25' 22.368"	134° 15' 39.318"	326.00	2017/08/26 14:46:09	○	48
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260061.JPG	35° 25' 22.000"	134° 15' 39.000"	303.00	2017/08/26 14:48:24	○	49
<input checked="" type="checkbox"/>			134° 15' 23.298"			○	50
<input checked="" type="checkbox"/>			134° 15' 24.000"			○	51
<input checked="" type="checkbox"/>			134° 15' 39.000"			○	52
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260065.JPG	35° 25' 40.000"	134° 15' 37.000"	57.00	2017/08/26 14:52:48	○	53

撮影マーカーに表示する写真番号はここでも設定変更可能です。

撮影マーカーに表示する写真番号(文字も可能)

同じ場所の写真の撮影マーカーを除外することができます。

写真情報編集

ファイル名: P8260013.JPG

緯度: 35.4166967 (度) [図面参照]

経度: 134.2327783 (度)

撮影方向: 2.00 (度)

写真番号(文字): 1

写真番号として表示する内容

☒ 自動設定する

☒ 連番... 初期番号: 1

☐ ファイル名

☐ ファイル名のうち

末尾 から 3 文字分のみ

☐ タイトル欄(フォトマスター) ☒ 数値のみ

※赤字のデータは、Exif情報とは異なる値です

撮影マーカー近接作図回避

☐ 他のマーカーとの距離が、下記の距離以下となる撮影マーカーは表示しない

同一地点判定... 50 m以内 [更新]

注)番号更新は「自動設定する」をチェックして下さい。

戻る 次へ

- ⑧ 次に「図面上への写真配置」画面が表示されます。配置しない場合は「今は配置しない」にします。写真の再配置や、細かな設定変更等は後からでも可能ですので、ひとまず「次へ」ボタンを押して、撮影位置図を完成してみてください。

図面上への写真配置

撮影地点の写真一覧を図面上に配置することができます。配置する場合は、「写真を図面上に配置する」にチェックを入れ、「次へ」ボタンを押して下さい。

写真配置の実行について

☐ 今は配置しない(後からでも可能)

☒ 写真を図面上に配置する

写真の配置設定

☒ 自動設定

☐ ユーザー設定... [設定変更]

■図面サイズ: 横84.3cm×縦61.5cm

■写真枚数: 11枚

■写真配列: 横11列×縦1行 (横77.0cm×縦6.5cm)

■写真サイズ(1枚): 横6.0cm×縦4.5cm

■配列方向: 左→右

■写真番号/タイトル: 表示する

文字高: 8.0mm

丸囲径: 10.0mm

注1)写真を複数箇所に分散配置したい場合は、サムネイル欄内の写真を選択後、「CAD上への写真配置」コマンドにて小分けに配置して下さい。

注2)写真枚数が多く、図面内に収まらない場合は、「写真一覧のみをDXF保存」を実行して、地図とは別図面として編集することをお勧めします。

写真一覧プレビュー

写真一覧のサイズをこのボタンでワンタッチ変更できます。

写真一覧の配置位置は、マウスドラッグで変更できます。

写真一覧を貼り付けたくない場合は「今は配置しない」を選択してください。

配置設定を変更したい場合は「ユーザー設定」してください。

DXF図とラスター地図の場合は、地図上に写真一覧を貼り付けることが可能です。最初は、このようにソフト側で自動貼り付けされます。もし配置を変えたい場合は、「ユーザー設定」にして手動設定して下さい。

写真一覧が大量の場合は、このボタンを押して「写真一覧」のみをDXF保存し、CADソフト側で編集することをお勧めします。

写真一覧のみをDXF保存

写真配置範囲(配置位置はマウスで調整可)

写真幅: 6.0cm

戻る 次へ

- ⑨ 最後にデータ登録(保存)画面が表示されます(保存は後からでも可能です)。「OK」ボタンを押すと全ての設定は完了です。

CADの登録

■取得データの登録を行って下さい(ただし、必須ではありません)。
画像を本ソフトのデータとして登録する場合は登録名を入力後、「登録実行」ボタンを押して下さい。
画像を登録すると、「開く/保存」画面のデータリストにデータ(画像と各種設定値)が登録されます。

CAD登録

☒ 今は登録しない
☐ データ登録する

登録名:

データタイプ
☐ 地図 ☐ 航空写真 ☒ CAD

登録実行

■データフォルダ(登録先)
C:\Users\Tasawin8\AppData\Roaming\Mapget Pro\data

プレビュー



スペック

種別	: CAD図面(DXF)	更新日時	: 2017/08/26 15:43:31
ファイル名	: 旧郡家町地形図DM0(変換後)001.dxf	北の方向角	: 0.038869
サイズ	: ---	原点の緯度	: N0.000000°
	: 843×615(mm) 27.27MB	原点の経度	: E0.000000°
解像度	: ---		

OK

- ⑩ 設定がすべて完了し、Mapget Proの主画面に撮影位置図等が表示されます。

国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」【デラックス版】ver 6.00.11 旧郡家町地形図DM0(変換後)001.dxf

撮影写真のリスト

撮影位置図

写真一覧(グループ化されています)。ダブルクリックで配置変更等の編集が可能です。

撮影マーカー

選択写真のプレビュー

画像	写真番号等	ファイル名	撮影日時	緯度(北)
	48	00048P8260055.JPG	2017/08/26 14:42:31	N35°22'
	49	00049P8260061.JPG	2017/08/26 14:48:24	N35°22'
	50	00050P8260062.JPG	2017/08/26 14:49:34	N35°21'
	51	00051P8260063.JPG	2017/08/26 14:50:13	N35°22'
	52	00052P8260064.JPG	2017/08/26 14:52:34	N35°40'
	53	00053P8260065.JPG	2017/08/26 14:52:48	N35°40'

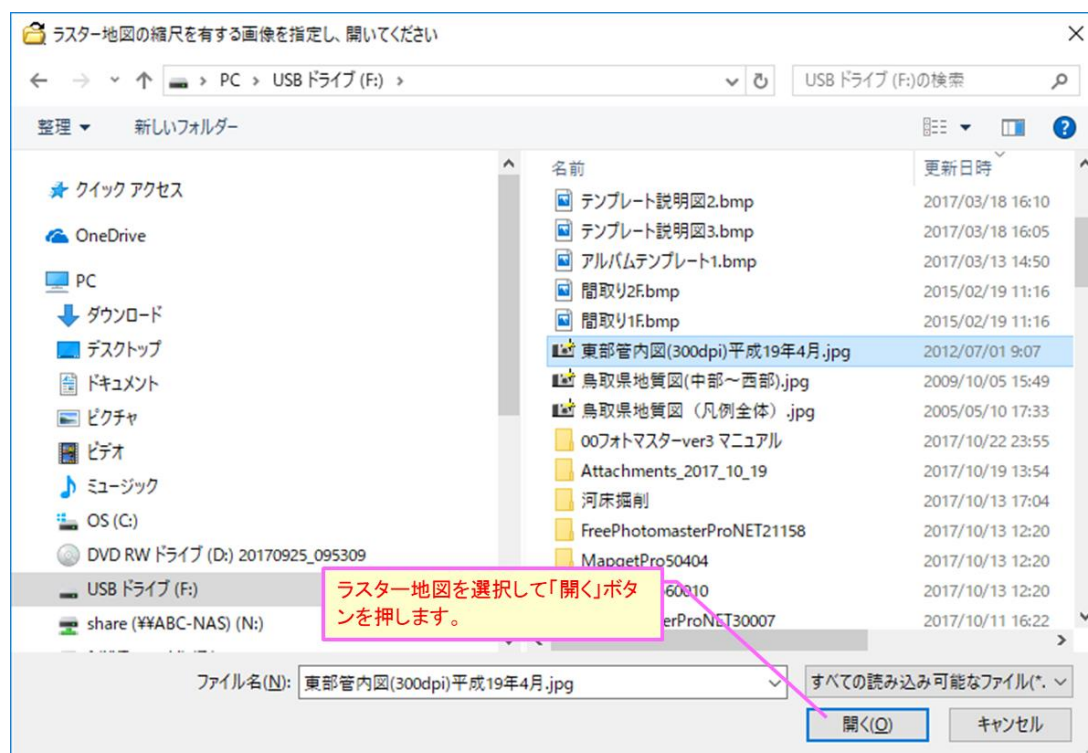
旧郡家町地形図DM0(変換後)001.dxf | 画像サイズ= 615×843 | 解像度= --- | 縮尺= 1 : 2500 | 緯度: N35°25'39.392" | 経度: E134°15'26.348" | スム= 42.19

4) 使用方法②背景地図がラスター地図の場合

- ① 下記画面にて、「ラスター地図を読み込む」を選択し、かつ「地図上に撮影位置を表示する」にチェックを入れ、「次へ」ボタンを押します。



- ② 続いて、下記画面が表示されますので、背景地図として使用するラスター地図ファイルを選択し、「開く」ボタンを押します。なお、読み込むラスター地図には、座標系に設定するために、緯度経度が判明している点と方位が必要となります。しし



- ③ スター地図ファイルを読み込むと、下記の「図面情報設定」画面が開きます。地図の縮尺をリストから選択し、「次へ」ボタンを押します。なお、もしリストに該当する縮尺がない場合は「指定縮尺」を選択し、縮尺の母数を入力欄に直接入力して下さい(次頁参照)。

図面情報設定

図面について、以下の情報を設定して下さい。

縮尺
S=1: 50000
注)図面の縮尺をリストから選択して下さい。リストにない場合は「指定縮尺」を選択し直接設定して下さい。

解像度
☒ 直接指定 (解像度を直接入力)
☐ 間接指定 (画像上の2点と点間距離から、解像度を間接的に求める)
解像度: 300.0 (dpi)

図面プレビュー
画像種別 : ラスター地図
画像ファイル名 : 東部管内図(300dpi)平成19年4月.jpg
画像サイズ : 12839×9272(dot) 18.85MB
画像解像度 : 300dpi(実際とは異なる場合があります)
更新日時 : 2012/07/01 9:07:08

閉じる 次へ

- ④ 次に「座標系の設定」画面が開きますので、座標系を設定します。ラスター地図は web 地図とは異なり、単に読込んだだけでは緯度経度と関連付けができません。そこでラスター地図内の 1 点(&方位指定)の緯度経度を指示することで、座標系を設定する必要があります。(予め、ラスター地図内に緯度経度の既知点を 1 点確保しておいてください。)

緯度経度の設定

■緯度経度の設定をしてください(ただし必須ではありません)
緯度経度の設定は必須ではありませんが、未設定の場合、NetLink機能など、一部の機能が無効となります。

緯度経度の設定
☐ 設定(変更)しない
☒ 設定(変更)する

緯度経度の設定方法
☒ 1点指示と方位
☐ 2点指示

緯度経度の設定/変更
北の方向と緯度経度の判明している画像上の任意の一点を指示し、その緯度経度の値を入力して下さい。

北の向き: 図面上方 (北方向角) 0.000000
図面参照

画像上の任意点(1点)の座標と、その緯度経度
【任意点の図面上の座標】
X1= Y1= 図面参照

【任意点の緯度経度】... ☐ 平面直角座標 ☒ 緯度経度
緯度= (°) 経度= (°)

測地系: 世界測地系 系番号: 5 都道府県から選択

操作説明 clear 地図上で位置確認

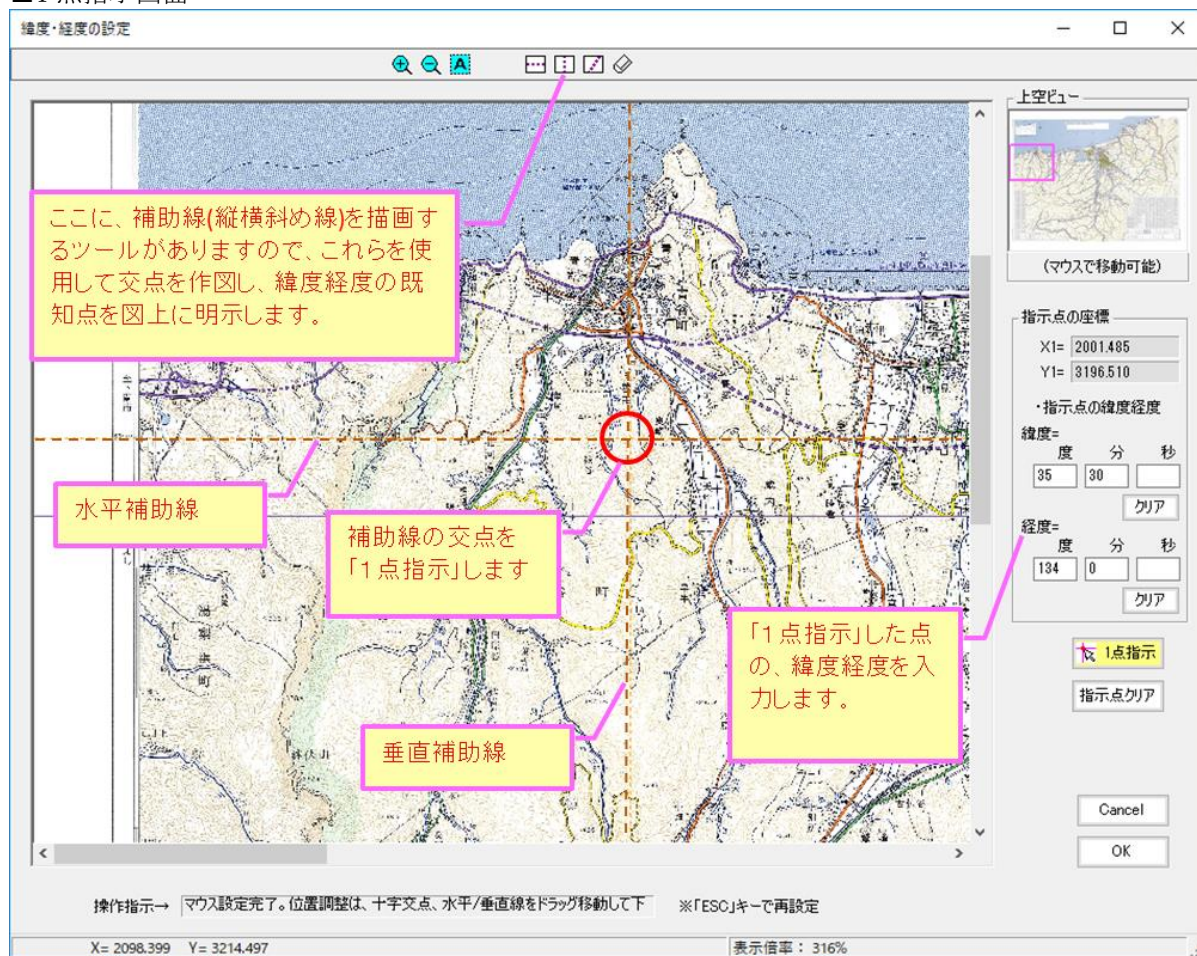
図面参照
画像種別 : ---
画像ファイル名 : 東部管内図(300dpi)平成19年4月.jpg
画像サイズ : 12839×9272(dot) 18.85MB
画像解像度 : 300dpi(実際とは異なる場合があります)
更新日時 : 2012/07/01 9:07:08

測地系とは 戻る 次へ

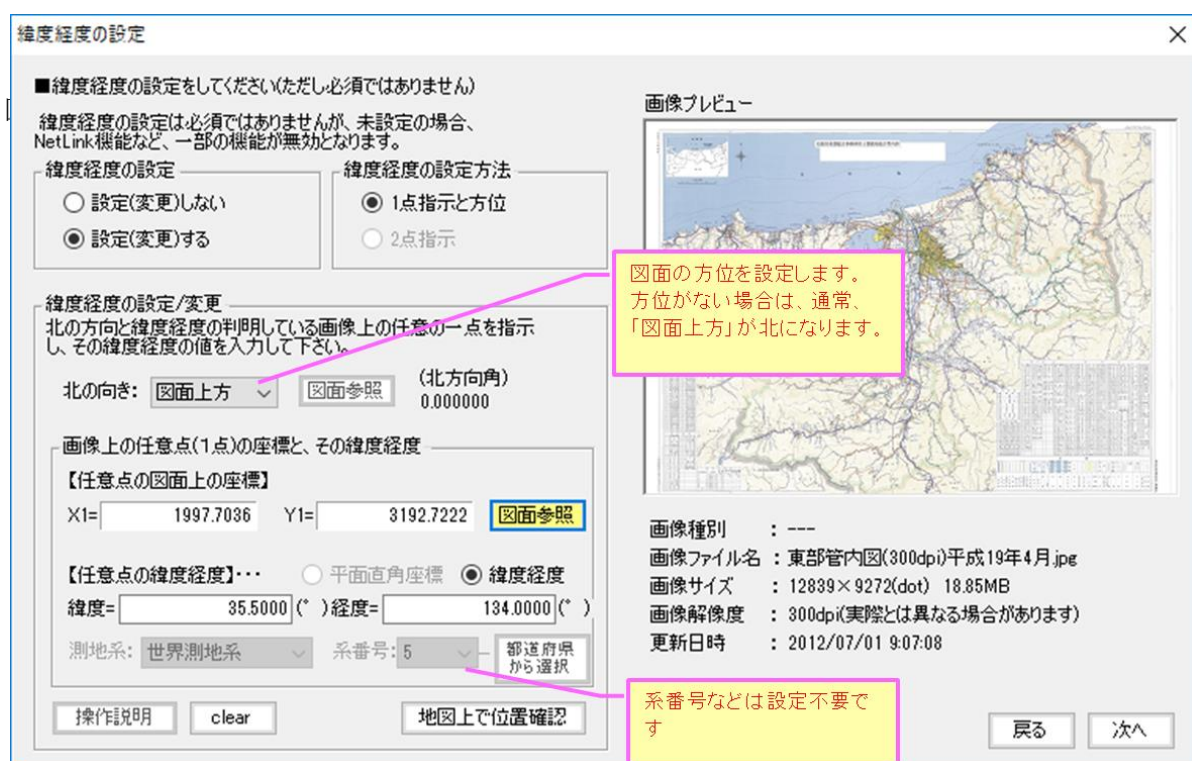
それでは、「緯度経度の設定」画面において、「1 点指示と方位」によって座標系を設定する方法をご説明します。まず、「座標系の設定」画面内の「図面参照」ボタンを押します。

すると、下記の設定画面が開きます。

■ 1点指示画面



緯度経度を設定すると、下図のように座標値がすべて埋まります。次に図面の方位(北の向き)を設定すれば、設定はすべて完了ですので、最後に「次へ」ボタンを押して下さい(「1点指示と方位」の場合は、設定誤差は表示されません)。



- ⑤ 次に下記画面が表示されますので、撮影位置図を作成したい写真が保存されているフォルダを指定し、また撮影位置マーカーのスタイルを設定します。写真はGPS位置情報が記録されている必要があります。また撮影マーカーのスタイル等は、撮影位置図の作成後でも変更可能です。

写真フォルダおよび撮影位置マーカーの設定

背景地図の取得/読込の前に、まず撮影位置を表示する写真を読み込みます。
 撮影位置図を作成する写真が保存されているフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押して下さい。
 なお、弊社のフォトマスターII Proのアルバムデータフォルダを指定すると、タイトル欄の文字や写真番号に基づいて撮影位置図を作成することができます。

■写真フォルダの指定

読込対象... ☒ GPS情報付き写真のみ
☐ フォルダ内の全写真

G:\郡家町写真(GPS)\

参照

■撮影位置マーカースタイル(撮影地点に表示するマーカースタイルを選択)

スタイル1 ☐ スタイル2 ☒ スタイル3 ☐

スタイル変更

文字高: 6.0(mm)
 丸径: 8.0(mm)

「参照」ボタンを押し、撮影位置図を作成したい写真が保存されているフォルダを指定します。

背景地図上に表示する撮影マーカーのスタイルを3種類から選択します。(色や線種等を変更したい場合は、「スタイル変更」ボタンを押して設定して下さい)

GPS

撮影位置図作成例

凡例

- ...撮影地点
- ...撮影方向
- 5 ...写真番号(丸囲可能)
(スタイル3では丸囲中心が撮影地点となります)

戻る 次へ

- ⑥ 次に、下図の写真位置マーカーの情報一覧が表示されますので、必要に応じて表示内容等を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。なお撮影マーカーの写真番号には、フォトマスター側のタイトル欄に連番が設定されている場合は、連番が既定設定されます。但し、「ファイル名」「ファイル名の一部」「連番」「タイトル欄の情報」のいずれかを写真番号として表示することも可能ですので、必要に応じて変更して下さい。

撮影位置マーカー情報一覧

下表は、写真フォルダ内の写真とその撮影位置情報です。表示チェック有の写真のみ撮影マーカーを作成します。それでは設定内容を確認/変更のうえ、「次へ」ボタンを押して下さい。

☒ 全選択 ☐ 全解除

ソート: ファイル名 昇順

☒ 表示域外の写真は選択しない
☒ 表示域外の写真にも写真番号を付ける(連番) 全情報リセット

単位: ☒ 度分秒 ☐ 度

表示	ファイル名	撮影位置:緯度(N)	撮影位置:経度(E)	撮影方向(度)	撮影日時	表示域内	写真番号(文字)
<input type="checkbox"/>	P8260044.JPG	35° 25' 04.998"	134° 15' 23.298"	55.00	2017/08/26 14:23:41	×	32
<input type="checkbox"/>	P8260045.JPG	35° 25' 04.770"	134° 15' 23.496"	55.00	2017/08/26 14:23:51	×	33
<input type="checkbox"/>	P8260046.JPG	35° 25' 05.424"	134° 15' 23.328"	330.00	2017/08/26 14:24:03	×	34
<input type="checkbox"/>	P8260047.JPG	35° 25' 05.000"	134° 15' 23.000"	326.00	2017/08/26 14:28:49	×	35
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260048.JPG	35° 25' 22.728"	134° 15' 44.082"	324.00	2017/08/26 14:29:17	○	36
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260049.JPG	35° 25' 21.000"	134° 15' 44.000"	74.00	2017/08/26 14:33:38	○	37
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260050.JPG	35° 25' 17.998"	134° 15' 30.648"	91.00	2017/08/26 14:36:56	○	38
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260051.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"	359.00	2017/08/26 14:40:18	○	39
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260052.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"			○	40
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260053.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.622"			○	41
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260054.JPG	35° 25' 22.584"	134° 15' 39.768"			○	42
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260055.JPG	35° 25' 22.476"	134° 15' 39.318"	69.00	2017/08/26 14:42:31	○	43
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260056.JPG	35° 25' 22.554"	134° 15' 39.300"	76.00	2017/08/26 14:42:34	○	44
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260057.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.222"	359.00	2017/08/26 14:43:50	○	45
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260058.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	53.00	2017/08/26 14:43:53	○	46
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260059.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	35.00	2017/08/26 14:43:56	○	47
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260060.JPG	35° 25' 22.368"	134° 15' 39.318"	326.00	2017/08/26 14:46:09	○	48
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260061.JPG	35° 25' 22.000"	134° 15' 39.000"	303.00	2017/08/26 14:48:24	○	49
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260062.JPG	35° 25' 21.000"	134° 15' 21.000"	43.34	2017/08/26 14:50:13	○	50
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260063.JPG	35° 25' 21.000"	134° 15' 21.000"	50.13	2017/08/26 14:50:13	○	51
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260064.JPG	35° 25' 21.000"	134° 15' 21.000"	52.34	2017/08/26 14:50:13	○	52
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260065.JPG	35° 25' 40.000"	134° 15' 37.000"	57.00	2017/08/26 14:52:48	○	53

撮影マーカーに表示する写真番号(文字も可能)

撮影マーカーに表示する写真番号はここで設定変更可能です。

同じ場所の写真の撮影マーカーを除外することができます。

写真情報編集

ファイル名: P8260013.JPG

緯度: 35.4166967 (度) 図面参照

経度: 134.2327783 (度)

撮影方向: 2.00 (度)

写真番号(文字): 1

写真番号として表示する内容

☒ 自動設定する

☒ 連番... 初期番号: 1

☐ ファイル名

☐ ファイル名のうち

末尾 から 3 文字のみ

☐ タイトル欄(フォトマスター)... ☒ 数値のみ

撮影マーカー近接作図回避

☐ 他のマーカーとの距離が、下記の距離以下となる撮影マーカーは表示しない

同一地点判定... 50 m以内 更新

注)番号更新は「自動設定する」をチェックして下さい。

※赤字のデータは、Exif情報とは異なる値です

戻る 次へ

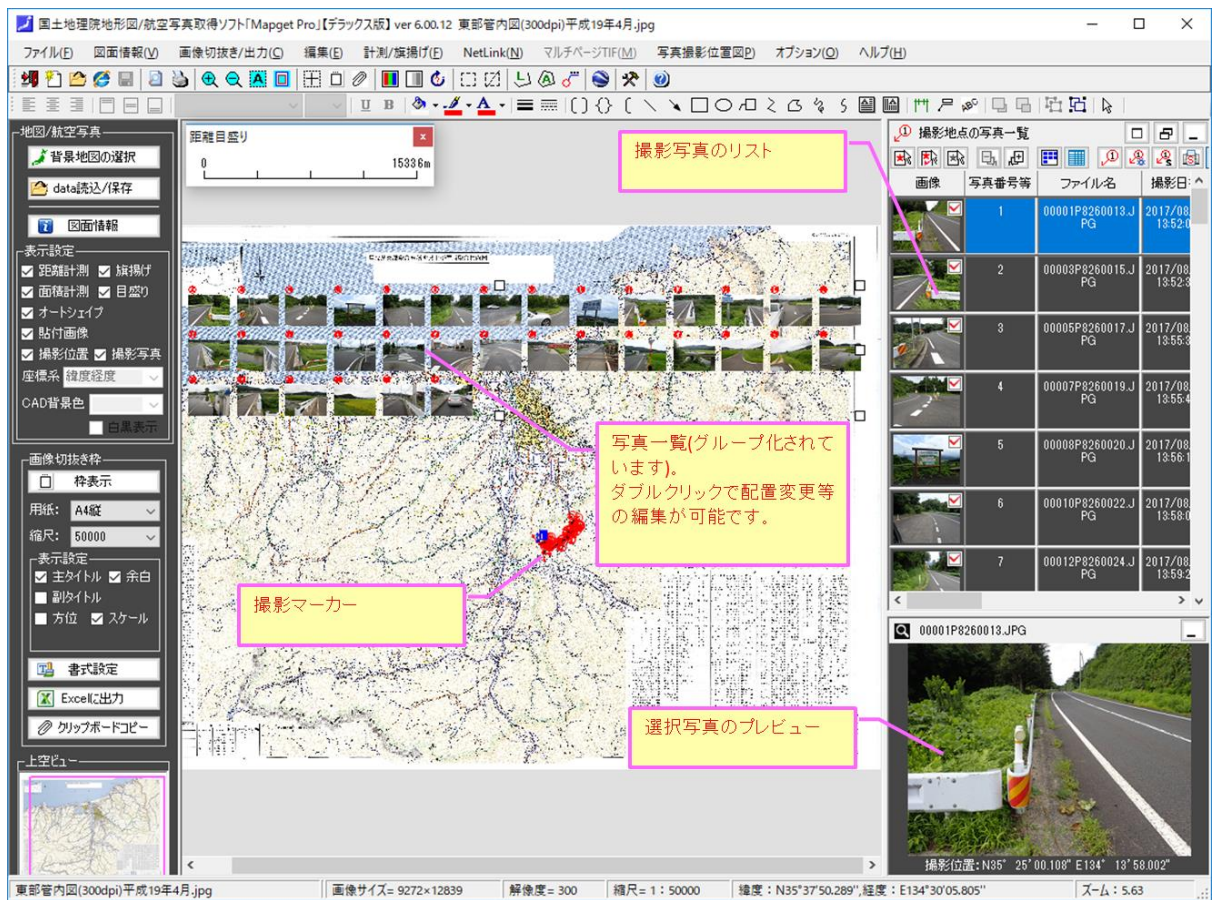
- ⑦ 次に「図面上への写真配置」画面が表示されます。配置しない場合は「今は配置しない」にします。写真の再配置や、細かな設定変更等は後からでも可能ですので、ひとまず「次へ」ボタンを押し、撮影位置図を完成してみてください。



- ⑧ 最後にデータ登録(保存)画面が表示されます(保存は後からでも可能です)。「OK」ボタンを押すと全ての設定は完了です。

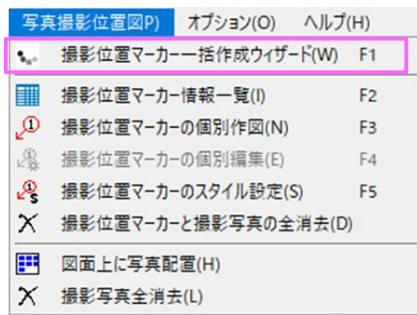


⑨ 設定がすべて完了し、Mapget Pro の主画面に撮影位置図や写真一覧等が表示されます。



5) 写真撮影位置図の編集機能

a) 撮影位置マーカー一括作成ウィザード



撮影位置マーカー一括作成ウィザードは、座標系設定済の背景地図が画面上に存在する状態から撮影位置マーカーを作図する場合等に使用します。対話形式で設定が進められますので、とても簡単に撮影マーカー等を作図できます。

b) 撮影位置マーカー情報一覧



既に撮影マーカーを作図済みの画面において、撮影マーカー情報の一覧表を表示します。マーカーに表示する写真番号の変更や、並び替え等をおこなう場合に使用します。

下表は、写真フォルダ内の写真とその撮影位置情報です。表示チェック有の写真のみ撮影マーカーを作図します。それでは設定内容を確認/変更のうえ、「次へ」ボタンを押して下さい。

☒ 全選択 ☐ 全解除 ☐ 昇順 ☐ 降順 ☐ 表示域外の写真には選択しない ☒ 表示域外の写真にも写真番号を付ける(連番) 単位: ☒ 度分秒 ☐ 度

表示	ファイル名	タイトル欄	グループ	撮影位置:緯度(N)	撮影位置:経度(E)	撮影方向(度)	撮影日時	表示域内	写真番号(文字)
<input type="checkbox"/>	00033P8260045.JPG	写真番号(33)	1	35° 25' 04.770"	134° 15' 23.496"	55.00	2017/08/26 14:23:51	×	33
<input type="checkbox"/>	00034P8260046.JPG	写真番号(34)	1	35° 25' 05.424"	134° 15' 23.328"	330.00	2017/08/26 14:24:03	×	34
<input type="checkbox"/>	00035P8260047.JPG	写真番号(35)	1	35° 25' 05.000"	134° 15' 23.000"	326.00	2017/08/26 14:28:49	×	35
<input checked="" type="checkbox"/>	00036P8260048.JPG	写真番号(36)	1	35° 25' 22.728"	134° 15' 44.082"				36
<input checked="" type="checkbox"/>	00037P8260049.JPG	写真番号(37)	1	35° 25' 21.000"	134° 15' 44.000"				37
<input checked="" type="checkbox"/>	00038P8260050.JPG	写真番号(38)	1	35° 25' 17.988"	134° 15' 30.648"				38
<input checked="" type="checkbox"/>	00039P8260051.JPG	写真番号(39)	1	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"				39
<input checked="" type="checkbox"/>	00040P8260052.JPG	写真番号(40)	1	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"				40
<input checked="" type="checkbox"/>	00041P8260053.JPG	写真番号(41)	1	35° 25' 21.411"	134° 15' 41.518"				41
<input checked="" type="checkbox"/>	00042P8260054.JPG	写真番号(42)	1	35° 25' 22.584"	134° 15' 39.768"				42
<input checked="" type="checkbox"/>	00043P8260055.JPG	写真番号(43)	1	35° 25' 22.476"	134° 15' 39.318"				43
<input checked="" type="checkbox"/>	00044P8260056.JPG	写真番号(44)	1	35° 25' 22.554"	134° 15' 39.300"				44
<input checked="" type="checkbox"/>	00045P8260057.JPG	写真番号(45)	1	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.222"				45
<input checked="" type="checkbox"/>	00046P8260058.JPG	写真番号(46)	1	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"				46
<input checked="" type="checkbox"/>	00047P8260059.JPG	写真番号(47)	1	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	35.00	2017/08/26 14:43:56	○	47
<input checked="" type="checkbox"/>	00048P8260060.JPG	写真番号(48)	1	35° 25' 22.368"	134° 15' 39.318"	326.00	2017/08/26 14:46:09	○	48
<input checked="" type="checkbox"/>	00049P8260061.JPG	写真番号(49)	1	35° 25' 21.170"	134° 15' 37.532"	303.00	2017/08/26 14:48:24	○	49
<input checked="" type="checkbox"/>	00050P8260062.JPG	写真番号(50)	1	35° 25' 22.267"	134° 15' 27.854"	147.93	2017/08/26 14:49:34	○	50
<input checked="" type="checkbox"/>	00051P8260063.JPG	写真番号(51)	1	35° 25' 22.080"	134° 15' 24.582"	37.00	2017/08/26 14:50:13	○	51
<input checked="" type="checkbox"/>	00052P8260064.JPG	写真番号(52)	1	35° 25' 40.614"	134° 15' 37.980"	194.00	2017/08/26 14:52:34	○	52
<input checked="" type="checkbox"/>	00053P8260065.JPG	写真番号(53)	1	35° 25' 40.000"	134° 15' 37.000"	57.00	2017/08/26 14:52:48	○	53

緯度経度や撮影方向が「赤字」の場合は、その写真の撮影マーカーが、元の位置(Exif情報値)から変更されていることを示しています。
現在のGPS情報は、数メートルから10数m以上の誤差があるため、撮影位置の調整は必須となります。(位置の調整方法は後述します)

写真情報編集

写真番号として表示する内容

☐ 自動設定する

☐ 連番... 初期番号: 1

☐ ファイル名

☐ ファイル名のうち

末尾 から 3 文字分のみ

☒ タイトル欄(フォトマスター)... 数値のみ

撮影マーカー近接作図回避

☐ 他のマーカーとの距離が、下記の距離以下となる撮影マーカーは表示しない

同一地点判定... 10 m以内 更新

注)番号更新は「自動設定する」をチェックして下さい。

※赤字のデータは、Exif情報とは異なる値です

閉じる 作図(更新)

撮影位置マーカー情報一覧画面の主要なコマンドは下記のとおりです。

矢印で写真の表示位置を変更

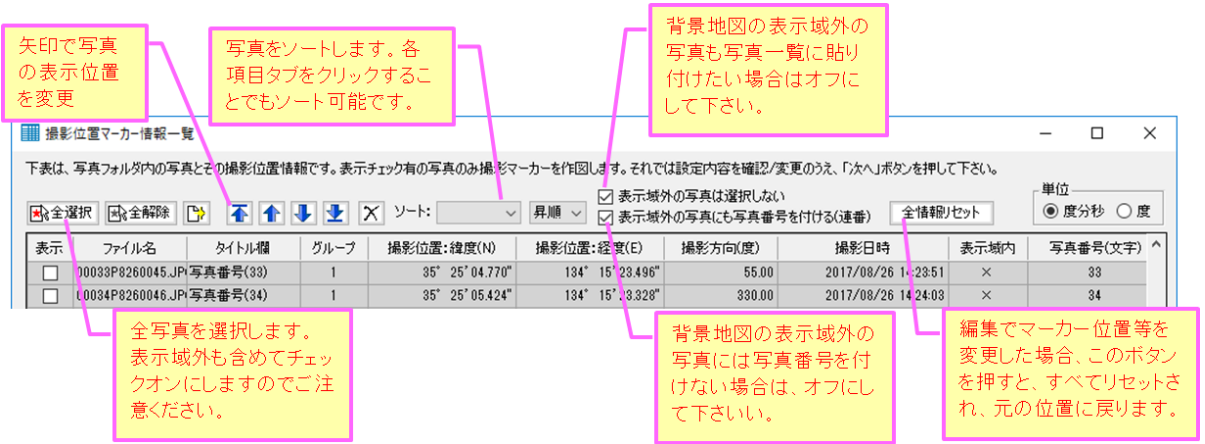
写真をソートします。各項目タブをクリックすることでもソート可能です。

背景地図の表示域外の写真も写真一覧に貼り付けたい場合はオフにしてください。

全写真を選択します。表示域外も含めてチェックオンにしますのでご注意ください。

背景地図の表示域外の写真には写真番号を付けない場合は、オフにしてください。

編集でマーカー位置等を変更した場合、このボタンを押すと、すべてリセットされ、元の位置に戻ります。

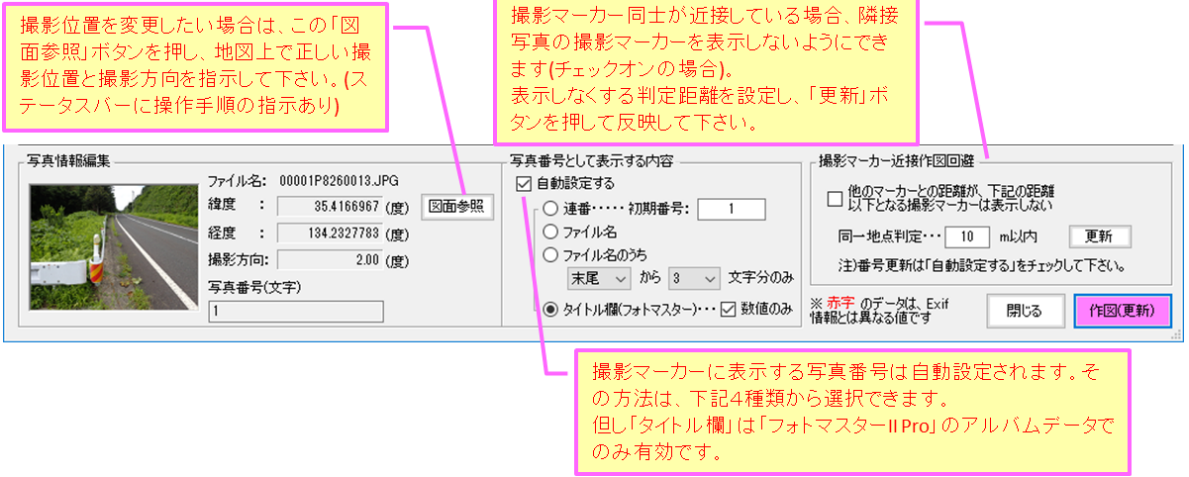


撮影位置マーカー情報一覧のコマンド説明①(画面上方のコマンド)

撮影位置を変更したい場合は、この「図面参照」ボタンを押し、地図上で正しい撮影位置と撮影方向を指示して下さい。(ステータスバーに操作手順の指示あり)

撮影マーカー同士が近接している場合、隣接写真の撮影マーカーを表示しないようにできます(チェックオンの場合)。表示しなくする判定距離を設定し、「更新」ボタンを押して反映して下さい。

撮影マーカーに表示する写真番号は自動設定されます。その方法は、下記4種類から選択できます。但し「タイトル欄」は「フォトマスターII Pro」のアルバムデータでのみ有効です。



撮影位置マーカー情報一覧のコマンド説明②(画面下方のコマンド)

c) 撮影位置マーカーの個別作図

写真撮影位置図(P)			オプション(O)	ヘルプ(H)
	撮影位置マーカー一括作成ウィザード(W)	F1		
	撮影位置マーカー情報一覧(I)	F2		
	① 撮影位置マーカーの個別作図(N)	F3		
	撮影位置マーカーの個別編集(E)	F4		
	撮影位置マーカーのスタイル設定(S)	F5		
	撮影位置マーカーと撮影写真の全消去(D)			
	図面上に写真配置(H)			
	撮影写真全消去(L)			

「撮影位置マーカの個別作図」コマンドは、一通り作成した撮影位置図に、撮影マーカを後から追加したい場合などに使用します。

コマンドを実行すると、下記画面が表示されますので、写真(GPS 情報の有無は不問)と写真番号を登録しするだけです。なお GPS 情報付き写真でない場合は、「図面参照」ボタンを押して、撮影位置と撮影方向を指示して下さい。登録写真が、撮影マーカと共に追加されます。

① 撮影位置マーカの個別作図

写真番号(文字)

撮影位置/方向

緯度: (度) (分) (秒)

経度: (度) (分) (秒)

撮影方向: (度)

図面参照

注1)

単位

● 度分秒 ○ 度

初期値に戻す

写真登録

写真プレビュー

撮影位置マーカのスタイル(共通)

スタイル選択::

スタイル2

スタイル変更

5

②次に、ここに写真番号として表示したい文字/番号を記入します。

③登録写真にGPS情報がない場合は、この「図面参照」ボタンを押し、写真の撮影地点と撮影方向を地図上でマウス指示します。(操作方法は、ステータスバーに表示されます)

⑤マーカースタイルは、他のすべてのマーカにも適用されます。複数のスタイルを適用することはできません。

①まず、この「写真登録」ボタンを押し、撮影写真を読み込みます。

① 撮影位置マーカの個別作図

写真番号(文字)

96

撮影位置/方向

緯度: 35 (度) 25 (分) 0.182 (秒)

経度: 133 (度) 21 (分) 44.623 (秒)

撮影方向: 185.00 (度)

図面参照

注1)

単位

● 度分秒 ○ 度

初期値に戻す

写真登録

写真プレビュー

撮影位置マーカのスタイル(共通)

スタイル選択::

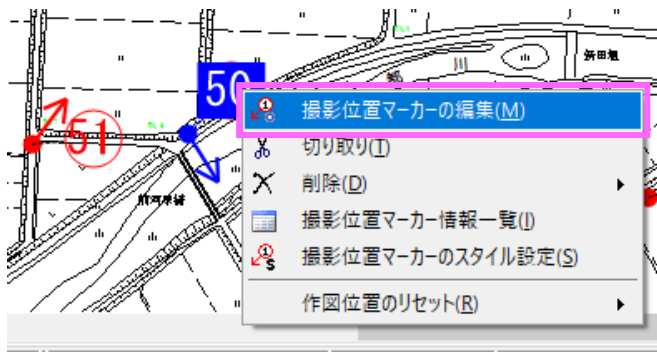
スタイル2

スタイル変更

96

撮影位置マーカの個別作図

d) 撮影位置マーカーの個別編集



作成済の撮影位置マーカーの情報を編集することができます。
コマンドを実行すると、下記画面が表示されますので、撮影位置や写真番号等を必要に応じて変更して下さい。

撮影位置の変更は、マーカーの直接ドラッグ移動が簡単ですが、この「図面参照」ボタンを押してマウス指示することでも変更可能です。

マーカースタイルは、他のすべてのマーカーにも適用されます。複数のスタイルを適用することはできません。

元の位置(Exif情報の位置)から変更している場合は、このようにステータスバーに注記が表示されます。「初期値に戻す」ボタンで、Exif情報値に戻せます。

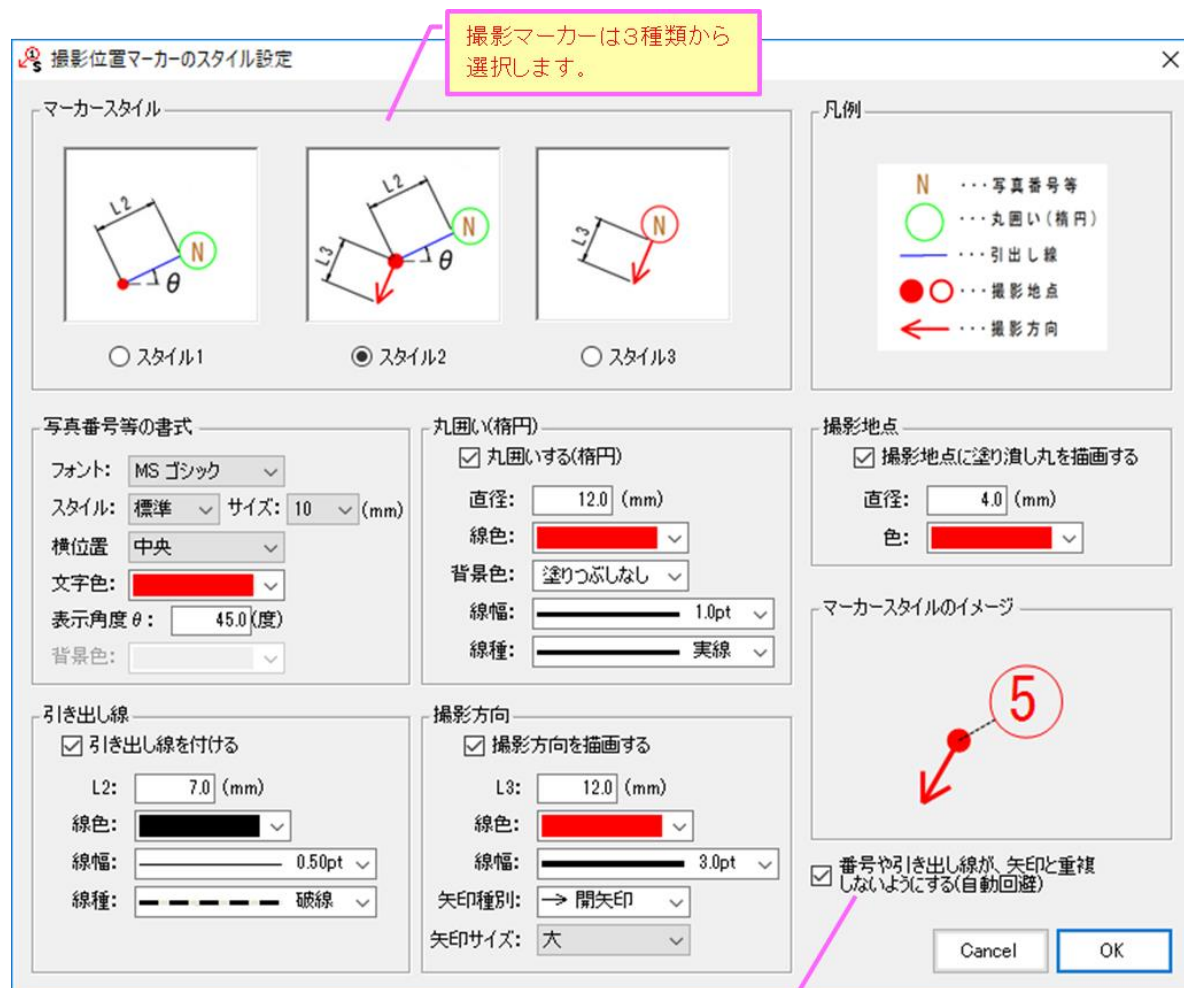
撮影位置マーカーの個別編集

e) 撮影マーカーのスタイル設定

写真撮影位置図P) オプション(O) ヘルプ(H)		
	撮影位置マーカー一括作成ウィザード(W)	F1
	撮影位置マーカー情報一覧(I)	F2
	撮影位置マーカーの個別作図(N)	F3
	撮影位置マーカーの個別編集(E)	F4
	撮影位置マーカーのスタイル設定(S)	F5
	撮影位置マーカーと撮影写真の全消去(D)	
	図面上に写真配置(H)	
	撮影写真全消去(L)	

コマンドを実行すると、下記画面が表示されますので、撮影マーカのスタイルを設定します。
 なお撮影マーカの設定は、図面内での共通設定となります。複数のスタイルを同時に設定することはできませんのでご注意ください。

また設定値は、web から取得する地図と CAD 図(ラスター地図)毎に記憶し、次回起動時に反映します。



写真番号と撮影方向と重なる場合は、自動的に写真番号の表示位置を変えて、極力、重ならないようにします。

撮影位置マーカのスタイル編集

f) 図面上に写真配置

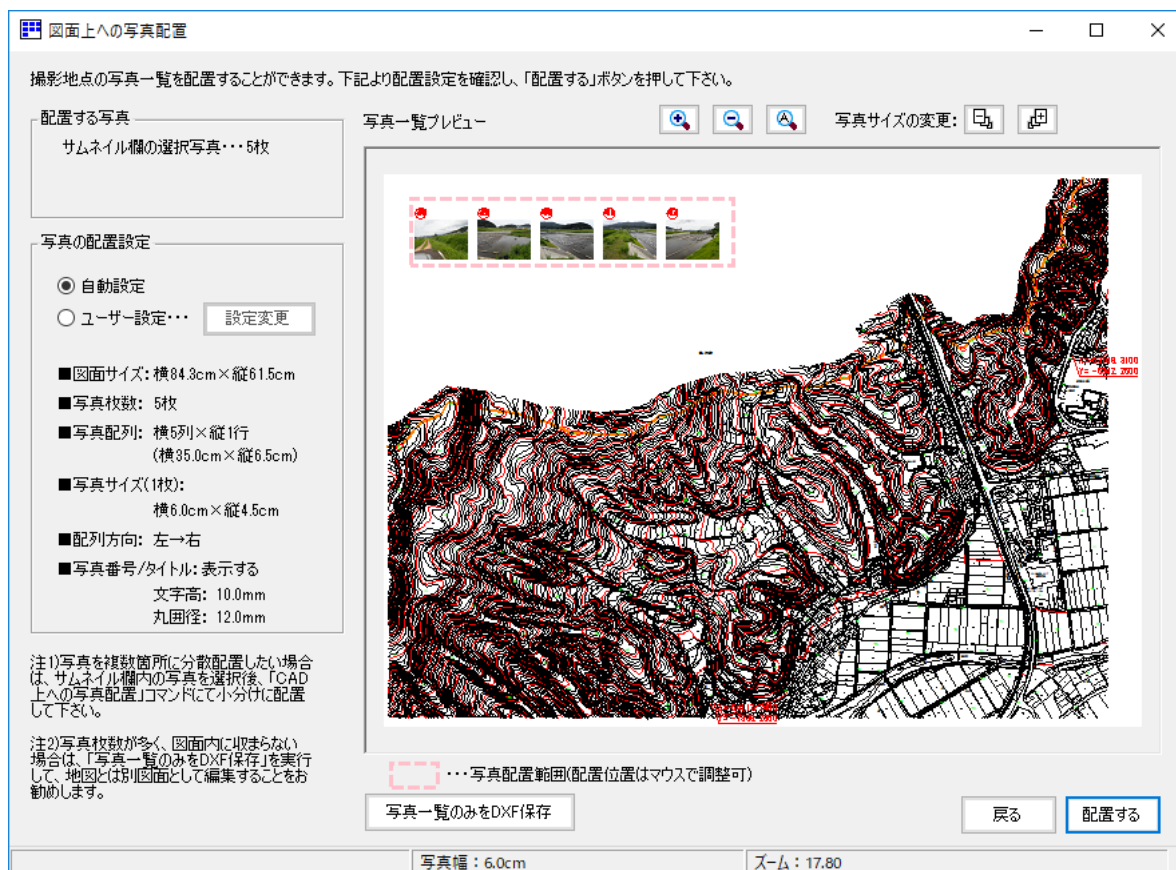


背景地図上に撮影写真を配置します。但し、写真一覧を配置できるのは、背景地図が CAD 図 (dxf) もしくはラスター地図の場合のみとなります。Web より取得する地理院地図等は、利用規約により印刷サイズが A3 以下と小さいため、写真配置機能は付加しておりません。

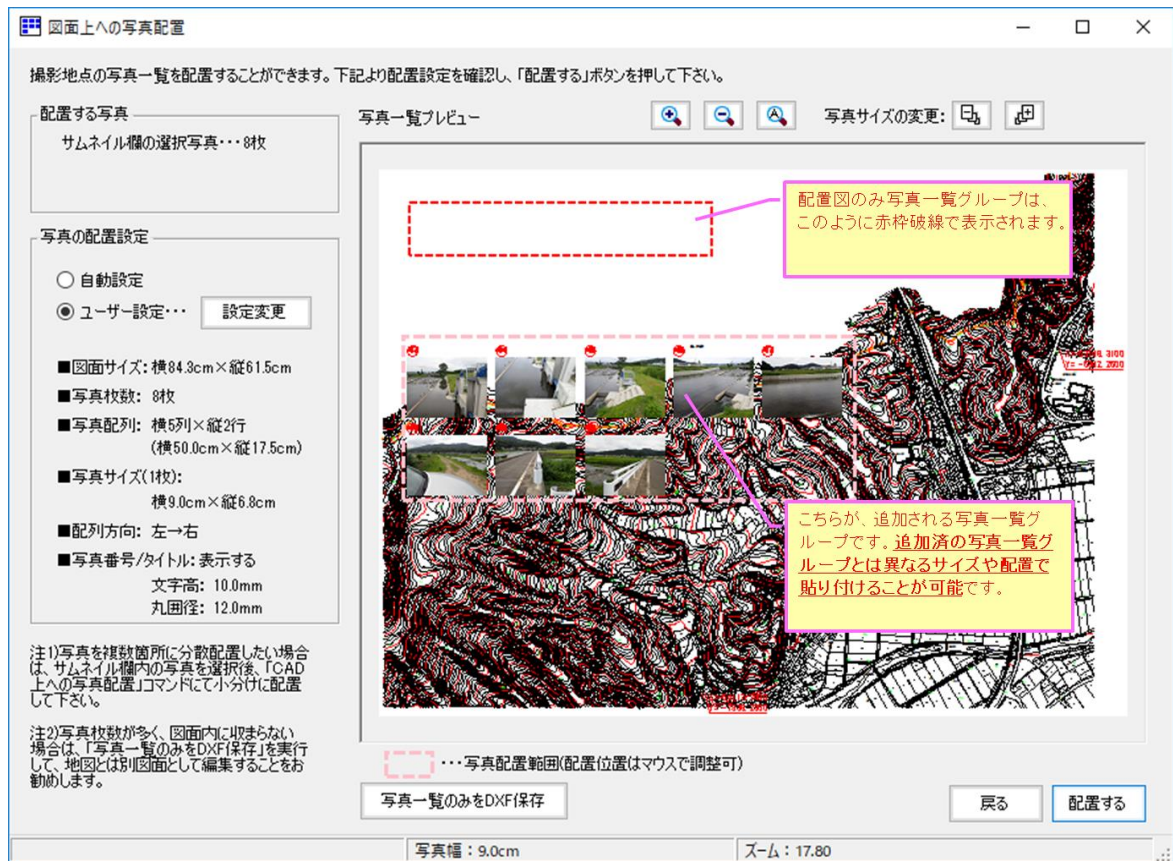
コマンドを実行すると、下記画面が表示されます。写真配置する対象写真を「全写真」と「サムネイル欄の選択写真」から選択し、「次へ」ボタンを押して下さい。



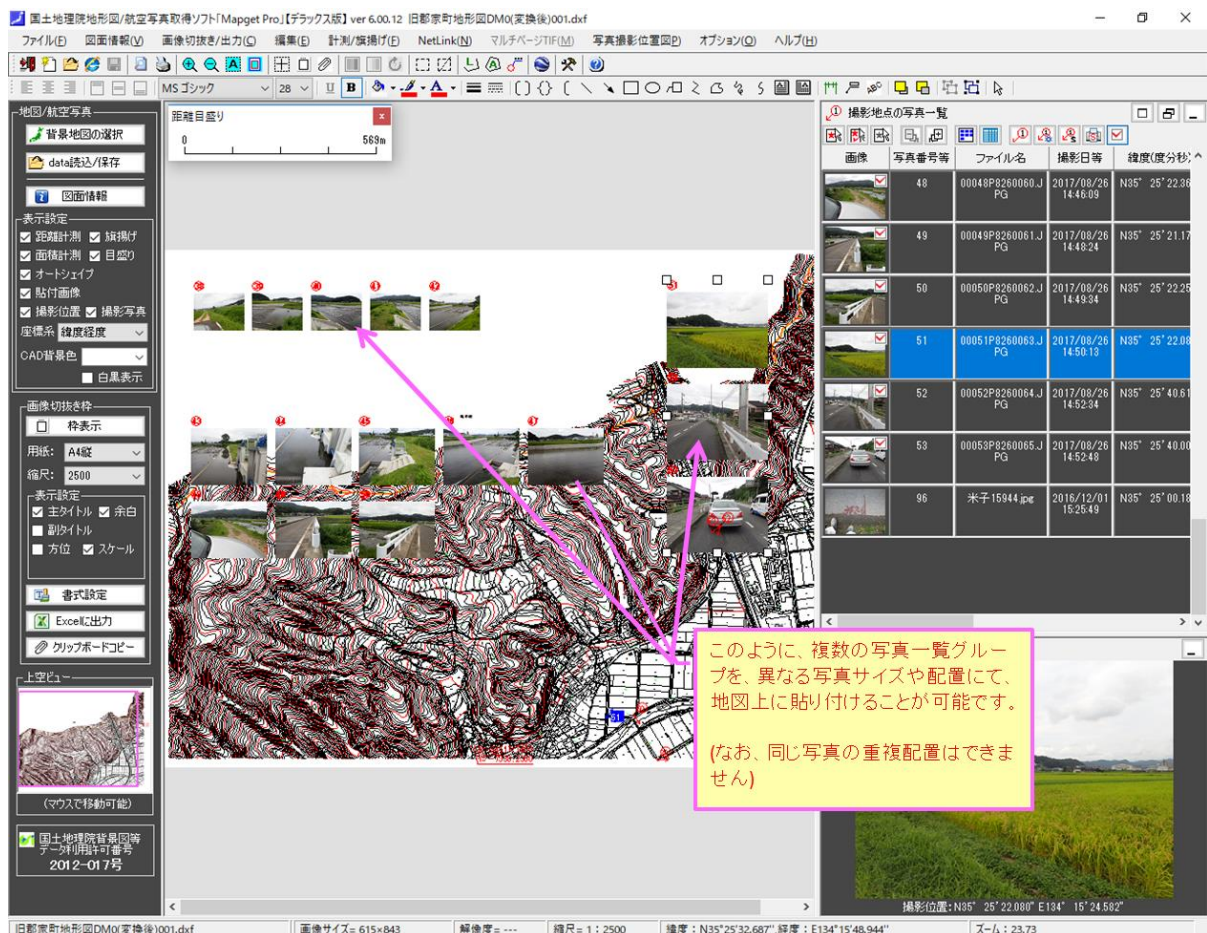
すると、下記の「図面上への写真配置」画面が表示され、地図上に写真一覧のシミュレーションが表示されます。必要に応じて「ユーザー設定」等にて配置変更をおこない、「配置する」ボタンを押すと図面上に写真が配置されます。配置した写真一覧は、グループ化されています。グループ化を解除すると、再配置機能(配置編集機能)は失われますのでご注意ください。



なお、背景地図上に複数の写真一覧グループを作成するには、配置したい写真をサムネイル欄から選択して写真配置することを複数回繰り返すことで実現できます。



サムネイル写真の選択→図面上への写真配置を繰り返すことで、下図のように、複数の写真一覧グループを、異なる写真サイズや配置にて地図上に貼り付けることが可能です。(同じ写真の重複配置はできません)

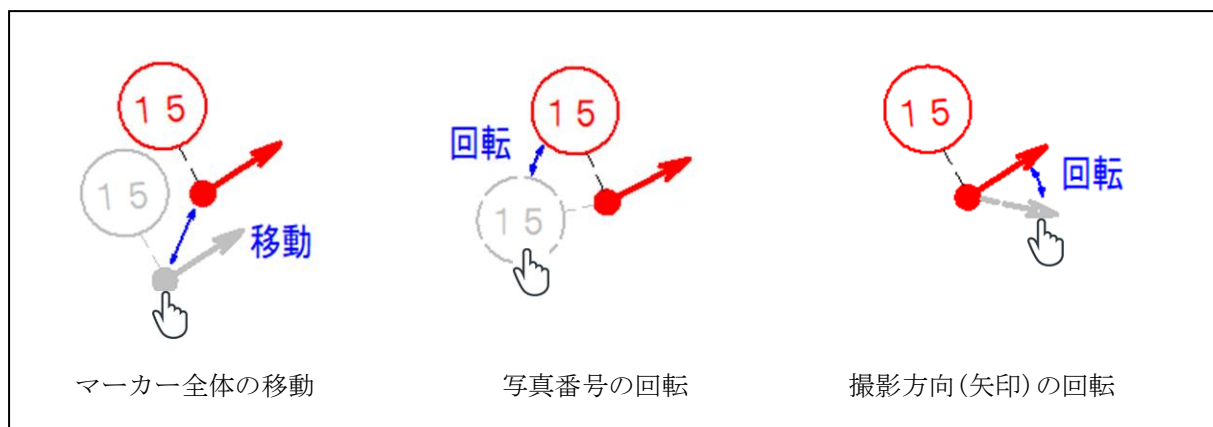


6) 撮影マーカの位置・方向等の編集方法

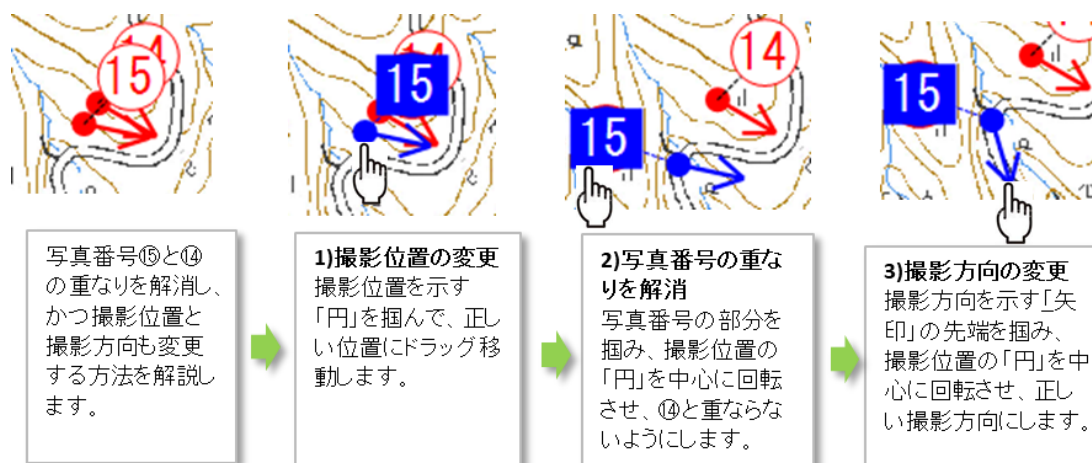
現在の GPS データ (撮影位置情報) には、残念ながら数メートル～十数メートル以上の誤差があります。従って正確な撮影位置図にするためには、どうしても撮影マーカの位置編集等が必要となります。

Mapget Pro では、この撮影マーカの位置や方向等の編集がとても簡単にできることが特長となっています。

下記は撮影マーカの位置や方向等の編集機能を説明したモデル図です。すべてマウスによるドラッグ移動により、マーカ全体の移動や写真番号の回転移動、あるいは撮影方向の回転移動がおこなえます。



この機能により、背景地図上の正しい撮影位置にマーカを移動したり、重なった写真番号を回避したり、撮影方向を修正することが簡単にできます。



撮影位置マーカの表示位置等の変更方法

5-3-8. GPX データの読込/編集機能について

Ver7.05.03 より、GPX ファイルを読み込んで、背景地図上に移動経路を表示できるようになりました。

GPX ファイルを読み込んで表示する手順は、下記を参考にしてください。

1) 背景地図上に表示する追加情報にて、「GPX データを読み込み・・・」にチェックを入れます



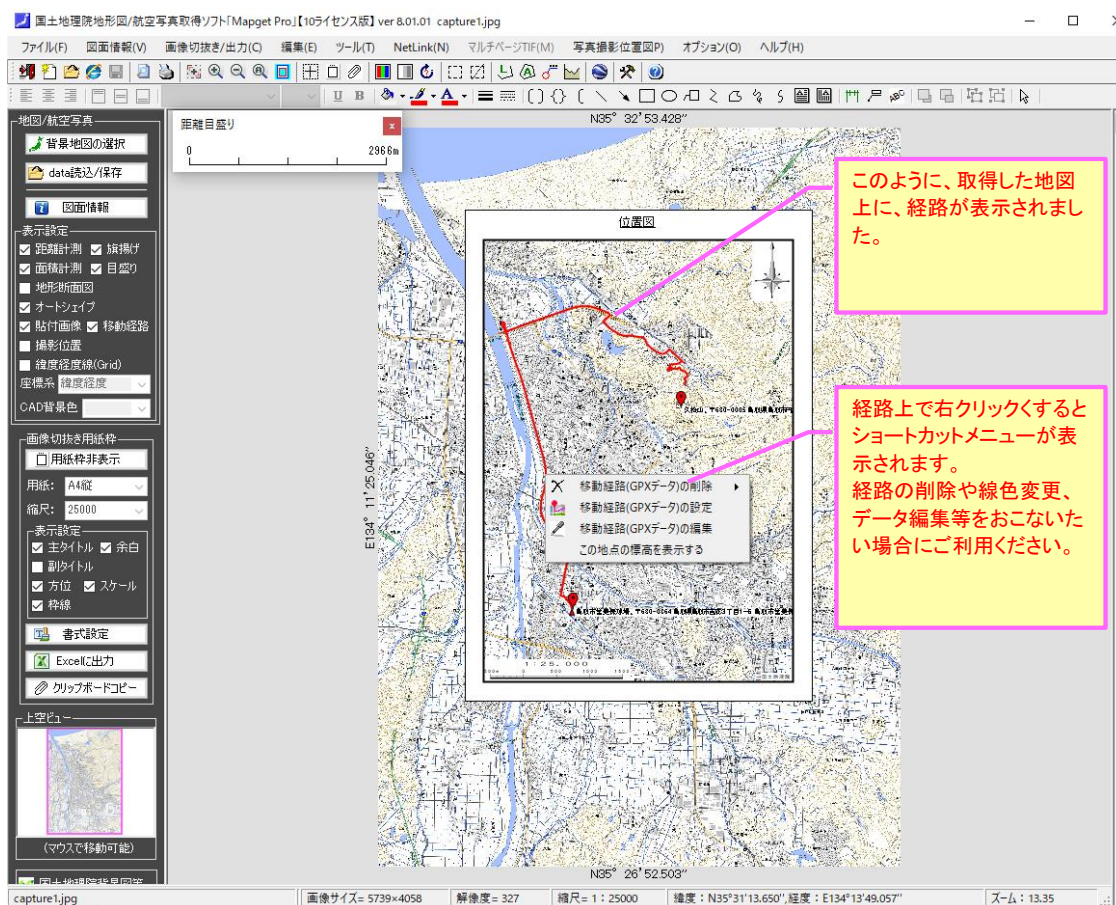
2) GPX ファイルの設定画面にて、GPX ファイルを指定します。



3) 検索画面にて、背景地図の取得範囲の調整や取得サイズ等を設定します。「取得開始」ボタンを押すと、背景地図の取得が開始されます。

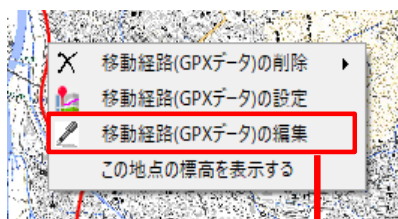


4) 下記のように、取得した背景地図上に、GPX データに基づいた経路が表示されます。



5) GPX データの編集方法

経路上で右クリックすると、下図のショートカットメニューが表示されますので、その中の「移動経路の編集」コマンドを実行することで編集が可能となります。



移動経路(GPXデータ)の編集

GPXデータ(選択経路の座標リスト)

☐ 度分秒 ☒ 度

標高データ全削除

指示点	緯度(度)	経度(度)
119	35.4984200	134.2176100
120	35.4986900	134.2177100
121	35.4989400	134.2177900
122	35.4991200	134.2178500
123	35.4993700	134.2179100
124	35.4994600	134.2179400
125	35.4996200	134.2179800
126	35.4996500	134.2179900
127	35.4998600	134.2180300
128	35.5001300	134.2180900

削除 挿入 追加 変更 経路長= 9115.1 m

注1)断面図作成時の標高データは、国土地理院から取得します。
注2)断面図の作成は、経路長29kmを上限とします。なお、経路長が長い場合は、取得数を抑制するため一部間隔において取得します。

GPXファイル保存 地形断面図の作成 Cancel OK

これはGPXデータの編集画面です。編集したいデータ行を選択したうえで、「削除」「挿入」「追加」「変更」ボタンのいずれかを押し、編集します。

編集後のデータはこのボタンを押し、GPXファイルとして保存できます。

読込んだGPXファイルに標高が記録されていない場合は、このボタンを押すことで、標高を取得することができます。断面図を作図したい場合も使用できます。

6) 標高の取得方法と断面図の作成について

前頁の「移動経路の編集」画面にて、「地形断面図の作成」ボタンを押すと、標高に基づいて下記の「断面図の作成」画面が表示されます。

なお GPX データに標高値が記録されていない場合は、国土地理院データに基づいて、経路の標高を取得し、断面図を作成します。

「地形断面図の作成」コマンドを実行すると、地理院データに基づき、経路の標高を取得して断面図を表示します。
作成した断面図は、DXFファイル形式で保存可能です。

No.	緯度(度)	経度(度)	距離(m)	標高(m)
400	35.4479100	134.3367400	4827.00	182.90
401	35.4479600	134.3367800	4833.60	183.80
402	35.4479700	134.3368000	4835.70	184.00
403	35.4480300	134.3368400	4843.30	185.00
404	35.4481500	134.3369400	4859.40	186.00
405	35.4482700	134.3370200	4874.60	187.00
406	35.4483900	134.3371200	4890.70	189.60
407	35.4486000	134.3372700	4917.70	194.00
408	35.4486800	134.3373300	4928.10	193.70
409	35.4487200	134.3373600	4933.30	193.50
410	35.4488600	134.3374600	4951.30	193.00
411	35.4490000	134.3375700	4969.80	193.40
412	35.4491800	134.3377100	4993.40	194.00
413	35.4495400	134.3379700	5039.80	198.00
414	35.4496600	134.3380500	5055.00	203.20
415	35.4497400	134.3381200	5065.90	207.00
416	35.4498200	134.3381800	5076.30	208.90
417	35.4498800	134.3382200	5083.90	210.30
418	35.4499200	134.3382600	5089.60	211.40
419	35.4499400	134.3382900	5093.20	212.00
420	35.4499600	134.3383100	5096.00	213.30

断面図出力設定
縮尺(横): H=1/ 1000 レイヤ名 mapgetGPXLine
縮尺(縦): H=1/ 100 断面図の幅: 1232.8cm(図上)
☐ 縦横同縮尺

断面図出力
Excel保存(オートシェイプ)
DXF保存(CAD)

※断面図をExcel保存(オートシェイプ)する場合は、断面図の描画幅があまり大きくならないように縮尺(横)を調整したうえで保存して下さい。

一度標高を取得すると、その標高値は GPX データリスト内に表示されます。

「地形断面図の作成」コマンドを一度実行すると、このようにGPXデータに標高値を追加することが可能です。また標高付きのGPXデータとして保存することも可能です。

指示点	緯度(度)	経度(度)	標高(m)
169	35.4479700	134.3189300	90.60
170	35.4478900	134.3189800	90.80
171	35.4476400	134.3191000	91.50
172	35.4475000	134.3191800	91.90
173	35.4473900	134.3192400	92.20
174	35.4471900	134.3193500	92.50
175	35.4470700	134.3194200	92.70
176	35.4469900	134.3194700	92.90
177	35.4467900	134.3195800	93.50
178	35.4466100	134.3196900	93.70
179	35.4465100	134.3197500	93.80

削除 挿入 追加 変更 経路長 L= 12328.5 m

注1)断面図作成時の標高データは、国土地理院から取得します。
注2)断面図の作成は、経路長20kmを上限とします。なお、経路長が長い場合は、取得数を抑制するため一部間隔において取得します。

GPXファイル保存 地形断面図の作成 Cancel OK

6. その他

6-1. 動作設定

動作設定では、データフォルダと航空写真の年代レイヤ等を設定変更できます。必要に応じて、下図の説明に従って操作してください。

6-1-1. 設定 1

主に web から地図を取得する際の各種設定をおこないます。

データフォルダ(保存/読込先)を変更する場合は、「参照」ボタンを押し、データフォルダを指定します。この機能は、「開く/保存」画面の「変更」ボタンと連動しています。

web地図取得画像の画質補正(ガンマ補正)		
・標準地図……	-15	(-50~50、初期値=-15)
・淡色地図……	-25	(-50~50、初期値=-25)
・色別標高図……	0	(-50~50、初期値= 0)
・航空写真……	0	(-50~50、初期値= 0)

注)ガンマ補正効果…マイナス→濃、プラス→淡

取得範囲の余裕代(%)
 $\alpha = (\text{取得サイズ} / \text{用紙サイズ} - 1.0) \times 100 (\%)$
 $\alpha = 50 (\%)$
※但し、取得サイズは8000pixel×6000pixelを上限

拡大縮小率の変化率を変えたい場合は、許容範囲内で変更可能です。

Webから取得する画像のサイズを、用紙サイズ(A4,A3)より少し大きめに取得できます。その余裕代を、用紙サイズとの比率(%)で設定します。

取得した画像を、取得直後にガンマ補正できます。補正しない場合は0%として下さい。(ガンマ補正をマイナス補正すると、よりハッキリした明瞭な画像になります。)

6-1-2. 設定 2

web から地図を取得する際の補助設定等をおこないます。

webから取得した地図画像の保存画質を設定します。通常は変更不要です。

Mapget Proのユーザー設定値等を保存したファイルです。削除すると初期設定値にリセットされて復元されます。動作不安定になった場合などにお試し下さい。

起動時に最新バージョンがリリースされていないかを確認します。リリースされている場合は、アップデート画面を表示して、自動ダウンロード→インストールが可能となります。

背景地図がCAD図の場合で、座標系が設定されている場合に、座標系を「平面直角座標系」と「緯度経度座標系」から選択可能です。CAD図以外では無効です。

撮影位置図の作成に使用した写真のサムネイル画像一覧の履歴を表示/設定します。サムネイル画像を高速表示するために必要な一時ファイルです。

6-1-3. 設定 3

起動時の権限やパスワードの更新等をおこないます。

Mapget Proは通常、一般ユーザーとして起動しますが、この設定を変更することで「管理者権限」にて起動することもできるようになります。もし、webから地図が取得できないなどのトラブルが生じた場合にお試し下さい。

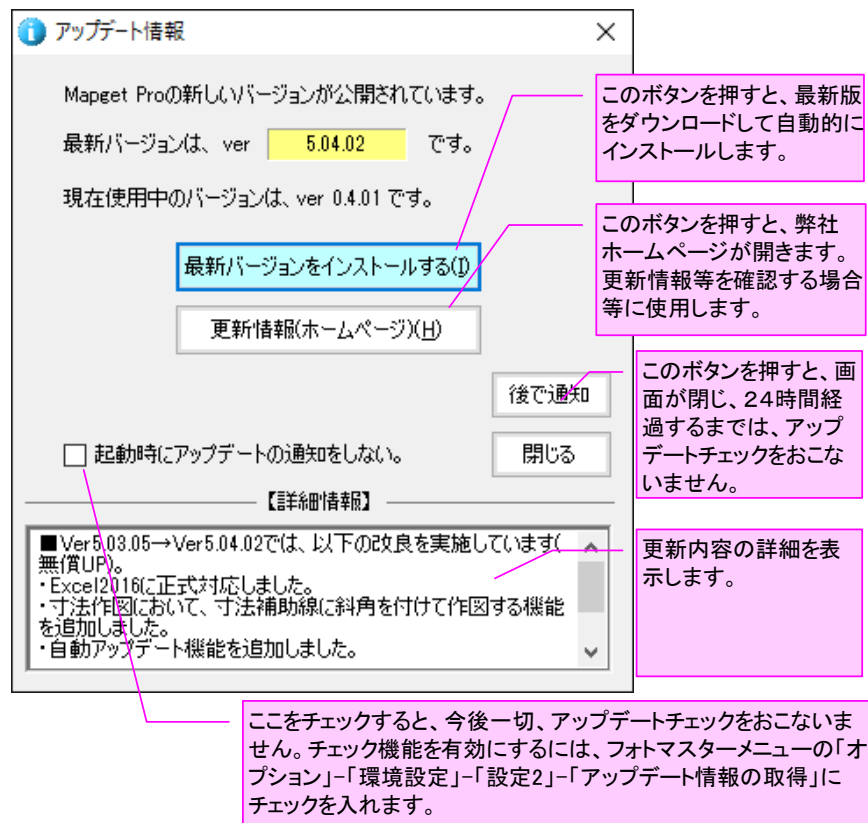
ライセンス数を変更したいときに使用してください。ボタンを押すとパスワード入力ボタンが開きますので、新しいパスワードを入力すると、ライセンスを更新できます。

6-2. 自動アップデート機能

Mapget Pro には、ver5.04 以降、起動時に自動的に最新バージョンをチェックし、必要に応じて最新版を自動インストールする機能が標準装備されています。

もし新しいバージョンがリリースされている場合は、最新バージョンがリリースされている旨のお知らせ画面(下記画面)を表示します。

そして画面内の「最新バージョンをインストールする」ボタンを押すと、バージョンアップが開始されます。



7. Mapget Pro による図枠作成例

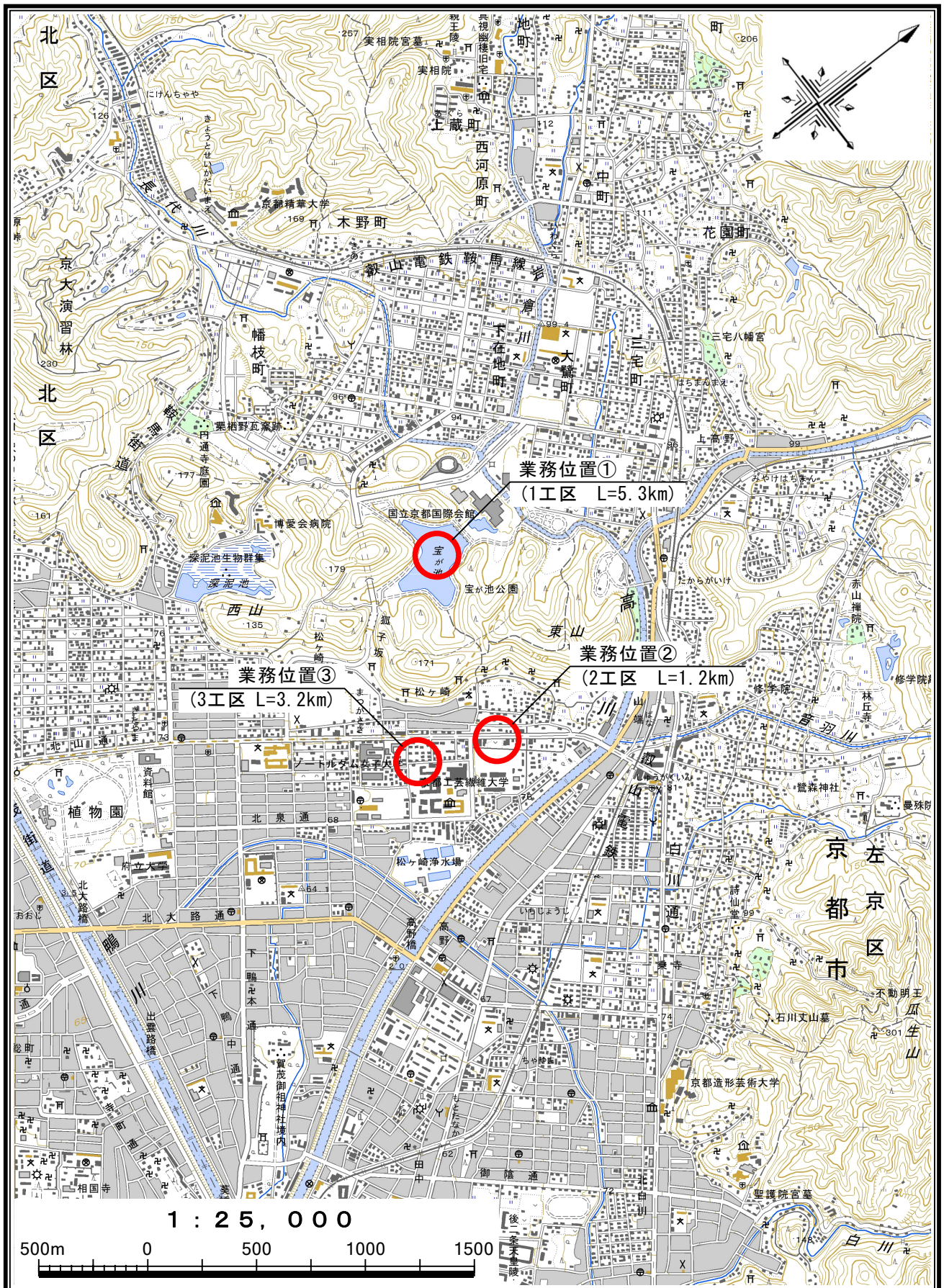
ここでは、Mapget Pro で作成した図枠サンプルをご紹介します。

- サンプル A 標準 (A4 縦)
- サンプル B 閉合線・塗り潰し記入例 (A4 縦)
- サンプル C 連続線記入例 (A4 横)
- サンプル D 写真撮影位置図 (A4 横)

位置図

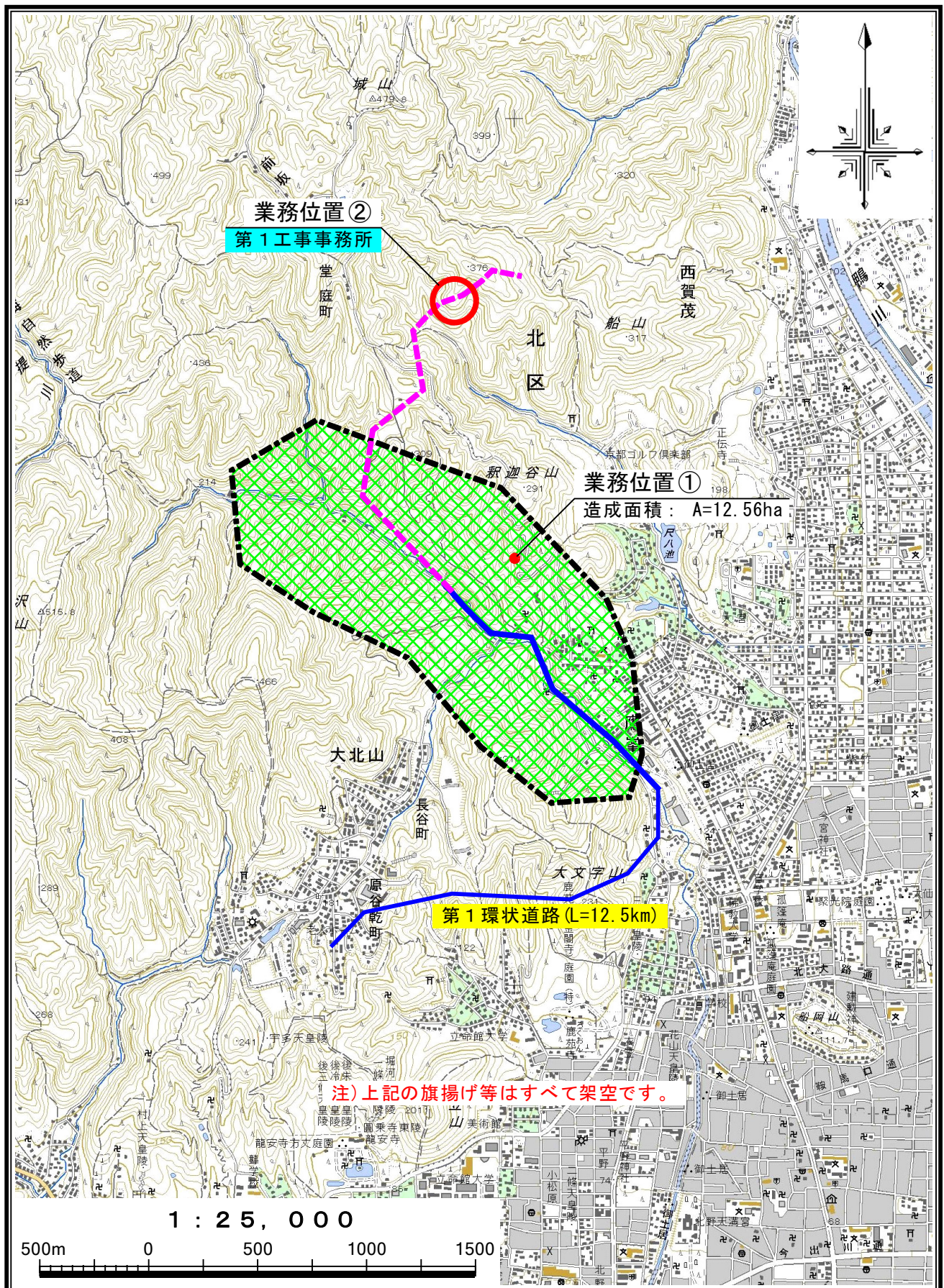
サンプル A 標準 (A4 縦)

京都府右京区1-1



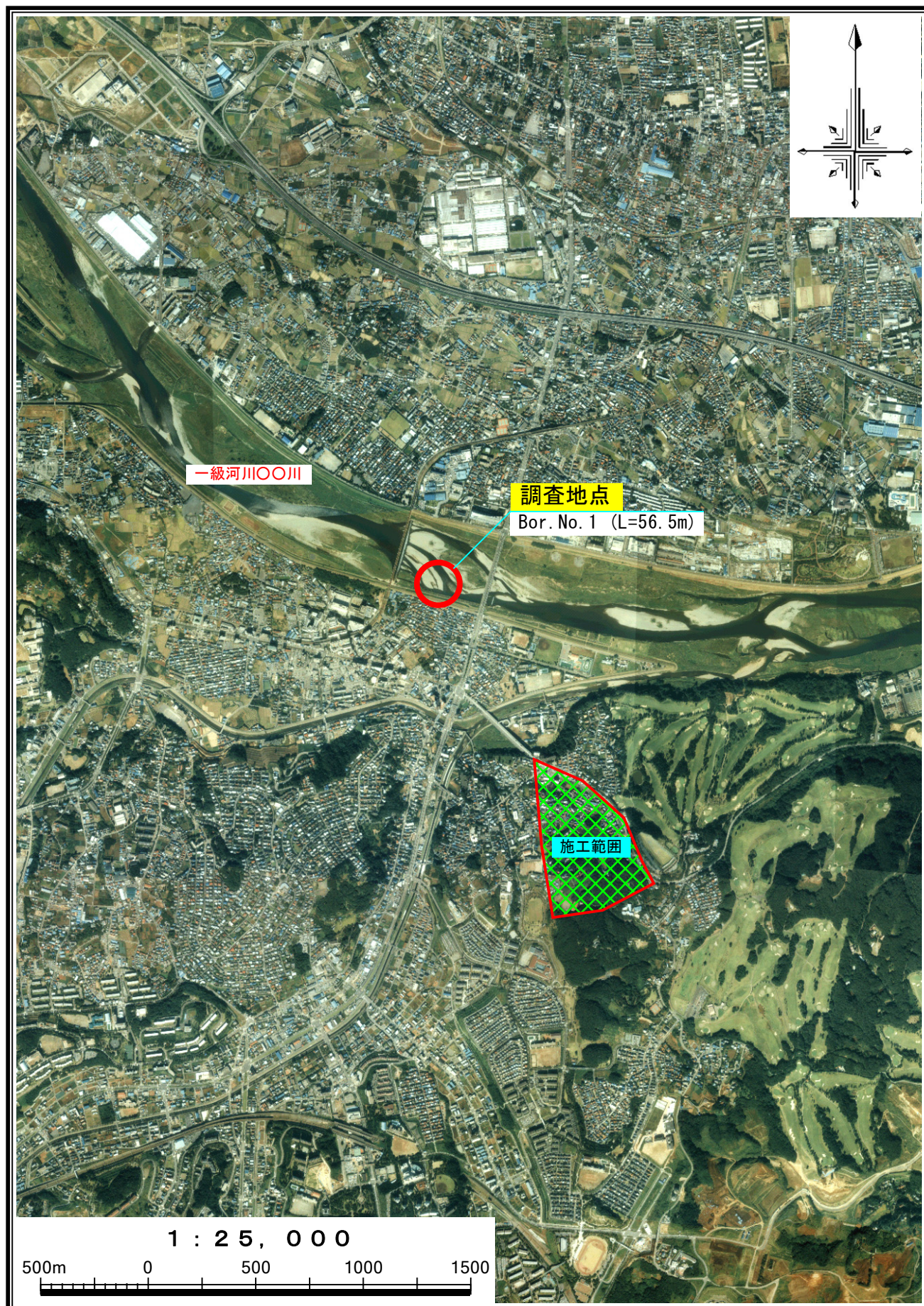
工事箇所位置図

京都府西京区1-1 第1工事区域 第2地区



調査位置図

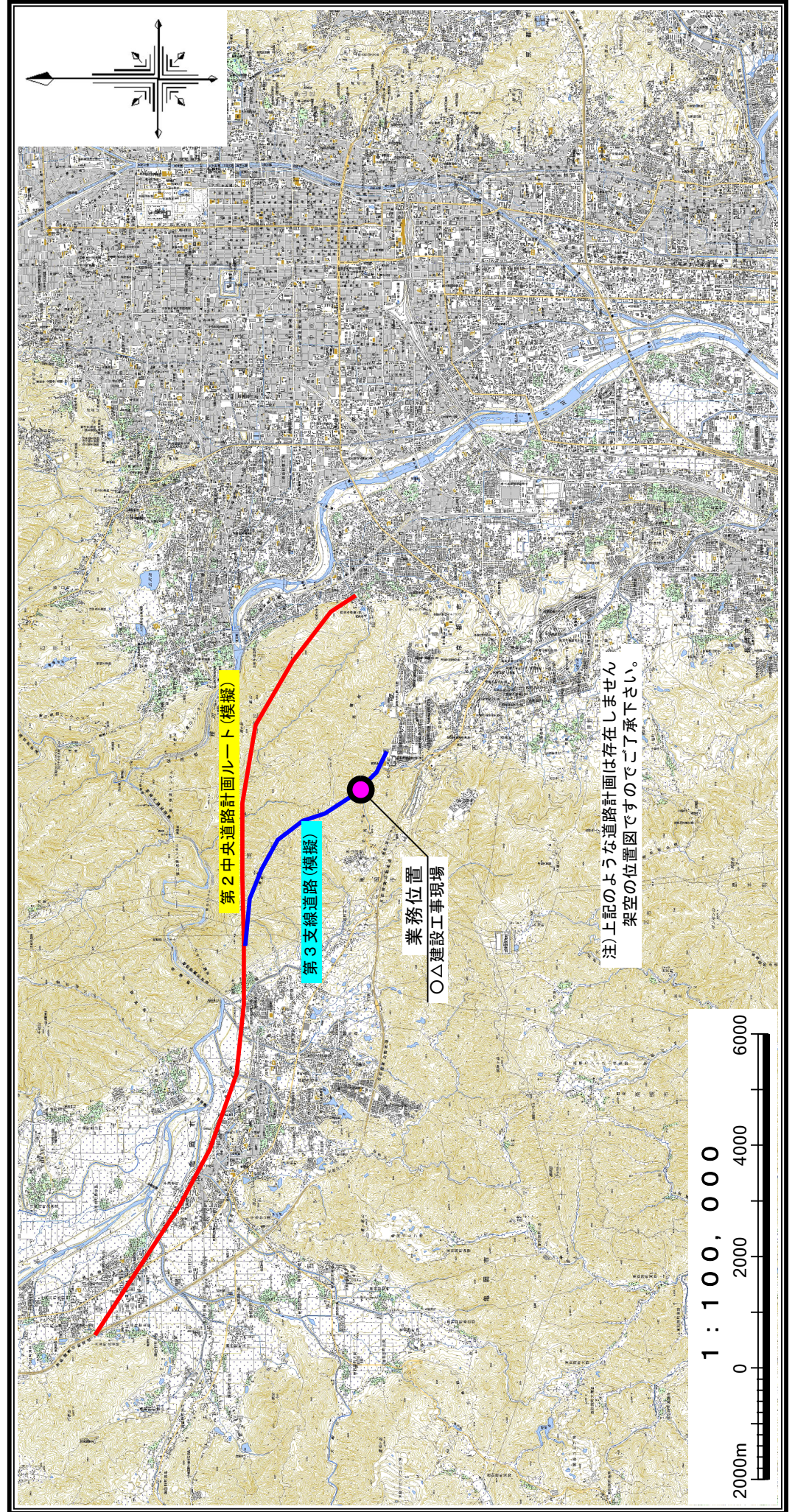
東京都〇〇区〇〇工事第〇工区



位置図

サンプル C
連続線記入例 (A4 横)

京都府右京区1-1 第1トンネル工事



8. サポート

サポートは、基本的にメールにておこなっております。また、最新版はホームページにて随時掲載いたしますので定期的にご確認ください。

なお、本プログラムのご使用によるいかなる損害にも応じられませんことを予めご了承ください。

連絡先	シビルワークス(civilworks)
メールアドレス	Civilworks_hp@yahoo.co.jp
ホームページ	http://www.civilworks.jp/